

始



326

54

第二回九州聯合馬匹共進會
第一回九州聯合畜産共進會

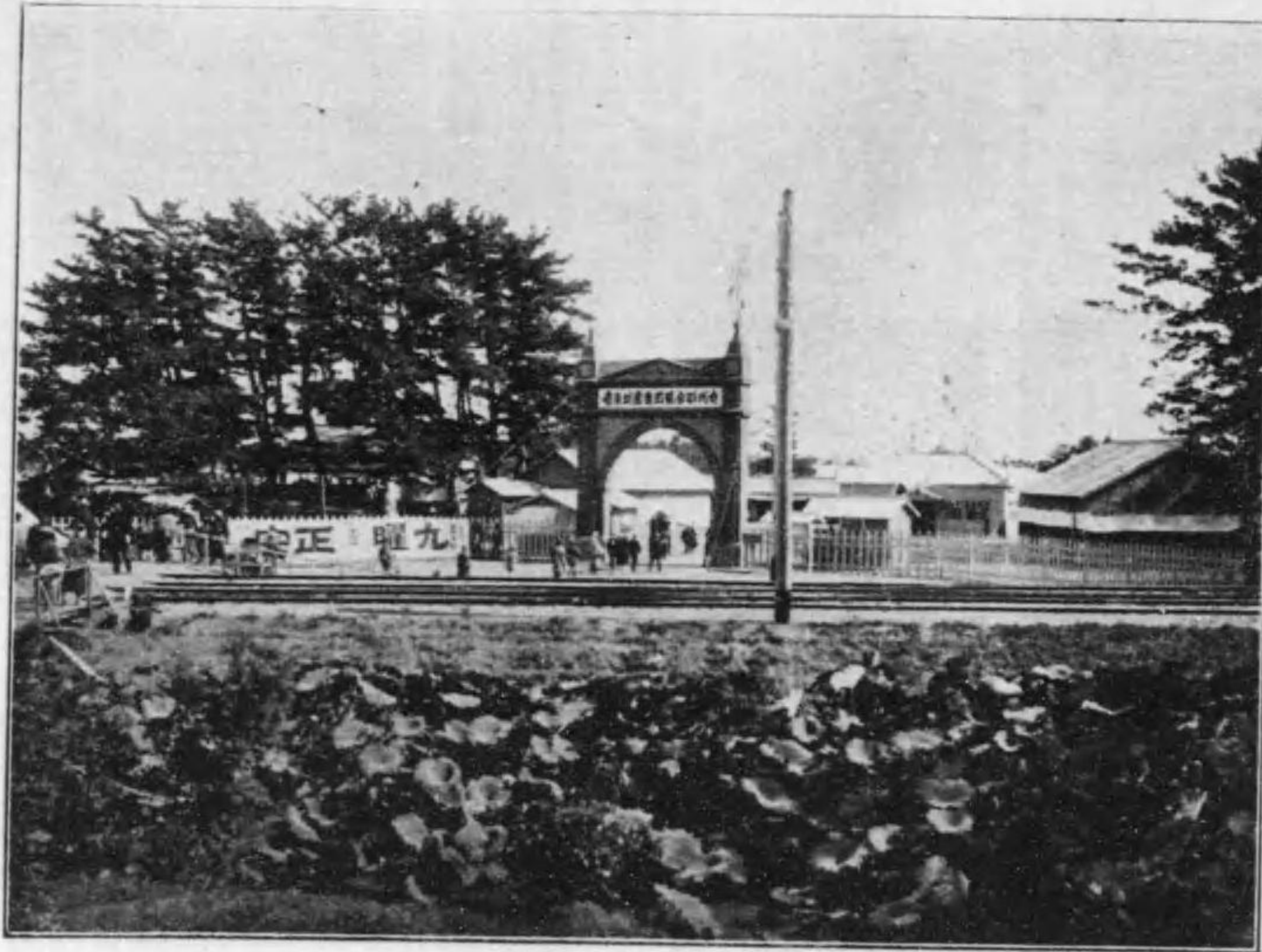
事務報告



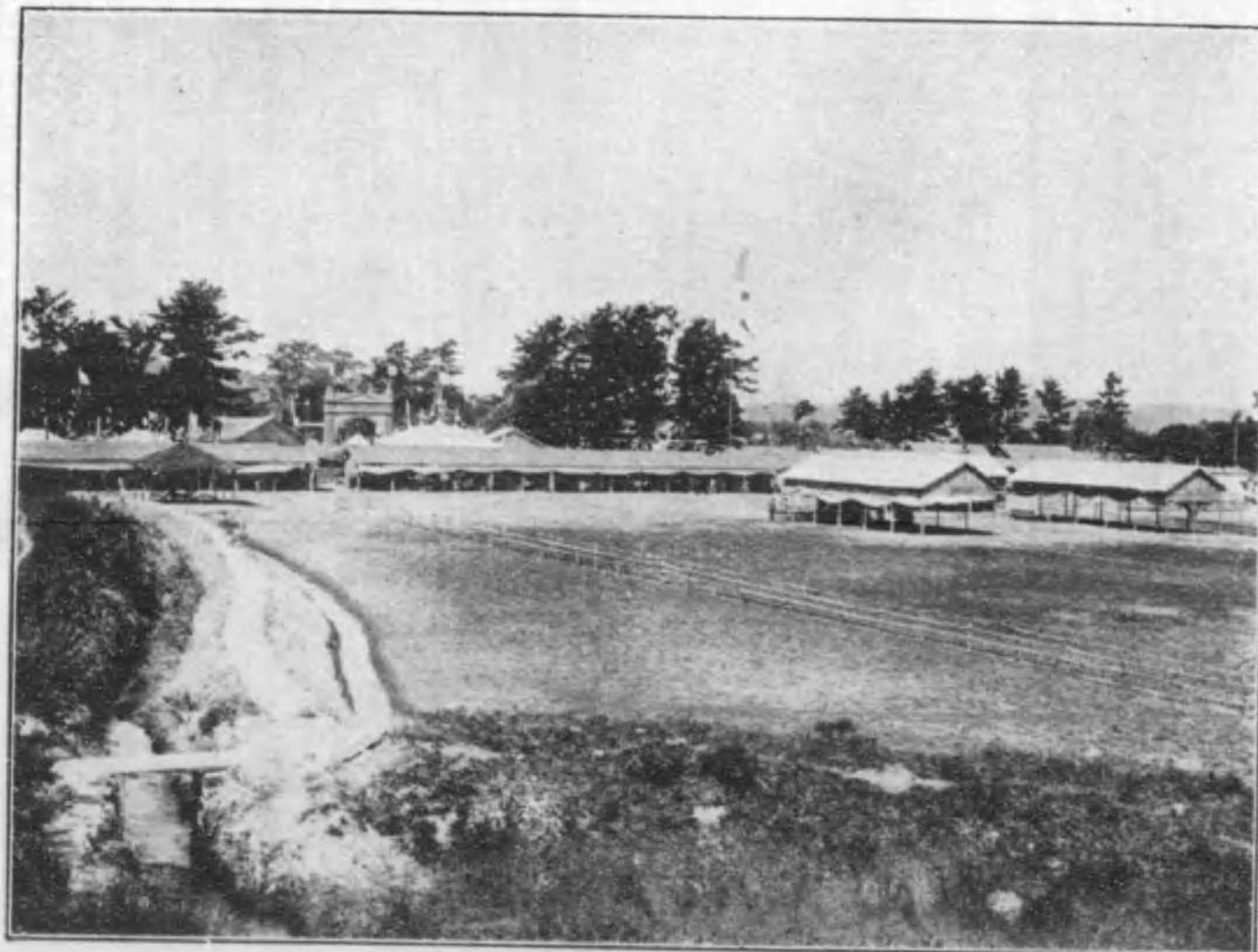
第一回九州聯合畜産共進會
第二回九州聯合馬匹共進會

事務報告

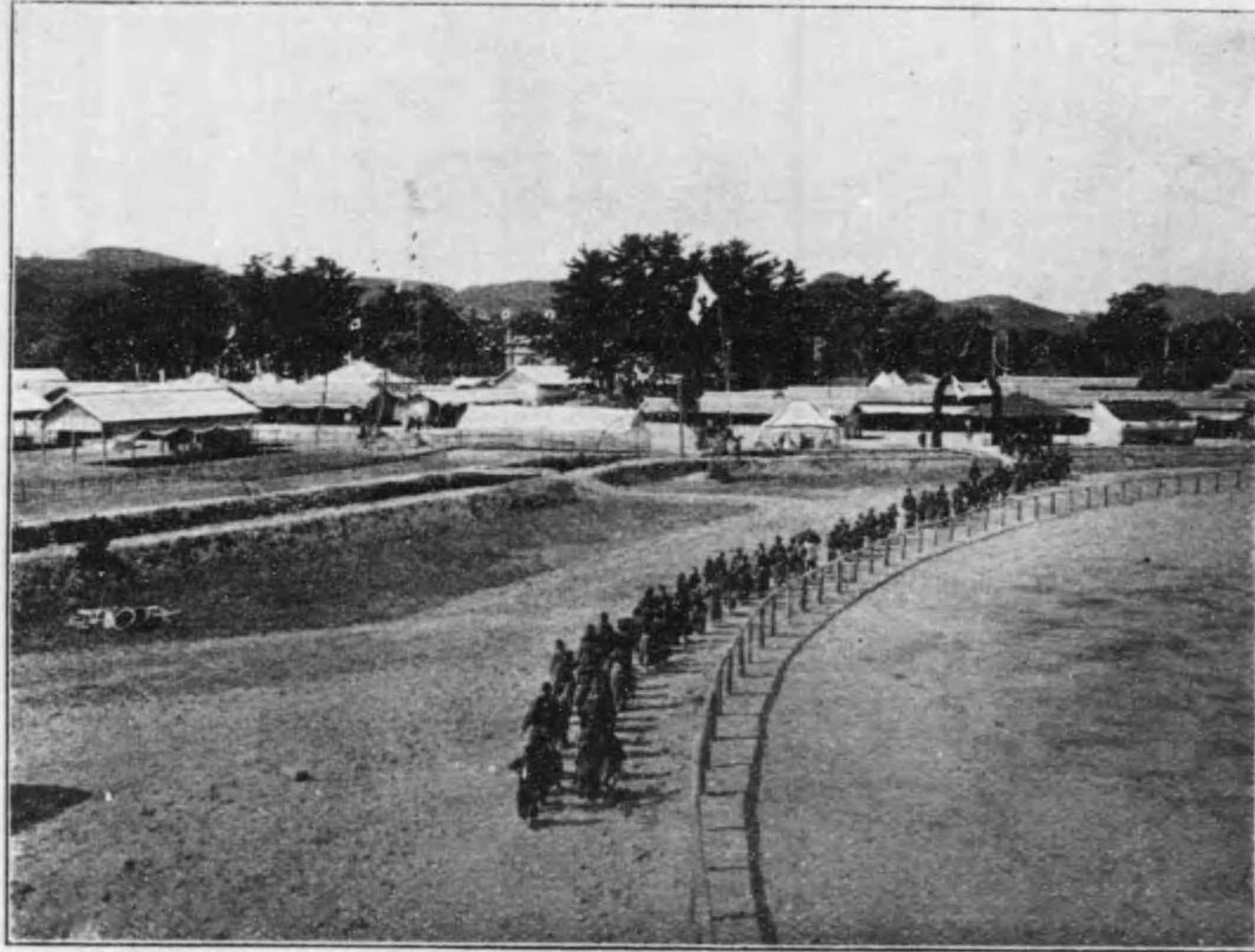
大正
3. 10. 30
内交



九州聯合馬畜產共進會正門



九州聯合馬畜產共進會內舍



九州合馬畜産共進會と鴨池競馬場



九州合馬畜産共進會式場

第二回九州聯合馬匹共進會
第一回九州聯合畜產共進會 事務報告

目次

第一	沿革	一
第二	準備	二
一	第一回協議會	二
二	第二回協議會	七
三	第三回協議會	一〇
四	事務所開閉	一二
第三	諸規則	一三
一	第二回九州聯合馬匹共進會規則	一三
二	第一回九州聯合畜產共進會規則	一七
三	第二回九州聯合馬匹共進會、第一回九州聯合畜產共進會處務規定	二七
四	第二回九州聯合馬匹共進會、第一回九州聯合畜產共進會獸醫服務心得	三一
五	第二回九州聯合馬匹共進會、第一回九州聯合畜產共進會看守人服務心得	三二

目次

六 徽章	三三
第四 職員及事務分掌	三三
一 職員	三三
二 事務分掌	三八
第五 會場	四五
一 位置及面積	四五
二 工事及建物	四五
三 會場圖面	四九
第六 出品	四九
一 第二回九州聯合馬匹共進會出品目錄	四九
二 第一回九州聯合畜產共進會出品目錄	五七
三 參考品出品目錄	七二
第七 審查	七七
第八 出品家畜衛生	九七
第九 儀式	一〇四
一 開會式	一〇四
二 褒賞授與式	一一〇

三 閉會式	一二六
第十 褒賞	一三〇
一 賞狀及賞牌	一三〇
二 受賞者	一三四
三 功勞者	一四七
四 副賞	一五〇
第十一 景況	一五二
第十二 廣告及割引	一五四
第十三 經費	一五七
一 共進會費	一五七
イ 主催縣特別負擔	一五七
ロ 各縣負擔	一五七
二 聯合縣連帶費	一六〇
第十四 招待	一六三
一 案内狀	一六三
二 案内者	一六六
第十五 參觀人	一六八

第十六 餘興及諸會同 一六九

第十七 事 歷 一七〇

九州聯合馬匹畜產共進會
鹿兒島縣協贊會 事務報告

目次

第一 準備 一七九

一 發起人會 一七九

二 第一回役員協議會 一八〇

三 第二回役員協議會 一八一

四 第三回役員協議會 一八一

五 事務所開閉 一八一

第二 諸規程 一八二

一 九州聯合馬匹畜產共進會鹿兒島縣協贊會規則 一八二

二 執務規程 一八五

三 會員待遇方法 一八六

四 徽章 一八七

第三 職員及事務分掌 一八八

第四事業……………一九二

一 待遇……………一九二

二 副賞……………一九五

三 記念印刷物及記念品……………一九六

四 補助事業……………二〇九

イ 家畜品評會……………二〇九

ロ 酪農展覽會……………二一八

ハ 肥畜展覽會……………二二一

ニ 大競馬……………二二二

第五 協贊會經費(決算高未定)……………二六五

目次終

第二回九州聯合馬匹共進會
 第一回九州聯合畜産共進會 事務報告

第一沿革



本會ハ明治四十三年三月十一日ヨリ同年五月九日迄六十日間福岡縣主催ノ下ニ長崎、福岡、大分、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、沖繩八縣聯合シ同縣福岡市ニ於テ開設セル第十三回九州、沖繩八縣聯合共進會ニ起因セリ而シテ其出品馬匹ハ百頭ニシテ之ヲ第一回九州、沖繩八縣聯合馬匹共進會ト稱シ牛五十六頭豚三十一頭鶏四十六羽其他ノ一般農産工藝品ト共ニ其第十三區トシテ開會セリサレハ今回ハ事實上馬匹畜産共ニ第二回ニ相當スレトモ先ニ馬匹ハ分立シテ其第一回ヲ開キ畜産ハ一般共進會ノ一部トシテ開催セシヲ以テ前者ハ第二回九州聯合馬匹共進會後者ハ第一回九州聯合畜産共進會ト稱セリ

抑明治四十三年四月福岡縣主催ノ下ニ九州沖繩八縣聯合共進會開設ノ際次回ハ大分縣主催ト協議決定セシモ其開設期日ハ確定セス從テ九州馬匹畜産共進會ノ開催モ豫期シクハサルノ運命ニ遭遇シタルハ誠ニ遺憾ニ堪ヘサル處ニシテ該共進會ノ斯業發達消長ニ關係スル多大ナルモノアルノミナラス他ノ産業ニ比シ幼稚ノ感アルヲ免レサルヲ認ムルニヨリ一般共進會ノ開催ヲ俟ツノ不利ナルヲ信シ單獨開催ノ運ヒニ至ランコトヲ希望シ居リシニ機ハ漸ク熟シ爰ニ明治四十四年五月熊本市ニ於テ西南區實業大會ノ開カル、ヤ該畜産部會ハ速ニ馬匹畜産共進會ヲ單獨開

第二準備

二

設センコトヲ決議シ九州各縣知事ニ建議スル所アリ又明治四十四年九月鹿兒島縣產業調查會ノ
 開催セラル、ヤ同様決議ヲナシ本縣知事ニ建議セリ
 仍テ馬匹畜産共進會ノ開設ハ九州各縣畜産界ノ一般希望ナリト認メ明治四十五年七月本縣ハ九
 州沖繩各縣知事ニ謀ルニ馬匹畜産共進會開會ノ件ヲ以テス其際沖繩縣ハ不賛同ナリシモ他ノ九
 州各縣ヨリハ何レモ賛同ノ旨回答アリシヲ以テ大正元年八月二十五日本縣廳内ニ九州各縣主任
 者ノ會同ヲ求メ本會開催ニ關スル諸般ノ協議ヲ爲シ以來數回ノ協議ヲ經テ遂ニ鹿兒島主催ノ下
 ニ長崎、福岡、大分、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島ノ七縣聯合シ大正二年十月二十一日ヨリ同月
 二十七日迄七日間鹿兒島縣鹿兒島郡中郡字村鴨池ニ於テ第二回九州聯合馬匹共進會第一回九州
 聯合畜産共進會ヲ開設スルニ至レリ而シテ其出品ハ牛、馬、豚、鶏、畜産製造品、畜産製造業
 經營ノ方法及業務成績ニシテ總數百七十九點參考品九十九點ヲ算スルニ至レリ

第二準備

一 第一回協議會

本會開催ノ準備トシテ大正元年八月二十三ノ兩日鹿兒島縣廳會議室ニ於テ聯合各縣主任官會
 合シ第一回協議會ヲ開催シタリ其出席員及決議事項左ノ如シ

出席員
 長崎縣屬 榮家登良二

福岡縣農業技師	山岡氏清
大分縣農業技師	有川哲二
熊本縣屬	伊藤敬止
佐賀縣屬	坂井武弼
宮崎縣事務官補	小野原弘
鹿兒島縣知事	谷口留五郎
同 內務部長	澤田牛麿
同 勸業課長	杉野繁
同 農業技師	前田辰雄
同 技手	高橋勇
同 技手	中須憲文
同 農業技手	武田豐彦
同 農業技手	藤井重利
同產馬組合聯合會副組長	山內慶治
同產馬組合聯合會技手	有馬純恭

決議事項

一 第一回九州聯合畜産共進會規則
 原案ヲ修正ノ上決定ノ處其ノ後主務省ニ於テ更ニ修正決定ス (規程之部參照)

第二準備

三

- 二 第二回九州聯合馬匹共進會規則
原案ヲ修正ノ上決定ノ處其後更ニ一部ヲ修正決定ス (規程之部參照)
- 三 右馬匹畜産共進會申合事項
 - 一 本會ニ關スル上申伺等ハ總テ主催縣ニ於テ之ヲ取扱ヒ其指令ハ各縣ニ通知スルコト
 - 二 陳列場建物ノ配置及設備ハ主催縣ニ一任スルコト
 - 三 配當點數ヲ出品シ能ハサル事情アルトキハ大正二年三月末日限り主催縣ニ通知スルコト
 - 四 各縣委員ハ開會一週間前迄ニ主催縣ニ到著スルコト
 - 五 陳列裝飾ニ係ル費用ハ聯合費ノ負擔トシ各縣任意ノ裝飾ヲ爲サ、ルコト
 - 六 出品物ノ運搬ニ係ル費用ハ出品人若ハ其縣ノ負擔トス
 - 但シ本會ヨリ官署其他ニ要求シテ出品スル參考品ノ運搬費用ハ聯合費ヨリ支辨スルコト
 - 七 各縣ハ其事務所ヲ主催地ニ設置シ開會一週間前ニ開所スルコト
 - 八 本會ニ關スル諸規程ハ主催縣ニ於テ之ヲ設定シ各縣ニ通知スルコト
 - 九 本會職員以下ノ徽章調製ハ主催縣ニ一任スルコト
 - 十 馬匹畜産兩會ノ經費ハ共通スルコト
 - 但シ手續上區分ヲ要スル場合ハ其區分方ハ主催縣ニ一任スルコト
 - 十一 出陳動物陳列順序ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムルコト
 - 十二 出陳物出品人汽車汽船ノ割引ハ主催縣ニ於テ交渉シ其結果ヲ聯合縣ニ通知スルコト
 - 十三 各縣委員ノ官氏名ヲ大正二年四月末日迄ニ主催縣ニ通知スルコト

- 十四 飼料費ハ各種其ノ出品點數ニ陳列裝飾費ハ出品總點數ニ按分シ其他ノ費用ハ各縣平等ニ負擔スルコト
- 十五 飼料ハ別表(豫算書ニ添附)ニ依リ現品ヲ支給スルコト
- 十六 飼料ハ主催縣ニ於テ之ヲ用意シ開會二日前及開會後三日目ノ二回ニ各半期分ヲ各縣委員ニ於テ之ヲ受取り所定ノ各縣飼料庫ニ格謹保管シ各縣委員ニ於テ出品人ニ交付スルコト
- 尤モ出品人ニハ毎日分ノ濃厚飼料ヲ容ルヘキ袋ヲ交付スルコト
- 毎日ノ給與量ハ左ノ如シ

飼料

種類	馬	牛	豚	雞	種類	馬	牛	豚	雞
燕麥	六升	一升		一合	穀		五升		
大麥					甘藷				一貫五百匁
大豆	五合				糖				七升
乾草	三貫	三貫			醬油				四百五十匁
敷鹽	三貫	三貫			青物				適量
食鹽	五勺	五勺							

十七 各縣ニ於テ聯合共進會費ヲ議決シタルトキハ之ヲ主催縣ニ通知スルコト

- 四 右馬匹畜産共進會經費豫算
原案豫算書ヲ修正ノ上決定ス (經費ノ部参照)
- 五 右馬匹畜産共進會出品配當數
左ノ通決定ス

九州聯合馬匹畜産共進會出品配當表

縣名	馬	牛	豚	鶏	計	縣名	馬	牛	豚	鶏	計
長崎	九	五	三	三	二〇	熊本	二	六	一	一	二〇
福岡	四	七	二	四	一七	宮崎	一	五	二	一	二〇
大分	四	一	一	一	一五	鹿兒島	一	〇	〇	九	二一
佐賀	一	六	二	二	一一	計	六〇	五〇	二〇	二〇	一五〇

- 六 右馬匹畜産共進會經費分擔額
左ノ通決定ス

九州聯合馬匹畜産共進會聯合費配當表

縣名	平均負擔額	飼料費負擔額	陳列裝飾費負擔額	計
長崎	四〇九、三〇七	九五、九四〇	五三、三四〇	五五八、五八七

縣名	平均負擔額	飼料費負擔額	陳列裝飾費負擔額	計
福岡	四〇九、三〇七	七二、六七五	四五、三三九	五二七、三二一
大分	四〇九、三〇七	九〇、〇四五	四〇、〇〇五	五三九、三五七
佐賀	四〇九、三〇七	四五、二二五	二九、三三七	四八三、八六九
熊本	四〇九、三〇七	一一七、九〇〇	五三、三四〇	五八〇、五四七
宮崎	四〇九、三〇七	一一〇、三七五	五六、〇〇七	五八五、六八九
鹿兒島	四〇九、三〇八	一九二、六九〇	一二二、六八一	七二四、六七八
通計	二、八六五、一五〇	七三四、八五〇	四〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇

備考 陳列裝飾費配當ニ於テ四拾五入ノ結果四錢五厘ノ過剩ヲ生スルモ通計ニハ合算セス

二 第二回協議會

大正二年八月二十五日鹿兒島縣廳ニ於テ聯合各縣主任官會合シ第二回協議會ヲ開催シタリ其出席員及決議事項左ノ如シ

出席員

- | | |
|------|-------|
| 長崎縣屬 | 榮家登良二 |
| 福岡縣屬 | 山岡氏清 |
| 熊本縣屬 | 伊藤敬止 |
| 大分縣屬 | 有川哲二 |
| 佐賀縣屬 | 坂井武弼 |

宮崎縣理事官	小野原弘
鹿兒島縣知事	谷口留五郎
同 內務部長	服部教一
同 勸業課長	杉野繁
同 農業技師	前田辰雄
同 技手	高橋勇
同 技手	中須憲文
同 農業技手	武田豐彦
同 農業技手	藤井重利
同產馬組合聯合會副組長	山內慶治
同產馬組合聯合會技手	有馬純恭

決議事項

- 一 聯合費豫算流用ノ件
聯合費豫算ノ流用ハ便宜主權縣ヘ委任スルコトニ決定
- 二 畜産共進會褒賞費(賞牌賞杯)ノ件
各縣平等ニ分擔スルコト、シ可成聯合豫算四千百圓ノ内ヨリ支出スヘシ萬一右豫算中ヨリ支出シ能ハサル場合ハ各縣便宜負擔スルコトニ決定
- 三 共進會事務長及鹿兒島縣協贊會長ヨリ案内狀ヲ發スヘキモノ、資格ニ關スル件

聯合縣以外ハ主權縣ニ一任スルコト、シ聯合縣内ハ別紙資格ヲ有スルモノ、氏名ヲ各縣ヨリ主權縣ニ通知スルコトニ決定

四 馬匹畜産ニ關スル功勞者ノ件

產馬ニ關スル功勞者ハ馬政局ヨリ今回ハ表彰セサル旨通知セシヲ以テ畜産ニ關スル功勞者ノミ各縣約三名迄ヲ調査シ其事績及履歴ヲ九月末日限リ主權縣ニ送付スルコトニ決定

五 出品動物種類稱呼ノ件

馬匹種類ノ稱呼ハ馬政局ノ内規ニ依リ尙血統明瞭ナル雜種ハ其種類ヲ冠シ回数ハ父母血統欄内ニ記入シ同時ニ父馬ノ國有、縣有、個人有等ノ區別ヲ記入ス
牛ハ「エアシャー」、「ホルスタイン」、「ジェルシー」、短角等ノ稱呼ヲ用ヒ雜種ハ父牛ノ種類稱呼ヲ冠ス以下馬ニ同シ

六 聯合各縣事務所位置決定ノ件

各縣ノ豫算及希望ヲ纏メ主權縣ニ於テ家屋ヲ選擇シ各縣ヘ通知スルコトニ決定

七 出品人及參觀人ニ對スル合宿所準備ノ件

別ニ合宿所ヲ設ケス主權縣ニ於テ旅宿ニ割引ヲ交渉シ可成出品人其他ノ便宜ヲ圖ルヘキコトニ決定

八 陳列場分配ノ件

抽籤ノ結果左ノ通り決定ス
(一) 大分縣 (二) 長崎縣 (三) 鹿兒島縣 (四) 佐賀縣

- (五) 福岡縣
- (六) 宮崎縣
- (七) 熊本縣
- 九 第三回馬匹第二回畜産聯合共進會開催年度及開催地決定ノ件
各縣ニ於テ豫メ意見ヲ定メ置キ褒賞授與式當日協定スルコトニ決定ス
- 十 共進會開會中附帶事業トシテ開催スヘキ諸會開會中九州畜産獸醫大會ヲ開催スルコトニ決定

三 第三回協議會

大正二年十月十七十八ノ兩日九州聯合馬匹畜産共進會場ニ於テ第三回協議會ヲ開催シタリ其出席員及決議事項左ノ如シ

出席員

長崎縣 技手	今泉 壽吉郎
福岡縣 農業技師	山岡 氏清
大分縣 農業技師	有川 哲二
熊本縣 屬屬	伊藤 敬止
佐賀縣 屬屬	坂井 武弼
宮崎縣 技手	原田 政市
鹿兒島縣 農業技師	前田 辰雄
鹿兒島縣 技手	高橋 憲文
鹿兒島縣 技手	中須 憲文

決議事項

- 一 出品動物ノ陳列順ニ關スル件
牝牡別、種類別、年齢別トシ牝ヲ先ニシ若ヨリ老ニ及フ
- 二 各縣總代祝辭ニ關スル件
知事總代ハ官等高キ人ニ託スルコト
主催縣ノ縣會議長、市長、郡長總代、産牛馬組合總代祝辭朗讀ノコト
- 三 出品人總代答辭ノ件
主催縣ニ依頼スルコト
- 四 事務分掌ニ關スル件
庶務係ニハ各縣ノ委員ヲ全部入ル、コト
出品係ニハ畜産主任者ヲ入ル、コト
- 五 牧夫總代ニ關スル件
各縣總代ヲ定メテ主催縣ニ通知スルコト
- 六 審査場ニ於ケル説明者ノ件
各縣ヨリ一名ツ、審査場ニ出席セシメ出品ノ説明ヲ爲シタキ希望ヲ審査長ニ申入ル、コト
- 七 縣委員ノ紀章ニ關スル件
主催縣ニテ便宜調査シ之方費用ハ聯合費ヲ以テスルコト
- 八 補充出品ノ費用ニ關スル件

第二準備

補充シタル縣ノ費用ハ補充セラレタル處ノ負擔トス
九 牧夫舎ノ配置ニ關スル件

第一號牧夫舎	宮崎縣	七人	福岡縣	二人
	鹿兒島縣	十四人	計	二十三人
第二號牧夫舎	熊本縣	九人	佐賀縣	一人
	大分縣	五人	計	十五人
第三號牧夫舎	長崎縣	七人		

一〇 場外牧夫舎ニ要スル費用ノ件
福岡縣ノ例ニ倣ヒ各縣ノ自辨タルコト

四 事務所開閉

第二回馬匹第一回畜産九州聯合共進會事務所ハ最初鹿兒島縣廳内ニ設ケ事務ヲ開始セシカ大正二年十月十六日ヨリ鹿兒島縣鹿兒島郡中郡宇村立田ニ設置ス會期終了後十月二十八日再ヒ鹿兒島縣廳内ニ引揚ケ殘務完了シ大正二年十二月十五日ヲ以テ閉鎖シタリ

第三 諸規則

第二回九州聯合馬匹共進會規則

第一章 總則

第一條 本會ハ長崎福岡大分熊本宮崎佐賀鹿兒島ノ七縣聯合シ大正二年十月二十一日ヨリ二十七日迄日數七日間鹿兒島縣鹿兒島市ニ開設ス
第二條 本會ニ關スル會場ノ設備ハ主催縣ニ於テ之ヲ爲ス

第二章 出品

第三條 出品馬匹ノ年齢ハ明ケ三歳以上明ケ五歳以下トス
第四條 出品人ハ馬匹ノ所有者ニシテ一戸一人ニ限ル産馬組合及産牛馬組合其他農事畜産ニ關スル團體ハ前項ニ準シ出品スルコトヲ得
第五條 出品馬匹ハ出品人所在ノ縣内ニ於テ生産シタルモノニ限ル
國又ハ縣ノ設置ニ係ル種畜場試驗場講習所實業學校ニ於テ生産シ若ハ所有スル馬匹又ハ驢馬ハ出品スルコトヲ得ス但シ參考品トシテ出品スルハ此ノ限ニ在ラス
第六條 出品人ハ別記様式ノ出品目錄二通ヲ作り大正二年四月三十日迄ニ町村役場、郡市役所、島廳ヲ經テ所轄縣廳ヘ差出スヘシ
第七條 出品馬匹ハ大正二年十月二十日會場ヘ牽入レ同月二十八日牽出スヘシ但シ其費用ハ出品人ノ負擔トス

第三 諸規則

一四

第八條 出品馬匹ハ會期中撤去スルコトヲ得ス但シ開會中出品馬匹ノ外泊ヲ願出ツルトキハ其事情ニヨリ許可スルコトアルヘシ此ノ場合ハ規定ノ時刻ニ出陳スヘシ

第九條 出品馬匹ハ牽入レノ際健康診斷ヲ行ヒ疾病惡癖其他ノ事故ニ依リ他ニ危害ヲ及ホスヘキ虞アリト認ムル者ハ牽入ヲ拒絶ス出陳中右ノ事故生シタルトキハ退去セシムルコトアルヘシ

第十條 出品馬匹ハ本會ニ於テ相當ノ保護ヲ爲スヘシト雖モ不可抗力ニ依ル損害ハ本會其責ニ任セス

第十一條 出品馬匹ヲ購買セントスルモノハ當該縣ノ委員ニ申出ツヘシ

第十二條 出品賣約濟ノ馬匹ハ本會ヨリ交付スル約定濟ノ標札ヲ付スヘシ

賣約濟ノ馬匹ハ閉會後ニアラサレハ之ヲ買主ニ引渡スコトヲ得ス

第三章 審査及褒賞

第十三條 出品馬匹ハ(參考品ヲ除ク)總テ審査スルモノトス

第十四條 出品人ハ審査ヲ辭シ又ハ之ヲ拒ミ褒賞ヲ辭シ若ハ再審査ヲ請求シ又ハ審査ノ決定ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 褒賞授與式ハ大正二年十月二十六日之ヲ舉行ス

第四章 觀覽

第十六條 開會中ハ毎日午前八時ヨリ午後四時迄公衆ノ觀覽ヲ許ス但シ時宜ニ依リ伸縮又ハ入場若ハ觀覽ヲ停止スルコトアルヘシ

入場料ヲ徵收セス

第十七條 瘋癲醉狂其他場内秩序ニ妨害アリト認ムル者ハ入場ヲ拒絶シ又ハ場外ニ退去セシムルコトアルヘシ

第十八條 會場内ニ荷物ヲ携ヘ又ハ出品外ノ獸類ヲ牽入ル、コトヲ得ス但シ傘、杖、小形手提類ハ此ノ限ニ在ラス

觀覽人ハ委員又ハ看守人ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ出品ニ手ヲ觸ル、コトヲ得ス

第五章 事務

第十九條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

事務長

事務委員長

事務委員

獸醫

書記

第二十條 事務長ハ主權縣知事ヲ以テ之ニ充テ本會一切ノ事務ヲ統理ス
事務長事故アルトキハ事務委員長ニ其事務ヲ代理セシメ又ハ事務ノ一部ヲ委任スルコトヲ得

第二十一條 審査長及審査官ハ馬政局ニ派遣ヲ請フモノトス

第二十二條 事務委員長ハ主權縣内務部長ヲ以テ之ニ充テ事務長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第三 諸規則

一五

第三 諸規則

一六

事務委員長事故アルトキハ主催縣ノ事務委員ヲ以テ之ヲ代理セシメ又ハ其事務ノ一部ヲ委任スルコトヲ得

第二十三條 事務委員ハ聯合各縣ノ委員ヲ以テ之ニ充テ事務長、事務委員長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ分掌ス

第二十四條 獸醫及書記ハ事務長之ヲ選任シ事務委員長ノ指揮ヲ承ケ獸醫ハ馬匹衛生ニ從事シ書記ハ記錄會計等ノ庶務ニ従事ス
書式

出品目錄

何縣 何郡 何町大字 番地
出品人 氏 名印
何會社何組合代表者 氏 名

種類名號	性	生年月日	毛色	血統	產地	褒賞ノ有無	賣品非賣品ノ區別及價格
------	---	------	----	----	----	-------	-------------

右之通

大正二年 月 日

第二回九州聯合馬匹共進會御中

第一回九州聯合畜產共進會規則

第一章 總則

第一條 本會ハ長崎、福岡、大分、熊本、宮崎、佐賀、鹿兒島ノ七縣聯合シ大正二年十月二十一日ヨリ同月二十七日迄七日間鹿兒島縣鹿兒島市ニ開設ス

第二條 本會ニ關スル會場ノ設備ハ主催縣ニ於テ之ヲ爲ス

第二章 出品

第三條 本會ノ出品ヲ分テ左ノ六部トス

第一部 牛

第二部 豚

第三部 鶏

第四部 畜產製造品(食用品)

第五部 畜產業及畜產食用品製造業經營ノ方法及成績

第六部 參考品

第四條 出品ハ出品人カ其縣内ニ於テ生産若ハ製造シタルモノニ限ル

但シ出品人カ其縣内ニ於テ生産シタルモノヲ讓受ケ一箇年以上飼養シタル牛六箇月以上飼養シタル豚及鶏ハ出品スルコトヲ得

出品ハ一部ニ付一戸一人ニ限リ左ノ制限ニ依ル可シ

一 牛 生後十八箇月以上七十二箇月以下ノモノ二頭以内

第三 諸規則

一七

- 二 豚 生後六箇月以上三十六箇月以下ノモノ二頭以内
- 三 鶏 生後六箇月以上三十六箇月以下ノモノ二番(一番ハ一雄二雌)以内
- 四 製造品 一種ニ付三斤以上七斤以下又ハ三箇以上七箇以下但シ鐘詰ハ六箇以上十二箇以下
- 五 畜牛結核豫防法ニ依リ検査ヲ受クヘキ牛ハ一箇年以内ニ検査ヲ受ケ健康證ヲ有スルモノニ限ル
- 第五條 出品人ハ聯合縣内ニ於テ畜産業又ハ畜産食用品製造業ニ従事スル者ニ限ル
産牛組合其他畜産ニ關スル團體ハ前項ニ準シ第五部ノ出品ヲナスコトヲ得
- 第六條 本會ノ出品種類ニ關シ參考トナリ有益ト認ムルモノハ第四條第一項第二項第一號乃至第四號及第五條ノ規定ニ拘ラス參考品トシテ出品スルコトヲ得
- 第七條 出品人ハ別記書式ノ出品目錄二通及解説書一通ヲ作り大正二年四月三十日迄ニ町村役場郡市役所島廳ヲ經テ所轄縣廳ヘ差出スヘシ
前項ノ出品目錄及解説書ハ所轄縣廳ニ於テ調査シ其各一通ヲ大正二年五月三十一日迄ニ主催縣廳ヘ送付スルモノトス
- 聯合縣外ヨリ參考品ヲ出品セムトスル者ハ前項ノ規定ニ準シ出品目錄及解説書各一通ヲ直接主催縣ニ差出スヘシ此ノ場合ニ於ケル出品ノ許否ハ主催縣之ヲ決定ス
- 第八條 出品ハ大正二年十月二十日會場ヘ搬入シ同月二十八日搬出スヘシ但シ其費用ハ出品人ノ負擔トス

- 第九條 出品ハ會期中撤去スルヲ得ス但シ開會中出品動物ノ外泊ヲ願出ルトキハ其事情ニ依リ許可スルコトアルヘシ此ノ場合ハ規定ノ時刻ニ出陳スヘシ
 - 第十條 出品動物ハ牽入レノ際健康診斷ヲ行ヒ疾病惡癖其他ノ事故ニ依リ他ニ危害ヲ及ホスヘキ虞アリト認ムルトキハ其出陳ヲ拒絕ス出陳中右ノ事故生シタルトキハ退去セシムルコトアルヘシ
 - 第十一條 出品ハ本會ニ於テ相當ノ保護ヲ爲スヘシト雖モ不可抗力ニ依ル損害ハ本會員其責任セス
 - 第十二條 出品ニハ總テ其出品ノ部類、番號、品名、數量、代價非賣品ナレハ其旨朱書スヘシ及出品人ノ住所氏名ヲ記載シタル付札ヲ附スヘシ
 - 第十三條 出品物ヲ購賣セムトスル者ハ當該縣ノ委員ニ申出ツヘシ
 - 第十四條 出品中賣約濟ノモノハ本會ヨリ交付スル賣約濟ノ標札ヲ附スヘシ
賣約濟ノ出品ハ閉會後ニ非サレハ之ヲ買主ニ引渡スコトヲ得ス
- 第三章 審査及褒賞
- 第十五條 出品ハ(參考品ヲ除ク)總テ審査スルモノトス
 - 第十六條 出品ノ審査ハ大正二年十月二十一日ニ始リ同月二十四日ニ終了スルモノトス
 - 第十七條 出品中優等ノモノニ對シテハ左ノ等級ニ從ヒ褒賞ノ授與ヲ農商務大臣ニ申請スルモノトス

- 一等
- 二等
- 三等
- 四等

第十八條 同一ノ出品人ニシテ同一部中ニ於テ數箇ノ褒賞ヲ受クヘキトキハ賞牌ハ最高等ノモノ一箇ヲ授與シ其他ニ對シテハ賞狀ノミヲ授與ス但シ第一部第二部ノ出品ハ此ノ限ニアラス

第十九條 畜産業又ハ畜産食用品製造業ニ關シ特別ノ功勞アル者ニ對シ功勞賞又ハ追賞ノ授與ヲ農商務大臣ニ申請スルモノトス

第二十條 出品人ハ審査ヲ辭シ又ハ之ヲ拒ミ褒賞ヲ辭シ若ハ再審査ヲ請求シ又ハ審査ノ決定ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第二十一條 褒賞授與式ハ大正二年十月二十六日之ヲ舉行ス

第四章 觀覽

第二十二條 開會中ハ毎日午前八時ヨリ午後四時迄公衆ノ觀覽ヲ許ス但シ時機ニ依リ伸縮シ又ハ入場若ハ觀覽ヲ停止スルコトアルヘシ

入場料ヲ徵收セス

第二十三條 瘋癲醉狂其他場内秩序ニ妨害アリト認ムル者ハ入場ヲ拒絕シ又ハ場外ニ退去セシムルコトアルヘシ

第二十四條 會場内ニ荷物ヲ携ヘ又ハ出品外ノ獸類ヲ牽入ル、コトヲ得ス但シ傘、杖、小形手提類ハ此ノ限ニアラス

觀覽人ハ委員又ハ看守人ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ出品物ニ手ヲ觸ル、コトヲ得ス

第五章 事務

第二十五條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

- 事務長
- 審査長
- 事務委員長
- 審査官
- 審査員
- 事務委員
- 獸醫
- 書記

第二十六條 事務長ハ主權縣知事ヲ以テ之ニ充テ本會一切ノ事務ヲ統理ス

事務長事故アルトキハ事務委員長ニ其事務ヲ代理セシメ又ハ事務ノ一部ヲ委任スルコトヲ得

第二十七條 審査長、審査官及審査員ハ農商務省ヨリ派遣ヲ請フモノトス

審査長ハ審査ニ關スル諸規程ヲ定メ審査事務ヲ總理ス

審査官ハ審査長ノ指揮ヲ承ケ審査及之ニ關スル事務ヲ分掌ス

審査員ハ審査長及審査官ノ指揮ヲ承ケ審査ヲ補助ス

第二十八條 事務委員長ハ主權縣內務部長ヲ以テ之ニ充テ事務長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

事務委員長ノ事故アルトキハ主權縣ノ事務委員ヲ以テ之ヲ代理セシメ又ハ其事務ノ一部ヲ委

任スルコトヲ得

第二十九條 事務委員ハ聯合各縣ノ委員ヲ以テ之ニ充テ事務長事務委員長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ分掌ス

第三十條 獸醫及書記ハ事務長之ヲ選任シ事務委員ノ指揮ヲ承ケ獸醫ハ家畜衛生ニ從事シ書記ハ記錄會計等ノ庶務ニ從事ス
書式ノ一

出品目録 (用紙半紙)

縣 市郡 町大字 番地

職業 出品人 氏 名印

(何會社何組合代表者氏名)

第何部 (牛豚)

種類名號	性	生年月	毛色	血統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品ノ區別及價格
------	---	-----	----	----	----	------	----	-------------

右之通

大正二年 月 日

第一回九州聯合畜産共進會御中

解説書 (用紙半紙)

縣 市郡 町大字 番地

職業 出品人 氏 名印

(何會社何組合代表者氏名)

- 種類名號
- 性
- 生年月日
- 高サ (豚ハ體量)
- 毛色
- 血統父何種何號、母何種何號
- 用途
- 產地
- 飼育期間
- 育成地
- 現養地
- 牧場 (有無面積)

第三 諸規則

第三 諸規則

- 現在飼養頭數
 - 最近三箇年生產頭數(年別牝牡別)
 - 最近三箇年販賣頭數及其價格(年別牝牡別)
 - 審査請求ノ主眼
 - 褒狀ノ有無(年月日種類授賞ノ會名)
 - 出品人ノ產牛(豚)ニ關スル經歷
- 大正二年 月 日

出品目録(用紙半紙)

縣 市 郡 町 大字 番地

職業 出品人

氏 名 印

第三部 (鶏)

(何會社何組合代表者氏名)

種類	雌雄別及數	年齡	產地	用途	賣品非賣品ノ區別及價格
----	-------	----	----	----	-------------

右之通

大正二年 月 日

第一回九州聯合畜產共進會御中

解 說 書 (用紙半紙)

縣 市 郡 町 大字 番地

職業 出品人

氏 名 印

(何會社何組合代表者氏名)

- 種類
 - 生 年 月
 - 產 地
 - 飼養期間
 - 用 途
 - 現在飼養數
 - 最近三箇年間生產數
 - 最近三箇年間ノ販賣數及其價格(年別)
 - 褒狀ノ有無(年月日種類授賞ノ會名)
 - 審査請求ノ主眼
 - 出品人ノ家禽業ニ關スル經歷
- 大正二年 月 日

第三 諸規則

書式ノ三

出品目録 (用紙半紙)

縣 市 郡 町 大字 番地
職業 出品人 氏 名 印

(何會社何組合代表者氏名)

第何部 (何々)

品名	數量	製造者著述者	價格	賣品非賣品區別
		設計者住所氏名		

計何點
右之通

大正二年 月 日

第一回九州聯合畜産共進會御中

解說書 (用紙半紙)

縣 市 郡 町 大字 番地
職業 出品人 氏 名 印

(何會社何組合代表者氏名)

- 品名
- 數量
- 製造年限 (何年何月ヨリ)
- 製造方法
- 職工數 (男女別)
- 器械器具ノ種類及其數
- 最近三箇年間ニ於ケル生産高及其價格 (年別)
- 價格 (單價及卸賣價格等)
- 販路
- 學術應用發明及其功勞
- 褒賞ノ有無 (年月日種類授賞ノ會名)
- 出品ニ對スル審査請求ノ主眼
- 出品人ノ畜産食用品製造業ニ關スル經歷

大正二年 月 日

第二回九州聯合馬匹共進會 處務規定
第一回九州聯合畜産共進會

第一章 事務分掌

第一條 本會事務ヲ處理スル爲メ左ノ係ヲ置ク

第三 諸規則

庶務係 出品係 土木係 會計係

第二條 庶務係ニ於テハ左ノ事務ヲ處理ス

- 一 職員ニ關スル事項
- 二 儀式接待ニ關スル事項
- 三 文書ノ收受發送ニ關スル事項
- 四 記録編纂報告等ニ關スル事項
- 五 文書及印章等ノ保管ニ關スル事項
- 六 廣告賣店等ニ關スル事項
- 七 徽章服制等ニ關スル事項
- 八 通信運搬ニ關スル事項
- 九 宿直ニ關スル事項
- 十 會場取締ニ關スル事項
- 十一 人力車、馬車、旅人宿、料理店等ノ取締ニ關スル事項
- 十二 前各項ノ外他ノ主管ニ屬セサル事項

第三條 出品係ニ於テハ左ノ事務ヲ處理ス

- 一 出品勸誘ニ關スル事項
- 二 出品ノ陳列裝飾其他設備ニ關スル事項
- 三 審査ニ關スル事項

- 四 出品動物ノ衛生ニ關スル事項
- 五 飼料給與ニ關スル事項
- 六 出品物ノ賣約ニ關スル事項
- 七 場内掃除ニ關スル事項

第四條 土木係ニ於テハ左ノ事務ヲ處理ス

- 一 土地家屋ノ使用處分ニ關スル事項
- 二 土木ニ關スル事項
- 三 建築ニ關スル事項
- 四 電燈電話及上水下水ニ關スル事項
- 五 場内諸建物ノ監督ニ關スル事項

第五條 會計係ニ於テハ左ノ事務ヲ處理ス

- 一 金錢物品ノ出納ニ關スル事項
- 二 物品ノ調達並保管ニ關スル事項
- 三 給仕、小使、人夫等ニ關スル事項
- 四 其他會計ニ關スル事項

第二章 處務

第六條 本會ニ到著シタル文章ハ庶務係ニ於テ收受シ各係ニ回付シ發送文書ハ各係ニ於テ淨寫シ庶務係ニ回付スヘシ但シ當分ノ内務部勸業課ニ於テ處理スヘシ

第七條 本會ヨリ發送スル文章ハ事務長名ヲ用フ但シ輕易ノ事項ハ事務委員長名又ハ會名ヲ用フヘシ

第八條 各係ニ於テ配付ヲ受ケタル文書ハ即日之ヲ處理スヘシ但シ即日處理シ難キモノハ事務委員長ノ指揮ヲ受クヘシ

第九條 各係ヨリ發案スル事項ハ關係各係ハ勿論總テ庶務係ニ合議スヘシ

第十條 左ノ事項ハ事務委員長ノ決裁ヲ受ケ直ニ之ヲ施行スルコトヲ得但シ特ニ重要ト認メタルモノハ事務長ノ決裁ヲ受クヘシ

一 照會往復等ノ內輕易ナル事項

二 書記以下備員任免ニ關スル事項

三 委員以下事務分掌ニ關スル事項

四 職員ノ願届ニ關スル事項

五 金錢物品ノ出納保管及物品ノ調度並處分ニ關スル事項

六 其他特ニ委任アリタル事項

第三章 會計

第十一條 本會ニ屬スル現金ハ事務長ニ於テ指定シタル取扱者ヲシテ保管セシメ收支ノ都度事務長ノ決裁ヲ受クヘシ

第十二條 金錢ノ出納ヲ掌ラシムヘキ委員ハ事務長之ヲ命ス

第十三條 物品ノ調達其他支拂金ヲ要スルトキハ主務係ニ於テ發議シ會計係ニ合議ノ上事務長

若ハ事務委員長ノ決裁ヲ受クヘシ收入金亦同シ

第十四條 金錢ノ出納ハ其ノ都度之ヲ記帳シ支拂ヲシタルトキハ正當領收證若クハ證明書ヲ徴スヘシ

第十五條 職員ノ服務及宿直ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

九州聯合馬匹畜産共進會獸醫服務心得

一 獸醫ハ毎日開場前ニ出勤シ閉場一時間後ニ退場スヘシ但シ一名ハ當直服務スルコトヲ要ス

一 獸醫ハ出品係ニ屬シ左ノ職務ニ従事スヘシ

一 出品動物ノ衛生ニ關スルコト

二 飼料ノ調理及給食ノ監督ニ關スルコト

三 出品動物疾病ノ治療ニ關スルコト

一 前項ノ職務ヲ施行スル爲メ時時飼料渡場及厩舎内ヲ巡視シ若シ出品動物ニ異狀アリト認メタル時ハ之ヲ出品係及當該縣ノ事務委員並出品人ニ告知シ直ニ適應ノ處理ヲ爲スヘシ

一 出品動物外泊中疾病ノ通知ヲ受ケタル時ハ直ニ出張シテ診察治療ヲ爲スヘシ

一 出品人ヨリ診察料施術料其他一切ノ贈與ヲ受クルコトヲ得ス

一 職務執行上專決シ難キ場合アル時ハ出品係ニ申出テ指揮ヲ請フヘシ

一 常ニ溫和懇切ヲ旨トシ出品人其他ニ接スヘシ

一 公務ニ依リ會場外ニ出テントスルトキハ其旨他ノ獸醫ニ告ケタル後ニ於テスヘシ

一 前記各項ノ外事務所ヨリ指示シタル事項ヲ遵守スヘシ

九州聯合馬匹畜産共進會看守人服務心得

- 一 看守人ハ開會中晝夜ノ別ナク會場ノ看守ヲ爲スモノトス
- 一 但シ同僚申合セ交代休憩スルコトヲ得
- 一 看守人ハ出品動物ノ動靜ニ注意シ逸走又ハ爭鬪セサル様注意スヘシ
- 一 看守人ハ毎日午前十時及午後三時ノ兩度出品動物ヲ點檢シ出品係ヘ報告スヘシ
- 一 出品動物中疾病ニ罹リタリト認ムルモノアルトキハ速ニ獸醫ニ報告スヘシ
- 一 會場内諸器具ノ數ヲ點檢シ破損又ハ紛失ナキ様注意スヘシ
- 一 參觀人心得ニ抵觸スルモノアル時ハ之ヲ制止スヘシ
- 一 參觀人中出品物ニ接觸センコトヲ求ムルモノアル時又ハ出品物ヲ購買セムコトヲ申入ル、モノアル時ハ當該縣ノ事務委員ニ紹介スヘシ
- 一 出品ニ付質問ヲナスモノアル時ハ出品人又ハ事務委員ニ紹介スヘシ
- 一 公務ニ依リ會場外ニ出テントスル時ハ其旨看守人ニ通知シタル後ニ於テスヘシ
- 一 出品人又ハ參觀人ニ接スルニハ丁寧懇切ヲ旨トシ粗暴ノ舉動アルヘカラス
- 一 天災地變アル時ハ出勤時間外ト雖モ速ニ出場シ事務所ノ指揮ヲ待ツヘシ
- 一 本會徽章ヲ帶フル者又ハ貴賓ニ對シテハ相當ノ敬禮ヲ爲スヘシ
- 一 會場内ニ於テ異常ノ事故發生シ若ハ建物等ニ破損ヲ生シタル時ハ速ニ係事務委員ニ通知スヘシ
- 一 前記各項ノ外係事務委員ノ訓示シタル事項ヲ遵守スヘシ

徽章

本會職員ニハ左圖ノ如キ徽章ヲ佩用セシメタリ意匠ハ島津家ノ紋章⁺ヲ中心トシテ主權縣鹿兒島ヲ影ハシ七箇ノ「共」字ヲ外圍トシテ九州七縣聯合馬匹畜産共進會ヲ意味シタルモノナリ



縦徑六分
横徑六分

事務長	金色	白色七寶	事務委員長	金色	青色七寶
審査長	金色	赤色七寶	審査官	金色	茶色七寶
審査員	銀色	赤色七寶	事務委員	銀色	青色七寶
獸醫	青銅色	白色七寶	書記看守人	銅色	

第四 職員及事務分掌

一 職員

九州聯合馬匹畜産共進會職員

鹿兒島縣委員

屠畜検査技手	古川國彦
屠畜検査技手	山元平角
農業技手	前田嘉熊
揖宿郡農業技手	河内時英
薩摩郡農業技手	中内馬太郎
出水郡農業技手	吉利九郎
伊佐郡農業技手	中間一之助
始良郡農業技手	西田榮次郎
噲唵郡農業技手	加藤源一郎
肝屬郡農業技手	澁谷龍三
鹿兒島郡中郡宇村長	肝付郷十郎
鹿兒島縣獸醫會長	宮内信哉

二 事務分掌

庶務係

- 一 職員ニ關スル事項
- 二 儀式接待ニ關スル事項
- 三 文書ノ收受發送ニ關スル事項

- 四 記録編纂報告等ニ關スル事項
- 五 文書及印章等ノ保管ニ關スル事項
- 六 廣告賣店等ニ關スル事項
- 七 徽章服制等ニ關スル事項
- 八 通信運搬ニ關スル事項
- 九 宿直ニ關スル事項
- 一〇 會場取締ニ關スル事項
- 一一 人力車馬車旅館料理店等ノ取締ニ關スル事項
- 一二 前各項ノ外他ノ主管ニ屬セサル事項

主任 鹿兒島縣事務委員理事官
 長崎縣事務委員理事官

同 理事官	岡田忠彦
同 技師	篠島萬平
同 屬	榮家登良
同 技手	今泉壽吉
同 技手	澁谷二郎
同 技手	山岡氏清
同 技手	福岡縣事務委員農業技師
同 技手	田代熊太郎

名	豚	同	審	釜	倉	門	受	郵	縣	縣	聯	參	休	同	牧
稱	舍	場	場	場	庫	附	局	便	務	務	事	考	憩	夫	舍
間	延	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
數	一	三	七	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	二
棟	一	三	七	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	二
建	二	五	七	五	三	三	三	三	三	三	三	二	十	八	三
坪	十	一	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
備	屋	竹	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋
考	根	根	根	根	根	根	根	根	根	根	根	根	根	根	根

其他工事左ノ如シ

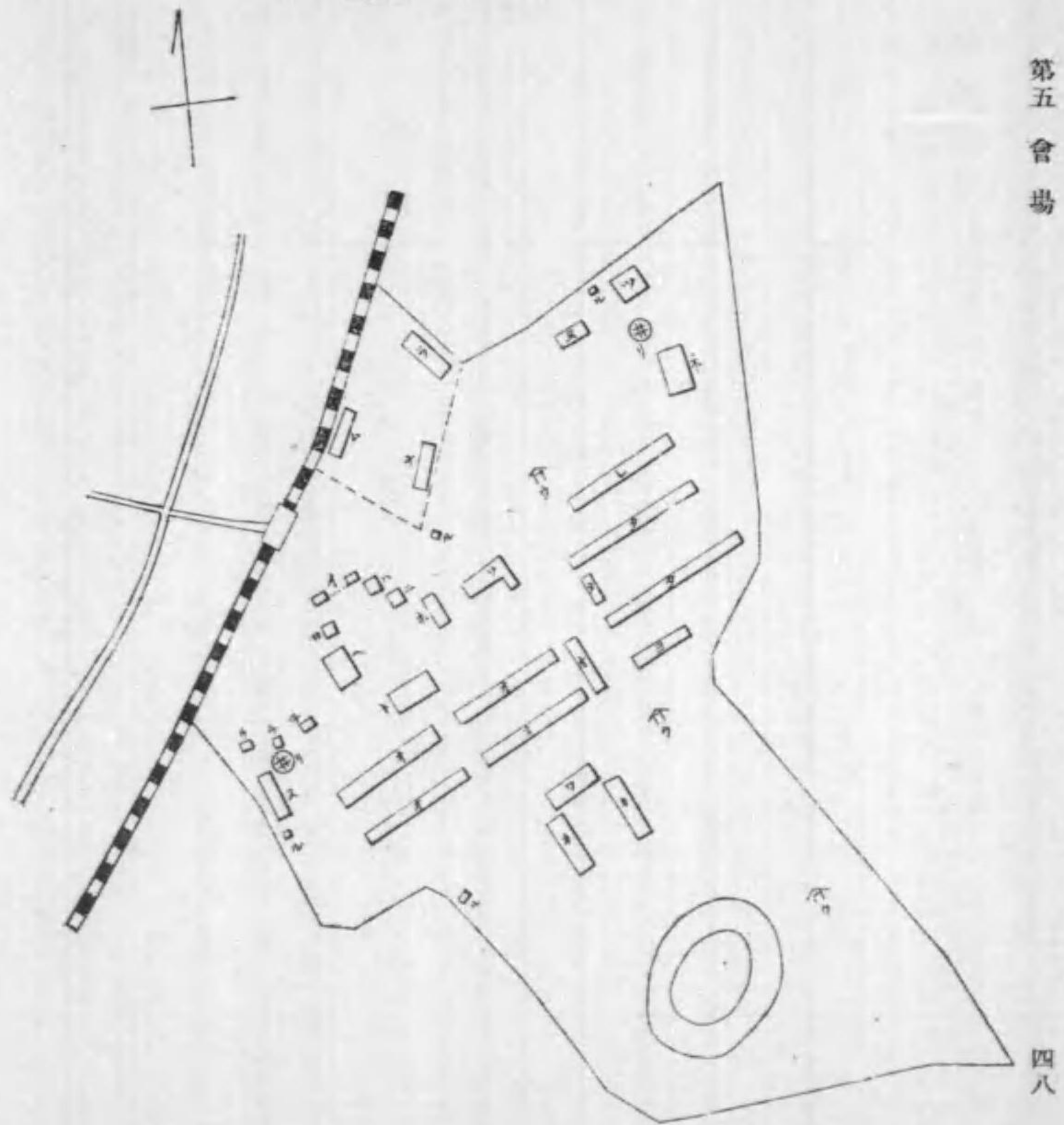
便	井	審	木	門	綠	來	鷄	製	牛	同
所	日	所	柵	柵	門	資	待	造	舍	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
間	間	間	間	間	間	間	間	間	間	間
四	四	二	百	四	二	二	三	七	二	八
棟	棟	箇	六	十	箇	箇	十	十	十	十
坪	坪	所	十	五	所	所	坪	坪	坪	坪
同	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋
ナ	根	根	根	根	根	根	根	根	根	根

敷地地上 場内三千五百坪 平均一尺二寸厚地上ケ

排水溝 七十三間 幅四尺深平均一尺五寸

上記ノ外會場内ニ鹿兒島産牛組合主催酪農展覽會(搾乳室牛乳扱室製乳室ニ分ツ)鹿兒島食肉

共進會場



- ① 正門 ② 交際所 ③ 郵便局 ④ 事務所 ⑤ 聯合事務所 ⑥ 事務所 ⑦ 事務所 ⑧ 事務所 ⑨ 事務所 ⑩ 事務所 ⑪ 事務所 ⑫ 事務所 ⑬ 事務所 ⑭ 事務所 ⑮ 事務所 ⑯ 事務所 ⑰ 事務所 ⑱ 事務所 ⑲ 事務所

販賣營業組合主催肥畜展覽會牛舎、鹿兒島家禽懇話會主催家禽品評會、鶏舎二棟、馬具賣店、
 ビヤホール、辨當店ヲ建設セリ

三 會場圖面
 會場建物配置圖ノ如シ

第六出品

一 第二回九州聯合馬匹共進會出品目錄

大分縣

4	3	2	1	類別 番號 番號
維 ア ン グ ロ ノ ル マ ン 種	洋 内 國 種 産 エ ミ ス	維 ア ン グ ロ ノ ル マ ン 種 産 寶 山	洋 内 國 種 産 ド ー ラ	種 類 名 號
竹 島	牝	牡	牡	性
三 四 十 三 年 鹿 毛	五 四 十 三 年 鹿 毛	六 四 十 三 年 栗 毛	六 四 十 三 年 栗 毛	生 年 月 日
母 維 種	父 ア ン グ ロ ノ ル マ ン 種	母 維 種	父 ア ン グ ロ ノ ル マ ン 種	尺 體
父 ア ン グ ロ ノ ル マ ン 種	母 ア ン グ ロ ノ ル マ ン 種	父 ア ン グ ロ ノ ル マ ン 種	母 ア ン グ ロ ノ ル マ ン 種	血
柏 直 原 村 一 進 會 賞	南 海 部 郡 三 進 會 賞	柏 直 原 村 三 進 會 賞	石 城 川 村 三 進 會 賞	統
非 賣 品	非 賣 品	非 賣 品	大 分 縣 品	產 地
直 入 郡 後 藤 喜 八	南 海 部 郡 金 田 八 重 藏	直 入 郡 熊 谷 幸 太 郎	下 毛 郡 居 付 坪 根 千 代 吉	褒 賞 有 無
				及 局 別 格
				住 所
				氏 名

番陳 號列 番審 號查	5	6	7	8	9	10	11
種	洋	雜	雜	雜	雜	雜	雜
類	種若	種日	種松	種櫻	種鶴	種東	種生
名號	草	吉	風	井	川	川	川
性	牝	牝	牝	牝	牝	牝	牝
生年月日	五十四年四月	四十四年四月	四十四年四月	四十四年三月	四十四年三月	四十四年三月	四十四年三月
毛色	鹿毛	紅鹿毛	鹿毛	鹿毛	黑鹿毛	鹿毛	鹿毛
尺體	父アングロノルマン種 母初草號	父アングロノルマン種 母退却雜種白鶴號	父アングロノルマン種 母一回雜種友榮號	父アングロノルマン種 母アングロノルマン種	父アングロノルマン種 母アングロノルマン種	父アングロノルマン種 母アングロノルマン種	父アングロノルマン種 母アングロノルマン種
血統	南高來郡三會村一等賞	南高來郡島原村三等賞	南高來郡大東村二等賞	北高來郡長田村	南高來郡三會村	南高來郡神代村	南高來郡島原村
產地	南高來郡三會村一等賞	南高來郡島原村三等賞	南高來郡大東村二等賞	北高來郡長田村	南高來郡三會村	南高來郡神代村	南高來郡島原村
褒賞有無	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品
住出品名	南高來郡三會村鹿次郎	南高來郡安中村大町喜松	南高來郡三會村田浦長藏	北高來郡長田村山口彦平	南高來郡三會村吉田金次郎	南高來郡島原村北野トセ	南高來郡杉谷村宮崎築雄

番陳 號列 番審 號查	12
種	雜
類	種八千代
名號	牝
性	牝
生年月日	鹿
毛色	鹿毛
尺體	父濠洲產洋種 母アングロノルマン種
血統	南高來郡土黑村
產地	南高來郡土黑村
褒賞有無	大正二年三月南高來郡馬評會二等賞
住出品名	南高來郡大三東村井上勇次郎

番陳 號列 番審 號查	13	14	15	16	17	18	19
種	二回雜	洋	洋內	洋內	洋	洋內	洋內
類	種ハツミ	種十五夜	種鶴	種春第二	種柳第二	種サ、ナミ	種霞
名號	牝	牝	牝	牝	牝	牝	牝
性	牝	牝	牝	牝	牝	牝	牝
生年月日	五十四年五月	四十四年四月	四十四年四月	四十四年五月	四十四年四月	四十四年四月	四十四年三月
毛色	鹿毛	黑鹿毛	鹿毛	鹿毛	鹿毛	栗毛	鹿毛
尺體	父アラブ種第一ガスラン號	父アラブ種如月號	父アラブ種波瀾號	父アラブ種波瀾號	父アラブ種波瀾號	父アラブ種波瀾號	父アラブ種波瀾號
血統	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞
產地	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞	南高來郡野方村三等賞
褒賞有無	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品
住出品名	南高來郡野方村松元金助	南高來郡野方村南甚吉	南高來郡野方村南甚吉	南高來郡野方村南甚吉	南高來郡野方村南甚吉	南高來郡野方村南甚吉	南高來郡野方村南甚吉

番陳列 番號 番號查	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	褒賞有無	及品 格別	住出品 所氏名
28	洋内國	種池	月入	牝	五月十三日	鹿毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	大糟川村有	非賣品	非賣品	伊佐郡羽月村 井ノ上月七	
27	洋	種喜	入	牝	四月十四日	鹿毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	喜入村有	非賣品	非賣品	揖宿郡喜入村 伊幸田三	
26	雜	種長	船	牝	四月十四日	鹿毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	揖宿郡志布志村有	非賣品	非賣品	鹿兒島郡中郡宇 小森園長次郎	
25	雜	種彌	生	牝	三月十四日	鹿毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	始園村有	非賣品	非賣品	始園郡志布志町 兒玉伊兵衛	
24	二サラ 同 雜	種カ	メ	牝	四月十四日	黒鹿毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	大崎村有	非賣品	非賣品	大崎郡大崎村 小田與八郎	
23	二ノ 同 雜	種コ	ネ	牝	五月十四日	青毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	恒吉村有	非賣品	非賣品	贈喉郡恒吉村 内山武吉	
22	雜	種白	合	牝	四月十四日	栗毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	吉松村有	非賣品	非賣品	始園郡吉松村 宮田五右衛門	
21	雜	種コ	ハ	牝	五月十四日	栗毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	今和泉村有	非賣品	非賣品	揖宿郡今和泉村 濱田清藏	
20	二サラ 同 雜	種秋	月	牝	三月十四日	鹿毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	始園郡加治木町有	非賣品	非賣品	始園郡加治木町 前畑甚四郎	

佐賀縣

番陳列 番號 番號查	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	褒賞有無	及品 格別	住出品 所氏名
30	雜	種朝	間	牝	四月十四日	鹿毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	恒吉村有	非賣品	非賣品	贈喉郡恒吉村 大藤莊右衛門	
29	二サラ 同 雜	種八重櫻	牝	牝	四月二十日	鹿毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	恒吉村有	非賣品	非賣品	贈喉郡恒吉村 大藤莊右衛門	

福岡縣

番陳列 番號 番號查	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	褒賞有無	及品 格別	住出品 所氏名
34	雜	種有	明	牝	三月三十日	鹿毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	大糟川村有	非賣品	非賣品	糟屋郡大川村 長倉生男	
33	洋内國	種一ノ	一號	牝	四月十一日	鹿毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	筑紫郡二日市町有	非賣品	非賣品	筑紫郡二日市町 谷彦一	
32	雜	種曙	フアレ	牝	四月十四日	栗毛	母雜種 父サラブレッド種	母雜種 父サラブレッド種	岩戸村有	非賣品	非賣品	福岡郡宮内村 門司幸五郎	

番陳 號列 番審 號查	35	番陳 號列 番審 號查	
種	種	類	類
名	名	名	名
號	號	號	號
性	性	性	性
生	生	生	生
年	年	年	年
月	月	月	月
日	日	日	日
毛	毛	毛	毛
色	色	色	色
尺	尺	尺	尺
體	體	體	體
血	血	血	血
統	統	統	統
産	産	産	産
地	地	地	地
褒	褒	褒	褒
賞	賞	賞	賞
有	有	有	有
無	無	無	無
非	非	非	非
賣	賣	賣	賣
品	品	品	品
住	住	住	住
所	所	所	所
品	品	品	品
氏	氏	氏	氏
名	名	名	名
人	人	人	人

宮崎縣

番陳 號列 番審 號查	40	39	38	37	36	番陳 號列 番審 號查	
種	種	種	種	種	種	類	類
名	名	名	名	名	名	名	名
號	號	號	號	號	號	號	號
性	性	性	性	性	性	性	性
生	生	生	生	生	生	生	生
年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛
色	色	色	色	色	色	色	色
尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺
體	體	體	體	體	體	體	體
血	血	血	血	血	血	血	血
統	統	統	統	統	統	統	統
産	産	産	産	産	産	産	産
地	地	地	地	地	地	地	地
褒	褒	褒	褒	褒	褒	褒	褒
賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞
有	有	有	有	有	有	有	有
無	無	無	無	無	無	無	無
非	非	非	非	非	非	非	非
賣	賣	賣	賣	賣	賣	賣	賣
品	品	品	品	品	品	品	品
住	住	住	住	住	住	住	住
所	所	所	所	所	所	所	所
品	品	品	品	品	品	品	品
氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏
名	名	名	名	名	名	名	名
人	人	人	人	人	人	人	人

熊本縣

番陳 號列 番審 號查	49	48	47	46	45	44	43	42	41
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
性	性	性	性	性	性	性	性	性	性
生	生	生	生	生	生	生	生	生	生
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛
色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺	尺
體	體	體	體	體	體	體	體	體	體
血	血	血	血	血	血	血	血	血	血
統	統	統	統	統	統	統	統	統	統
産	産	産	産	産	産	産	産	産	産
地	地	地	地	地	地	地	地	地	地
褒	褒	褒	褒	褒	褒	褒	褒	褒	褒
賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞
有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
非	非	非	非	非	非	非	非	非	非
賣	賣	賣	賣	賣	賣	賣	賣	賣	賣
品	品	品	品	品	品	品	品	品	品
住	住	住	住	住	住	住	住	住	住
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
品	品	品	品	品	品	品	品	品	品
氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

Table with columns 59-50 and rows for breed, name, sex, date, color, blood, origin, awards, and residence. Includes entries for '種' and '種産' categories.

Table with column 60 and rows for breed, name, sex, date, color, blood, origin, awards, and residence. Includes entries for '種' and '種産' categories.

二 第一回九州聯合畜産共進會出品目錄

第一部 畜牛

大分縣

Table with columns 8-2 and rows for breed, name, sex, date, color, blood, origin, awards, and residence. Includes entries for '種' and '種産' categories.

陳列番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
25	18	17	26	21	24	種	種
雜	エーアシヤ	エーアシヤ	三回雜	ホルスタイン	デボン	雜	雜
種	種	種	種	種	種	種	種
種松	チスコツ	パワツト	第二	小櫻	第二	種	種
牝	牝	牝	牝	牝	牝	性	性
三十五年	三十四年	四十四年	四十四年	四十四年	四十四年	生年月日	生年月日
褐	白赤斑	白赤斑	白赤斑	白赤斑	赤毛	毛色	毛色
母種	父種	父種	父種	父種	父種	尺體	尺體
種	種	種	種	種	種	血	血
種	種	種	種	種	種	統	統
羽月	始生	始生	鹿兒島	平之町	串木野	串木野	串木野
村	村	村	市	市	市	市	市
十九箇月	三箇月	三箇月	三箇月	三箇月	三箇月	三箇月	三箇月
役肉用	乳用	乳用	乳用	乳用	乳用	乳用	乳用
非賣品	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品	非賣品
伊佐郡羽月村	出水郡上出水村	伊集院與輔	鹿兒島市草牟田町	鹿兒島市平之町	日置郡串木野村	日置郡串木野村	日置郡串木野村
奥園市太郎			知識小吉	山野田セイ	下青木長兵衛	富永マツ	宮川清三郎

第六出品

五九

鹿兒島縣

陳列番號	番號	番號	番號
14	13	12	種
デボン	デボン	雜短角	種
雜種	雜種	種	種
種德	種金	種原	種
牝	牝	牝	性
六月十四日	四月十四日	三月十五日	生年月日
黑毛	褐毛	赤白雜	毛色
父種	父種	父種	尺體
種	種	種	血
種	種	種	統
北松浦	北松浦	南高來	產地
村	村	村	地
十二箇月	二箇月	六箇月	飼育期間
役	役	役	用途
百圓以上	百圓以上	二百圓	賣品/區別
北松浦	北松浦	南高來	住所
古川傳作	尾崎利吉	宮川清三郎	氏名

陳列番號	番號	番號	番號
16	15	種	種
雜	エーアシヤ	エーアシヤ	種
種	種	種	種
種岩	種朝	種日	種
牝	牝	牝	性
七月十三日	四月十五日	四月十五日	生年月日
雜白	紋白	斑赤	毛色
母種	父種	父種	尺體
種	種	種	血
種	種	種	統
長崎	西彼	西彼	產地
四箇月	三箇月	五箇月	飼育期間
乳	乳	乳	用途
六百圓	四百圓	四百圓	賣品/區別
長崎	西彼	西彼	住所
中島長松	河村熊太郎	河村熊太郎	氏名

長崎縣

陳列番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
9	10	11	6	7	5	種	種
雜	雜	雜	雜	一	一	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種
種蘭	種萬	種神	種由	種御	種花	種	種
生	年	一	原	幸	見山	類	類
牝	牝	牝	牝	牝	牝	名號	名號
一十四年	一十四年	一十四年	一十四年	一十四年	一十四年	性	性
褐	黑	黑	淡赤	黑	灰褐	生年月日	生年月日
毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛色	毛色
母種	父種	父種	父種	父種	父種	尺體	尺體
種	種	種	種	種	種	血	血
種	種	種	種	種	種	統	統
東大野	萬玖	萬玖	津房	白海	合大野	產地	產地
村	村	村	村	村	村	地	地
十箇月	十箇月	十箇月	二箇月	四箇月	三箇月	飼育期間	飼育期間
役肉用	役肉用	役肉用	役肉用	役肉用	役肉用	用途	用途
百八十圓			非賣品	二百圓	二百圓	賣品/區別	賣品/區別
大野	玖珠	玖珠	津房	北海	北海	住所	住所
行馬	萬年村	萬年村	佐藤四郎	佐藤四郎	佐藤四郎	氏名	氏名

第六出品

五八

番陳 號列 番審 號查	種	類	名 號	性	生 年 月 日	毛 色	尺 體	血	統	產 地	飼 育 期 間	用 途	賣 品 非 賣 品 及 價 格 別	住 所 氏 名
19	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
20	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
21	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
22	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
23	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
24	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名

佐賀縣

番陳 號列 番審 號查	種	類	名 號	性	生 年 月 日	毛 色	尺 體	血	統	產 地	飼 育 期 間	用 途	賣 品 非 賣 品 及 價 格 別	住 所 氏 名
27	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
28	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
29	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
30	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
31	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
32	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名

福岡縣

番陳 號列 番審 號查	種	類	名 號	性	生 年 月 日	毛 色	尺 體	血	統	產 地	飼 育 期 間	用 途	賣 品 非 賣 品 及 價 格 別	住 所 氏 名
33	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
34	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
35	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
36	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名
37	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品及價格別	住所氏名

番陳 號列 番查	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品 及價 格別	住出 所品 氏名
39	和	種	柳	牡	一四十二年	黒毛		父第一柳井號 母萩號		糸島郡三箇年耕作用	非賣品	非賣品	住出 所品 氏名	
38	和	種	柳	牡	一四十二年	黒毛		父第一柳井號 母萩號		糸島郡北崎村 波佐田磯次郎	八箇月	耕作用	非賣品	住出 所品 氏名
	ホル ース タイ ン種	種	ヘンド デリ スタ ド	牡	三十四年	黒白斑		父ヘントリック號 母花園號		遠賀郡八幡町 今後種	九箇月	耕作用	非賣品	住出 所品 氏名

宮崎縣

番陳 號列 番查	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品 及價 格別	住出 所品 氏名
43	雜 埃 種	種	福 待	牝	一四十四年	白赤斑		父 母 埃 種		西諸郡高野村 岩下伊仙	九箇月	乳用	非賣品	住出 所品 氏名
44	雜 埃 種	種	徳	牝	八十四年	白褐斑		父 母 埃 種		宮崎郡三箇年耕作用	九箇月	耕作用	非賣品	住出 所品 氏名
40	種	種	玉 藤	牝	三十四年	赤		父 母 藤 種		西白野村	十二箇月	農用	非賣品	住出 所品 氏名
42	種	種	小 春	牡	二四十四年	黒白斑		父 母 春 種		東白野村	八箇月	農用	非賣品	住出 所品 氏名
41	雜 埃 種	種	ル シ ヅ ナ	牡	三四十五年	灰褐		父 母 シ ヅ ナ 種		東白野村	二十箇月	農用	賣品 八百圓	住出 所品 氏名

熊本縣

番陳 號列 番查	種	類	名號	性	生年月日	毛色	尺體	血	統	產地	飼育期間	用途	賣品 及價 格別	住出 所品 氏名
50	埃 種	種	長 州	牡	十四年	白褐斑		父 母 埃 種		上草郡八箇月	九箇月	乳用	非賣品	住出 所品 氏名
49	埃 種	種	フ ニ ウ ハ	牡	三十四年	白褐斑		父 母 フ ニ ウ ハ 種		中草郡十九箇月	九箇月	乳用	非賣品	住出 所品 氏名
48	埃 種	種	益 榮	牝	八十四年	白褐斑		父 母 益 榮 種		上草郡三箇月	九箇月	乳用	非賣品	住出 所品 氏名
47	埃 種	種	松 島	牝	一四十五年	白褐斑		父 母 松 島 種		中草郡八箇月	九箇月	乳用	賣品 二百五十圓	住出 所品 氏名
45	埃 種	種	チ カ ス	牝	三十四年	白褐斑		父 母 チ カ ス 種		中草郡十八箇月	九箇月	乳用	非賣品	住出 所品 氏名
46	埃 種	種	榮 榮	牝	三四十五年	白褐斑		父 母 榮 榮 種		上草郡十九箇月	九箇月	乳用	非賣品	住出 所品 氏名

參考品目錄

番號	種類	名	號	性	血	統	生年月日	毛色	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品	摘要	住所氏名
1	スブラウンホ	歌	泉	牡	父 クワ ブ 種	父 クワ ブ 種	六十三 年	暗	美方 村	同	役 賣 品	同	兵庫縣美方 産牛組合 柴原	人
2	エアシヤ	第一イ スタン	號	牡	父 エア シヤ 種	父 エア シヤ 種	四十四 年	白	七塚 學種 場	五十四 月	乳 用 非 賣 品	同	福岡縣遠賀郡八幡 村田源次郎	人
3	ホルスタイン	インベ リアル ウエ	號	牝	母 第七 デ ユ ド 種	母 第七 デ ユ ド 種	四十三 年	白黒 斑	北米 合衆 國紐 育州	九箇 月	同	同	鹿兒島高等農林學 校	人
4	ホルスタイン	デ イ ジ ン 種	號	牝	同	同	五十三 年	黒 白 斑	同	同	同	同	同	同

第二部 豚 長崎縣

番號	種類	名	號	性	血	統	生年月日	毛色	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品	摘要	住所氏名
1	ヨークシヤ	軍	港	牝	父 コ ク シヤ	父 コ ク シヤ	五十四 年	白	西彼 郡浦 上山 里	一箇 年	蕃 殖 用 非 賣 品	同	西彼郡浦上山 里村	人
2	ヨークシヤ	同	同	牝	母 コ ク シヤ	母 コ ク シヤ	四十四 年	白	佐世 保市	十九 箇 月	蕃 殖 用	賣 品 八 十 五 圓	佐世保市相生町 宮田勝次	人
3	ヨークシヤ	同	同	牝	父 コ ク シヤ	父 コ ク シヤ	五十四 年	白	西彼 郡浦 上山 里	二箇 年	蕃 殖 用	賣 品 五 十 五 圓	西彼郡浦上山 里村	人
4	ヨークシヤ	同	同	牝	母 コ ク シヤ	母 コ ク シヤ	五十四 年	白	同	同	同	同	同	同

鹿兒島縣

番號	種類	名	號	性	血	統	生年月日	毛色	產地	飼育期間	用途	賣品非賣品	摘要	住所氏名
3	パークシヤ	小	櫻	牝	父 パ ー ク シヤ	父 パ ー ク シヤ	大正元 年	黒	鹿兒 島郡 中郡 宇村	十四 箇 月	生 産 用 非 賣 品	同	鹿兒島郡中郡宇 村道添與吉	人
4	パークシヤ	春	花	牝	母 パ ー ク シヤ	母 パ ー ク シヤ	大正元 年	黒	給良 郡	十四 箇 月	蕃 殖 用 非 賣 品	同	給良郡西國分村 中村金助	人
5	パークシヤ	海	原	牝	父 パ ー ク シヤ	父 パ ー ク シヤ	五十四 年	黒	川邊 郡	二箇 年	蕃 殖 用	賣 品 一 百 圓	川邊郡東南方村 木原泰藏	人
6	パークシヤ	櫻	島	牝	母 パ ー ク シヤ	母 パ ー ク シヤ	四十五 年	黒	鹿兒 島郡 中郡 宇村	十八 箇 月	蕃 殖 用 非 賣 品	同	鹿兒島市上荒田 岩切真熊	人
7	パークシヤ	花	山	牝	父 パ ー ク シヤ	父 パ ー ク シヤ	四十五 年	黒	川邊 郡	一箇 年	蕃 殖 用	賣 品 百 十 圓	川邊郡東南方村 川原次郎	人
8	パークシヤ	有	明	牝	母 パ ー ク シヤ	母 パ ー ク シヤ	五十四 年	黒	贈嶽 郡	二箇 年	蕃 殖 用	賣 品 百 二 十 圓	贈嶽郡志布志町 下田徳五郎	人
9	パークシヤ	薩	摩	牝	父 パ ー ク シヤ	父 パ ー ク シヤ	五十四 年	黒	鹿兒 島市 鹽屋 町	三十 箇 月	蕃 殖 用 非 賣 品	同	鹿兒島市鹽屋町 溝口藤次郎	人

陳列番號	番號	10	11	12	13	14	15	16
種	類	種	類	種	類	種	類	種
名號	性	立花	中	常盤	白	霧島	立	泉
生年月日	毛色	四十四年	四十四年	三十四年	四十四年	四十四年	四十四年	三十四年
體尺	血	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒
統	統	父花岡	父花岡	父文月	父文月	父白雲	父白雲	父白雲
產地	飼育期間	川邊郡	川邊郡	鹿兒島市	始良郡	鹿兒島郡	川邊郡	鹿兒島郡
用途	及價別	七箇月	八箇月	三十一箇月	十四箇月	三十四箇月	十一箇月	二十箇月
摘要	摘要	八十五圓	八十圓	非賣品	非賣品	百二十五圓	百三十圓	非賣品
住品氏名	住品氏名	川邊郡東南方村	川邊郡東南方村	鹿兒島市	始良郡	鹿兒島郡	川邊郡	鹿兒島郡

陳列番號	番號	17	18
種	類	種	類
名號	性	曉月	多良
生年月日	毛色	大正二年	三十五年
體尺	血	白	白
統	統	父湯江	父湯江
產地	飼育期間	自家	藤津郡
用途	及價別	七箇月	三箇月
摘要	摘要	非賣品	五十圓
住品氏名	住品氏名	杵島郡	藤津郡

陳列番號	番號	19	20
種	類	種	類
名號	性	川野	青天
生年月日	毛色	大正二十年	大正二十年
體尺	血	黒	黒
統	統	父花岡	父花岡
產地	飼育期間	北諸郡	北諸郡
用途	及價別	七箇月	七箇月
摘要	摘要	非賣品	非賣品
住品氏名	住品氏名	北諸郡	右同

陳列番號	番號	1
種	類	種
名號	性	橫班
生年月日	毛色	大正二十年
體尺	血	黒
統	統	父花岡
產地	飼育期間	南高來郡
用途	及價別	十箇月
摘要	摘要	非賣品
住品氏名	住品氏名	南高來郡

陳列番號	番號	種	類	雌雄ノ別及數	年	齡	產	地	用途	賣品ノ區別及價格	摘要	出品人住所氏名
2		黒色ミノルカ		一雄二雌	四十五年三月		長崎市	市	産卵用	賣品 四十五圓		長崎市西小島町 八十一番地 小島今朝吉

鹿兒島縣

陳列番號	番號	種	類	雌雄ノ別及數	年	齡	產	地	用途	賣品ノ區別及價格	摘要	出品人住所氏名
3		黒色ミノルカ		一雄二雌	四十四年五月		鹿兒島市	市	産卵用	賣品 十五圓		鹿兒島市大場 景善
4		黒色		一雄二雌	四十四年四月		自	宅	卵肉兼用	非賣品		鹿兒島市八田上 彌市
5		オリーブ		一雄二雌	大正二年三月		自	宅	卵肉兼用	非賣品		鹿兒島市仲屋喜久造
6		オリーブ		一雄二雌	四十四年		自	宅	卵肉兼用	非賣品		鹿兒島市山本徳次郎
7		横班		一雄二雌	四十五年三月		鹿兒島市	市	卵肉兼用	非賣品		鹿兒島市三野 萬次郎
8		横班		一雄二雌	大正二年		始良郡蒲生村	村	卵肉兼用	非賣品		始良郡蒲生村大字 藤崎 小三郎
9		白色		一雄二雌	大正二年四月		揖宿郡揖宿村	村	卵肉兼用	非賣品		揖宿郡揖宿村 榎山 豐次

佐賀縣

陳列番號	番號	種	類	雌雄ノ別及數	年	齡	產	地	用途	賣品ノ區別及價格	摘要	出品人住所氏名
10		白色		一雄二雌	三十四年		自	宅	卵肉兼用	非賣品		鹿兒島郡吉野村前田 武記
11		白色		一雄二雌	大正二年三月二十五日		自	宅	産卵用	非賣品		鹿兒島市鹽屋町 佐藤 茂助
12		白色		一雄二雌	大正二年二月		始良郡蒲生村	村	産卵用	賣品 四十圓		始良郡蒲生村上久 藤崎 小三郎
13		單冠白色		一雄二雌	大正二年一月		伊佐郡大口村	村	産卵用	非賣品		伊佐郡大口村大字 井畔 友輔

福岡縣

陳列番號	番號	種	類	雌雄ノ別及數	年	齡	產	地	用途	賣品ノ區別及價格	摘要	出品人住所氏名
14		單冠白色		一雄二雌	大正二年四月		東松浦郡	唐津町	産卵用	賣品 九圓		東松浦郡唐津町 渡邊 勇
15		白色		一雄二雌	大正二年四月		佐賀市	市	産卵用	非賣品		杵島郡武内村大字 山口 吉彦

陳列番號	番號	種	類	雌雄ノ別及數	年	齡	產	地	用途	賣品ノ區別及價格	摘要	出品人住所氏名
16		レグホーン		一雄二雌	大正二年四月		粕屋郡和白村	村	産卵用	非賣品		粕屋郡和白村大字 和田 種次郎

陳列番號	種類	雌雄ノ別及數	年	産地	用途	賣品ノ區別及價格	摘要	出品人住所氏名
19	黒色 オーピントン	一雄二雌	大正二年四月	京都郡行橋町	卵肉兼用	非賣品		京都郡行橋町大橋二七六三 三戸助一
18	黒色 ミノルカ	一雄二雌	大正元年四月	京都郡行橋町	産卵用	非賣品		京都郡行橋町大橋二八三六 柏木勘八郎
17	ミノルカ	一雄二雌	大正二年四月	船屋郡和白村	産卵用	非賣品		船屋郡和白村大和田種次郎 字奈多一七八三

宮崎縣

陳列番號	種類	雌雄ノ別及數	年	産地	用途	賣品ノ區別及價格	摘要	出品人住所氏名
20	ワイアンドット	一雄二雌	大正二年四月	兒湯郡高鍋町	産卵肉用	非賣品		兒湯郡高鍋町大岩切 春次 字高鍋 五三四

第四部

陳列番號	品名	數量	製造者著述者設計者	價格	賣品ノ區別	摘要	出品人住所氏名
	牛肉罐詰	六箇	福岡縣三池郡大牟田町大字下里	一箇二付 金二十三錢	賣品		福岡縣三池郡大牟田町 山本平左衛門
	東坡肉罐詰	六箇	長崎縣三浦市飯田七三郎	一箇二付 金三十錢	賣品		長崎縣三浦市飯田七三郎

第五部 業務成績

品名	數量	著述者設計者	價格	賣品ノ區別	出品人住所氏名
大和炙	十二箇	宮崎縣都城町大字宮丸三	一箇二付 金二十二錢	賣品	宮崎縣北諸縣郡都城町 富賀見筆祐
ハム	二本	長崎縣三浦市相生町三	一磅二付 金三十錢	非賣品	長崎縣三浦市相生町 深堀市太郎
ハム	五箇	長崎縣三浦市本下町八	一磅二付 金三十錢	賣品	長崎縣三浦市本下町 深堀砂吉
ベーコン	二本	長崎縣三浦市相生町三	一磅二付 金二十六錢	非賣品	長崎縣三浦市相生町 深堀市太郎
豚脂	一磅入六罐	長崎縣西彼杵郡浦上山里村	一罐 金二十八錢	賣品	長崎縣西彼杵郡浦上山里村 井手秀吉
豚脂	一磅入六罐	鹿兒島市本田善助	一罐 金二十八錢	賣品	鹿兒島市本田善助
牛脂	一磅入六罐	同	一罐 金二十八錢	賣品	同

畜産事業ノ計畫及成績 並ニ組合定款	畜産事業ノ計畫及成績	品名	數量	著述者設計者	價格	賣品ノ區別	出品人住所氏名
一册	一册	出品人ト同様	括	出品人ト同様	同	非賣品	福岡縣田川郡農會 長崎縣西彼杵郡浦上山里 井手秀吉

三 参考品出品目錄

品目	種類	箇數	摘要	出品人住所氏名
響鈴	鐵製	二箇	阿久根村南方神社寶物	鹿兒島縣川邊郡阿久根村長白濱重美
掛紙	紙表	一掛	中伊集院村德重神社寶物	鹿兒島縣日置郡中伊集院村岩永勇彦
同掛	狩野探幽書	一掛	狩野探幽書	鹿兒島縣肝屬郡小根占村下村尙論
鞍	和鞍	一		種畜場
馬鐙	和鐙	一		佐賀縣佐賀郡成富千八
馬杓	騎手用	一		本莊
扇	競馬用	一		同
同幅	三騎射畫	一		同
一卷	三幅對	一		同
繪卷	神宮流馬術免許狀	一		鹿兒島縣肝屬郡小根占村坂田省三
卷目	福山牧場	一		鹿兒島縣肝屬郡小根占村松元平太左衛門
	馬毛色圖	一		屬郡高山村今都宮村雄

品目	種類	箇數	摘要	出品人住所氏名
同標	馬追ノ御掟書	一		鹿兒島縣伊作村役場
同膏	馬年ノ頭	一		鹿兒島縣同
假母器	馬ノ頭	一		鹿兒島縣同
石膏細工	馬匹ニ關スル	一〇		鹿兒島縣同
寫真	馬匹ニ關スル	一〇		鹿兒島縣同
七バレーター	馬匹ニ關スル	一		鹿兒島縣同
牧草標本	馬匹ニ關スル	五		鹿兒島縣同
燕麥	馬匹ニ關スル	二		鹿兒島縣同
玉蜀黍	馬匹ニ關スル	二		鹿兒島縣同
燕麥及牧草種子	馬匹ニ關スル	一〇		鹿兒島縣同
種畜場一覽表	馬匹ニ關スル	一		鹿兒島縣同
石崎式去勢器	馬匹ニ關スル	一		鹿兒島縣同
ハム罐詰	馬匹ニ關スル	一		鹿兒島市島津商會

第六出品

品目	種類	箇數	摘要	出品人住所氏名
雀ノ鐘詰		三		鹿兒島市島屋商會
金鶏ミルク		三		同
カーネーション		三		同
バター		二		同
バター		二		同
牛肉		二		同
米國牛肉罐詰		二		同
製同製同		二		同
牛脂罐詰		三		鹿兒島市車町 木田牛肉店
馬脂罐詰		三		同
豚脂罐詰		三		同
馬石膏細工	馬	一	探幽畫	鹿兒島縣 種畜場
馬石膏細工	ト	二	入	鹿兒島市 若松清太郎
馬石膏細工	牛	一組七箇		鹿兒島縣鹿兒島郡伊敷村 比志島元雄
同		一	吉貴公下賜馬書寫	同
同		一		同

七四

第六出品

掛物	同	一		池端源藏
同	同	二		鹿兒島市 石神彦太郎
革細工	同	一	巻煙草入	同
炭疽血清	同			鹿兒島縣 衛生課
炭疽豫防接種液	同			同
炭疽豫防接種液	同			同
家禽虎列刺血清	同			同
豚虎列刺血清	同			同
腺疫豫防接種液	同			同
加奈陀馬痘血清	同			同
ツベルクリン	同			同
血清携帶器	同		炭疽豫防接種用	同
血清注射器	同			同
圖表	同			同
掛物	同			同
蹄鐵材料	同			鹿兒島縣 池田彦熊
蹄鐵材料	同			同
失格損微馬模型	同			同
毛球	同			同

七五

肉加工品採點表

審 查 番 號			出 品 人
審 查 等 位			
品 種			
重 量			
形 狀			
色 澤			
品 質			
容 品 或 ハ 包 裝			
計			
摘 要			

第七 審 查

七九

牛 審 查 採 點 表

審 查 番 號	種 類	
性	毛 色	
年 齡	高	
評 點	決 評 點	
營 健 養 康 及 狀 態		
品 用 位 途 、 性 ノ 質 質 的		
軀 種 體 類 ノ ノ 構 標 成 徵		
備		
考		

後一時ヨリ開始シ審査長、審査官、審査員専ラ之カ衙ニ當リ同月二十五日午後五時ニ至リテ終了セリ

第七 審 查

七八

豚 審 査 採 點 表

審査番號			出 品 人
審査等位			
種 類	性		
年 齡 及 重 量			
毛 色			
頭及頸部			
前 肢 部			
脊及腰部			
胴 部			
後 肢 部			
均 合			
狀 態			
計			
摘			
要			

第七審査

八二

審 査 復 命 書

審査長農商務技師 佐藤 清明

第一回九州聯合畜産共進會

一 開會期日

大正二年十月二十一日ヨリ同二十七日迄七日間

一 開會地及會場

鹿兒島縣鹿兒島市中郡宇村字鴨池一萬三千坪ヲ畫シ鹽田ヲ填メテ會場敷地ニ充用セリ

一 建 築 物

建築物ノ主要ナルモノハ厩舍百八十坪、牛舍百十坪、豚舍雞舍各二十坪、牧夫舍四十坪、釜場二十五坪、事務所四十六坪、審査場及式場七十二坪、倉庫三十坪、參考室二十四坪、休憩所十六坪、其他郵便局、井戸、便所、受附、門監等アリ尙ホ鹿兒島市協賛會ノ事業トシテ家禽品評會、酪農展覽會、肥畜展覽會等ノ建物アリ

一 出品區域

長崎縣 福岡縣 大分縣 熊本縣 宮崎縣
佐賀縣 鹿兒島縣

一 出品ノ種類

第一區 牛 第二區 豚 第三區 雞
第四區 畜産製造品 第五區 經營ノ方法及成績

第七 審査

八三

出品點數

品目ニヨリテ各縣別ニ之ヲ記載スレハ左表ノ如シ

品目	長崎	福岡	大分	熊本	宮崎	佐賀	鹿兒島	合計
牛	五	七	二	六	五	六	一〇	五〇
豚	二	四	一	一	二	二	一	二〇
雞	二	四	一	一	一	二	二	二〇
畜産製造品	一	一	一	一	一	一	一	八
事業成績	一	一	一	一	一	一	一	八
合計	一四	一三	一	六	九	一〇	三七	一〇〇

授賞點數

品目ニヨリテ之ヲ各縣別ニ記載スレハ左表ノ如シ

品目	長崎	福岡	大分	熊本	宮崎	佐賀	鹿兒島	合計
牛	二	三	四	五	二	三	六	二五
豚	一	一	一	一	一	一	一	七
雞	一	一	一	一	一	一	一	七
畜産製造品	一	一	一	一	一	一	一	七
事業成績	一	一	一	一	一	一	一	七
合計	一四	一三	一	六	九	一〇	三七	一〇〇

審査官及同委員

審査官
審査委員

農商務技師
同 技手
種畜牧場技手

石崎 芳吉
川島 一郎
青山 網成

右主任ハ石崎技師ニシテ川島技手ハ畜牛及事業成績ノ審査ニ青山技手ハ雞、豚並ニ畜産製造品ノ審査ニ從事ス

審査概況

(一) 牛

出陳牛ノ總數ハ合計僅ニ五十頭ニシテ縣別ニ之ヲイヘハ大分縣ノ十一頭鹿兒島縣ノ十頭ヲ以テ最多數トシ長崎宮崎二縣ノ各五頭ヲ以テ最少數トセリ然ルニ種類別ニ之ヲイヘハ五十頭中和種以外約十種ノ血液ヲ混淆スルノ事實アルハ九州ノ産牛界ハ未タ全ク進歩ノ過渡期ニアリテ前途轉タ遼遠ノ感ナクンハアラサルナリ

品目	長崎	福岡	大分	熊本	宮崎	佐賀	鹿兒島	合計
雞	一	一	一	一	一	一	一	七
畜産製造品	一	一	一	一	一	一	一	七
合計	四	五	四	五	六	五	一六	四五

テ不良ナルノ嫌アルモノ偶、「エーアシャー」種系ノモノニ多シ又軀幹割合ニ長大ナルモ四肢乾燥セス肢ノ下部ニ於テ缺點多キモノハ往往「ブラウンスキス」種系ノモノニ於テ見ル所ナリ其他皮毛粗剛ニシテ身體各部其均稱ヲ得サルモノハ「シムメンタール」種系及「デブオン」種系ニ於テ少ナカラサルカ如シ之ヲ要スルニ全般ヲ通シテ各種血液ノ混合概シテ雜駁ヲ極ムルモノ其數多キヲ遺憾トス

(二) 豚

豚ハ「ヨークシャー」種四點「パークシャー」十六點合計二十六點ナリト雖モ之ヲ牛ニ比スレハ其改良進歩ノ程度遙ニ卓絶スルモノアリト云フヘシ然レトモ此兩種類ニ付キ概評スレハ一般ニ「ヨークシャー」種ハ其品質體格共佳良ナルニ反シ「パークシャー」種ハ軀體肥大ニ過キ肢力脆弱ノモノ少ナカラサルカ如シ是レ必竟平素飼養管理ノ失宜ト種畜ノ選擇其當ヲ得サルニヨルヘシ實ニ優良種畜ノ選用ト相俟テ平素ノ飼養管理上ニ注意スルヲ要ス

(三) 雞

雞ハ單冠白色「レグホーン」種六點黑色「ミノルカ」種五點漣斑「ブリマスコック」種、白色「ワイアンドツト」種各三點黑色「オービントン」種二點「バフ」色「オービントン」種一點合計二十點ノ出品ナリト雖モ概シテ之ヲ評スレハ「バフ」色「オービントン」種ノ獨リ嶄然トシテ頭角ヲ顯ハスモノ、外殆ト他ニ稱揚スヘキ價値アルモノ少シ要スルニ九州ニ於ケル養雞業ハ尙ホ未タ一般ニ幼稚ナリト云フモ誣言ニアラサルヘシ

(四) 畜産製造品

畜産製造品ハ牛肉大和煮罐詰「ラード」各二點東坡肉罐詰、「ハム」、「ベーコン」、牛脂、各一點合計八點ノ出品ナリトス就中東坡罐詰及牛肉大和煮罐詰ハ其風味稍、佳良ナリト雖モ概シテ製造方法ノ程度尙ホ未タ幼稚ニシテ殆ト稱揚スルニ足ルモノ少ナキヲ遺憾トス

(五) 業務成績

業務成績ハ合計二點ニシテ一ハ即チ長崎縣西彼杵郡浦上山里村ニ於ケル畜産販賣組合ノ營業方法及其成績ナレトモ離乳後ノ仔豚ヲ農家ニ預託飼スル方法以外別ニ見ルニ足ルモノナシ他ハ即チ福岡縣田川郡農會畜産業ノ計畫及成績ニシテ一定ノ目的ノ下ニ種畜ヲ準備シ之カ種付ヲ獎勵スルノ外是亦著シキ成績ノ特ニ稱揚スヘキモノナシ

一 功勞賞及追賞
功勞賞及追賞ノ人名竝ニ其ノ理由ハ左ノ如シ(功勞者ノ部参照)

畜牛審査報告

審査官農商務技師 石 崎 芳 吉

本會ニ畜牛ヲ出品セルハ九州七縣ニシテ長崎外六縣トス其ノ頭數ハ牝牛三十七頭牡牛十三頭合計五十頭ナリ今之ヲ種類別、性別、縣別トシテ表示スレハ左ノ如シ

種類別	性別		長崎	福岡	大分	熊本	宮崎	佐賀	鹿兒島	計
	牝	牡								
和種			11	22	11	11	11	11	11	22
										4

種類別	性別		長崎	福岡	大分	熊本	長崎	佐賀	鹿児島	計
	雄	雌								
改良和種										
シメンタール種										
同種										
デュオン種										
短角種										
ブラウンスキス種										
同種										
エアリー種										
同種										
ホルスタイン種										
フリースアン種										
同種										
同種										
合計	五	五	七	二	六	五	六	一	一〇	五〇
計	牝牝		五	三四	三八	二四	二三	二四	一九	一三七五〇

右ハ審査ノ結果比較的優良ト認めタルモノ二十五點ヲ選抜シ二等賞ニ四點、三等賞ニ八點、四等賞ニ十三點ヲ擬賞セリ試ニ出品人員ニ對スル擬賞等級ノ歩合ヲ縣別ニ表示スレハ左ノ如シ

縣名	種別	出品點數	出品人員	擬賞等級				計	擬賞歩合
				一等賞	二等賞	三等賞	四等賞		
長崎	同種	七	五					七	四・〇
福岡	同種	一	一					一	四・二
大分	同種	一	一					一	三・六
熊本	同種	六	六					六	八・三
宮崎	同種	五	五					五	四・〇
佐賀	同種	六	六					六	五・〇
鹿児島	同種	一	一					一	六・〇
計		五〇	五〇	四	八	一三	二五	五〇	

本會出品ノ畜牛中「エアシア」種系ノモノハ最多數ヲ占ムルモ概シテ體軀纖弱ニシテ過美ナ

ルモノ多ク其二歳ヨリ三歳ニ至ル發育ノ程度ヲ檢スルニ他種系ノモノニ比スレハ到テ遲遅トシテ進マサルカ如キ嫌アリ之ニ次クモノハ「ブラウンスキス」種系ノモノナレトモ本種系ノモノハ一般ニ四肢乾燥ヲ缺キ泌乳機關ノ發育宜シカラス加フルニ歩調交叉ノ氣味アルモノ少ナカラス又「デヴォン」種系ノモノ、如キハ背線ノ平直ヲ得タルモノ殆ト之ナク體軀各部ノ權衡其ノ宜シキヲ得サルモノ滔滔皆然リト云フモ過言ニアラサルカ如シ、其他「シムメンター」種系ノモノニ至リテハ皮毛粗剛ニシテ四肢垂直ヲ缺クモノ十ノ七八ヲ占ムルカ如シ之ヲ要スルニ出品牛中熊本縣ノ如キハ割合ニ純粹種牛多カリシモ他ハ概シテ血液ノ混淆雜駁ナルカ如キモノ一ニシテ足ラス之ヲ他中國六縣ノ畜牛聯合共進會ニ於ケル出品牛ニ比スレハ當ニ其數ニ於テ及ハサルモノアルノミナラス品質ニ於テ亦大ニ劣ルモノアリ其ノ出品牛五十頭中一等賞ニ擬スルモノナカリシモ亦蓋シ不得止實際ノ狀況ナリシナリ當業者宜シク種畜ノ選擇ニ努メ配合其宜シキヲ失ハス飽養管理ヲ今一層丁寧ニスヘシ然ラサル時ハ九州畜牛界ノ進歩ハ恐クハ幾久ク幼穉ノ域ヲ脱スルコト能ハサルヘシ

豚審査報告

審査官農商務技師 石崎芳吉

本會ニ豚ヲ出品セルハ長崎、佐賀、宮崎、鹿兒島ノ四縣ニシテ其頭數ハ「ヨークシャー」種、牝豚四頭、「パークシャー」種、牝豚二頭、牝豚十四頭、總計二十頭ナリ今之ヲ種類別、性別、縣別トシテ表示スレハ左ノ如シ

種類別	性別		鹿兒島	計
	牝	牡		
ヨークシャー種	二	二	一	四
パークシャー種	一	一	一	三
合計	三	三	二	八

審査ハ附點法ニヨリテ簡體審査ヲ行ヒ次テ比較審査ヲナシ其結果比較的優良ト認メタルモノ十點ヲ選抜シ即チ一等賞ニ二點、二等賞ニ二點、三等賞ニ三點、四等賞ニ三點ヲ擬賞セリ出品人員ニ對スル擬賞等級ノ歩合ヲ縣別ニ表示スレハ左ノ如シ

縣名	出品點數	出品人員	擬賞等級				擬賞歩合
			一等賞	二等賞	三等賞	四等賞	
長崎	二	二	一	一	一	一	五〇
佐賀	二	二	一	一	一	一	一〇〇
宮崎	二	二	一	一	一	一	二〇〇
合計	六	六	三	三	三	三	一〇〇

鹿 兒 島	計	出品點數	出品人員	擬賞等級				擬賞步合	
				一等賞	二等賞	三等賞	四等賞		
一四	二〇	一四	一九	一	二	三	三	一〇	五・二
一四				一	一	一	二	五	三・五

本會出品ノ豚中「ヨークシャー」種ハ品質概シテ良好ナリシト雖モ徒ニ體軀ノ纖細美麗ナルヲ好ミテ其育成法ヲ誤リ早熟ニシテ多量ノ肌肉ヲ生産セムトスルノ本旨ニ悖ラムトスルノ傾向アルヲ認メタリ將來大ニ注意スルコトヲ要ス

「パークシャー」種ハ體軀徒ニ膨大ニシテ後肢ノ發育之ニ伴ハサルモノ出品ノ大部ヲ占メ而カモ往往種類ノ名稱ヲ亂用シテ其出品ノ目的カ繁殖用ニアリヤ將又屠用ニアルヤヲ疑ハシムルモノアリタルハ遺憾ナルコトナリ體軀ノ膨滿ト後肢ノ發育不良ナルコトハ明ニ日常ニ於ケル運動ノ不足ヲ證スルモノニシテ此ノ如キハ飼料如何ニ善質ニシテ其量又潤澤ニ利用セラル、ト雖モ到底美味ニシテ廉價ナル豚肉ヲ多量ニ生産シテ養豚經濟上萬全ナル成績ヲ擧クルコト能ハサルモノアリ將來益、優良種畜ノ利用ニ努ムルハ勿論又速ニ飼養管理法ニ大ナル改良ヲ加ヘテ體軀殊ニ後體部ノ堅實ナル發育ヲ期スルコト肝要ナリ

雞審査報告

審査官農商務技師 石崎 芳吉

本會出品ノ雞ハ點數二十點ニシテ一點ハ一雄二雌ヨリ成リ總羽數六十羽ナリ鹿兒島縣ノ十點ヲ最多トシ福岡縣ノ四點、長崎縣ノ三點、佐賀縣ノ二點、宮崎縣ノ一點順次之ニ亞ク今之ヲ種類別、縣別トシテ表示スレハ左ノ如シ

種類	縣名	長崎	福岡	佐賀	宮崎	鹿兒島	計
計		三	四	二	一	一〇	二〇
		一	一	一	一	一	六
		二	二	一	一	二	七
		一	一	一	一	一	五
		一	一	一	一	一	六

審査ハ附點法ニヨリテ簡體審査並比較審査ヲ行ヒ其結果優等品ト認ムルモノ八點ヲ選抜シ一等賞ニ一點、二等賞ニ二點、三等賞ニ二點、四賞等ニ三點ヲ擬賞セリ出品人員ニ對スル擬賞步合ヲ縣別ニ表示スレハ左ノ如シ

縣名	種別	出品點數	出品人員	擬賞等級				擬賞步合
				一等賞	二等賞	三等賞	四等賞	
長崎	鹿	三	三					三・三
福岡	宮	四	三					三・三
佐賀	佐	二	二					一〇・〇
鹿兒島	鹿兒島	一	九					六・六
計		二〇	一八	一	二	二	三	四・四

本會出品ノ雞ハ「バフ色オーピントン」種ノ一點、品質佳良ニシテ特ニ異彩ヲ放テルノ外、他ハ概ネ劣品ニシテ或ハ種類ノ特徴ヲ著シク或缺如シ或ハ膨滿ニ過キ或ハ換羽期ニ際シテ羽毛殆ント脱落シ或ハ鱗脚病、實扶的里病等ニ罹レル等缺點枚舉ニ遑アラサルカ如ク種類トシテ一論評スルノ價値アルモノ少カリシハ遺憾ナルコト、謂フヘシ出品數僅ニ二十點其成績ヲ以テ直ニ聯合諸縣ノ養雞業ヲトシ發達ノ程度ヲ論難スルコト能ハスト雖モ蓋シ諸縣ノ斯業ハ未タ幼稚ノ域ヲ脱スルコト能ハス其前途ハ猶ホ頗ル遼遠ナルヲ思ハシム

畜産製造品審査報告

審査官農商務技師 石崎芳吉

本會出品ノ畜産製造品ハ六種八點ニシテ之ヲ種類別、縣別ニ表示スレハ左ノ如シ

種類	縣名	長崎	福岡	宮崎	鹿兒島	計
牛肉大和煮罐詰	長崎	一				一
東坡肉罐詰	長崎	一				一
ハム	長崎	一				一
ベーコン	長崎	一				一
豚脂	長崎	一				一
牛脂	長崎	一				一
計		四	一	一	二	八

審査ハ肉眼、試食ノ鑑定ヲ行ヒテ評點ヲ附シ之ニ出品者ノ業況及功績等ヲ參酌シテ其優劣ヲ判定シ三等賞ニ二點、四等賞ニ一點ヲ擬賞セリ出品人員ニ對スル擬賞步合ノ縣別ハ左表ノ如シ

縣名	種別	出品點數	出品人員	擬賞等級				擬賞步合
				一等賞	二等賞	三等賞	四等賞	
長崎	鹿	三	三					三・三
福岡	宮	四	三					三・三
計		一四	一三	一	一	一	一	一〇・〇

縣名別	出品點數	出品人員	擬賞等級				擬賞步合
			一等賞	二等賞	三等賞	四等賞	
鹿島	二	一					一〇・〇計
宮崎	一	一					
計	八	六	一	一	二	一	五・〇

本會出品ノ畜産製造品ハ牛肉大和煮罐詰ノ二點豚脂ノ二點ヲ除クノ外皆各一點宛ニシテ品質ニ於テ亦特ニ稱揚スヘキモノナシト雖モ左ニ重ナル四種ノ出品ニ付キ概評ヲ試ムヘシ
 牛肉大和煮罐詰、二點共ニ稍、味フルニ足ルノ出品ナレトモ肉質粗剛ニシテ液汁ノ量多キニ過キタルコトヲ共通シタル缺點トス「レーベル」ノ意匠其他罐ノ外装ニ就テモ亦將來一段ノ工夫ヲ凝ラシ肉加工法ノ改良ト相應シテ製品ノ價値ヲ昂上スルコトニ努力スヘシ
 東坡肉罐詰、一ニ豚肉ノ角煮ト稱スル長崎市ノ特産品ニシテ今回ノ出品ハ其風味稍、佳良ナリシト雖モ肉質黒色ニ過キ脂肪亦少シク變質シタルノ徴アルハ大ニ考究ヲ要スルノ缺點ニシテ亦包裝法ニモ改良ヲ施スノ餘地猶ホ多大ナルヲ認メタリ「ハム」「ベーコン」、材料ノ選擇宜シキヲ得ス又調製方法ヲ誤リタルノ結果外部固乾シ内部ノ肉質ハ柔軟粘質トナレリ將來加工ノ技術ヲ鍊磨シテ優等ナル商品ノ製造ニ努力スルコト肝要ナリ

業務成績審査報告

審査官農商務技師 石崎芳吉

畜産業ニ關スル業務成績ノ出品ハ合計二點アリ一モ擬賞ニ値スルモノナキヲ遺憾トス今是等ニ付概評ヲ下ストキハ

(一) 畜産業經營ノ方法及成績

長崎縣西彼許郡浦上山里村ニ於ケル畜産品販賣組合ノ出品ニシテ現在ニ於ケル業務ハ主トシテ飼豚及之カ販賣ニアルモノ、如シテ成績中特ニ見ルヘキハ組合員所有ノ仔豚ヲ離乳後農家ニ預托飼育スル方法ニシテ頗ル經濟的飼養方法ナルノミナラス農家副業トシテモ亦極メテ有利ナルヲ信ス、然レトモ現在ニ於ケル組合組織ハ其規模頗ル小ナルノ憾アルヲ以テ將來ハ宜シク業務ノ發展ヲ期シ之ニ加フルニ種豚ノ改良、豚肉加工品ノ製造等ヲ計畫シ以テ組合員ノ利益ヲ増進スルコトヲ努メサルヘカラス

(二) 福岡縣田川郡農會畜産業ノ計畫及成績

農會事業トシテ種畜ヲ準備シ之カ種付ヲ獎勵シタル結果幾分同地方ニ於ケル畜牛改良ノ實績ヲ認メ得ヘシト雖未タ著シキ功績ノ特ニ稱揚スヘキモノナシ

第八 出品家畜衛生

本會ハ大正二年十月二十一日ヨリ同二十七日ニ至ル七日間獸醫八名ヲシテ專ラ出品家畜ノ衛生並保護ニ從事セシメタリ

一 獸 醫

鹿兒島縣衛生技師
 同 技 手 原 口 邑 志
 同 技 手 岩 田 精 嘉
 同 屠 畜 檢 查 技 手 高 城 千 逸
 同 屠 畜 檢 查 技 手 松 井 清 彦
 同 屠 畜 檢 查 技 手 帖 佐 篤 之 助
 同 屠 畜 檢 查 技 手 古 川 國 彦
 獸 醫 久 木 田 武 二
 獸 醫 四 枝 勇 七

動物衛生ニ關シテハ特ニ注意シ開會前入場ノ動物ハ悉ク所定ノ場所ニ於テ專任技術員ヲシテ之カ健康檢査ヲ遂ケシメ專ラ傳染性疾患ノ豫防ニ勉メ且ツ入場動物ニ對シテハ常ニ其健康狀態ヲ觀察シ遺算ナキヲ期セリ就中飲料水ハ動物保健上直接ノ關係アルヲ以テ特ニ精細檢査ヲ遂ケタリ

飲料 水

場内ニ設ケタル二箇ノ井水ハ混濁有機質物ノ含量多ク水質極メテ不良ニシテ飲料ニ適セサルヲ以テ直ニ飲料不適ノ標札ヲ揭示セルニ依リ會場附近ニ於ケル民家ノ井水ニ付キ檢査ヲ行ヒ其純良ナルモノヲ選定出品動物ノ飲料ニ供スルコト、セリ然レトモ場内廣潤ナル爲メ悉ク之ヲ供給スルハ煩勞多ク容易ニ行ハレサルノ傾キアリシヲ以テ場内ヲ縱斷セル河水ニ就キ精細ナル檢

査ヲ遂ケタル結果飲料トシテ支障ナク之ヲ使用スルニ至便ナルヲ以テ鹿兒島警察署並共進會場所在村役場ト協定河流ハ一齊ニ之ヲ浚渫清淨シ共進會開期間中不潔物ノ洗滌ハ勿論塵埃汚物ノ放棄ヲ嚴禁スル旨沿岸各戸ニ示達シ且ツ一般ニ揭示警告セリ河流水源ハ會場ヲ去ル約半里ノ鹿兒島郡中郡宇村田園ヨリ湧出ス無臭透明ニシテ其質佳良ナルノミナラス河流沿岸ハ唯會場附近ニ人家並列スルニ過キサレハ警戒モ確實ニ行ハレタル結果出品動物ノ飲料トシテ遺憾ナカラシメタリ

疾 病

出品動物中牛馬ニ對シテハ衛生的施設一般ニ行ハレタル結果傳染性疾患ヲ發見セサルモ長途ノ輸送ニ於テ疲勞或ハ跛行外傷等ヲ呈セシモノアリシモ漸次回復全快ヲ見ルニ至レリ疾病中消化器ノ疾患最モ多數ナリシモ治療法其當ヲ得多クハ經過四五日ニシテ全快スルヲ得タリ
 出品動物中家禽ハ疑似實扶埜里亞ニ侵サレタルモノアリシモ直ニ隔離治療ヲ怠ラサリシ結果全快セリ其他殆ント病鶏ヲ發見セス
 出品動物中豚ハ會場内到着當時ハ狹隘ナル柵内ニ收容シ輸送シタル結果著シク疲勞セルモノアリシモ漸次恢復一頭ノ損失ナシ
 今左ニ疾患動物ヲ表記ス可シ

馬	獸 名	病 名	經 過	轉 歸	住 所
胃腸加答兒	馬	胃腸加答兒	五日	恢復	鹿兒島縣

獸名	病名	經過	轉歸	住所
牛	胃腸加答兒	六日	恢復	鹿兒島縣
牛	同	四日	同	同
馬	便秘	二日	同	同
馬	食滯	一日	同	同
牛	前兩球節腫	一日	恢復ノ傾向アルモ全治ニ至ラス	同
馬	疑似家畜實扶埜里亞	五日	恢復	同
牛	食滯	二日	同	宮崎縣
馬	釘	五日	同	同
馬	右前冠膝損傷	五日	同	同
馬	腰角部損傷	五日	同	同
馬	胃腸加答兒	四日	同	熊本縣
馬	左前管骨損傷	六日	同	同
馬	胃腸加答兒	六日	同	大分縣
牛	食滯	二日	同	同
牛	同	三日	同	同

獸名	病名	經過	轉歸	住所
牛	同	二日	同	同
牛	便秘	三日	同	同
馬	左前冠膝損傷	四日	同	同
馬	右後擊部損傷	五日	同	同
馬	左下顎骨痛	二日	疼痛消散セシモ全治ニ至ラス	同
馬	食滯	一日	恢復	佐賀縣
馬	同	一日	同	同
牛	胃腸加答兒	六日	同	長崎縣
馬	右前冠膝損傷	六日	同	福岡縣
馬	疑似家畜實扶埜里亞	五日	同	同

藥 舖

開會中ハ不慮ノ疾患ニ備フル爲メ特ニ鹿兒島市内合名會社小杉藥舖ト協商會場内ニ藥局ヲ開設シ藥劑師ヲシテ之カ調劑ニ從事セシメ且ツ常備藥品トシテ左ノ藥品ヲ陳列セリ

備付藥品

- 鹽酸莫爾比涅
- 鹽酸古加乙涅
- 阿片丁幾
- 硫酸亞篤魯比涅
- 杏仁水
- 酒
- 精

第八 出品家畜衛生

依的兒	古魯胃	番木鱉末
白藜蘆根末	勃拉篤利涅	吐根
硫酸越設林	撒里矢爾酸越設林	鹽酸必魯加爾必涅
貌羅謨水素酸アレコリン	實菱多里斯葉	鹽酸規尼涅
撒里矢爾酸	撒里矢爾酸那篤留謨	安知必林
安知歌貌林	石炭酸	木爹兒
ワゾール	クレオリン	硫酸イヒチオール
沃度仿謨	硼酸	タンノ仿謨
格魯日兒那篤留謨	重碳酸那篤留謨	硫酸那篤留謨
人工加爾兒斯泉鹽	硝酸加留謨	苛性加里
炭酸麻僞涅叟謨	硫酸麻僞涅叟謨	安母尼亞水
礮砂	格魯兒拔留謨	稀鹽酸
礮寧	礮皮	龍膽末
單寧	甘草根末	蘆薈丁
葇麻子油	僞里設林	阿列布油
加里石鹼	的列竝底油	華攝林
樟腦	加密列花	杜松子末
苗香		密兒拉丁

羯答利斯丁幾	硝酸	水銀軟膏
昇汞	甘汞	赤色沃度
白降汞	過格魯兒鐵液	醋酸鉛
硫酸亞鉛	酸化亞鉛	吐酒石
金硫黃	次硝酸蒼鉛	苦味丁
蒸溜水	安母尼亞苗香精	カスカラ碓
サツカリ	大黃	鹽化アドリナリン
廣東人參	沃度丁幾	苛性那篤留謨
健質亞那根末		

特ニ傳染性疾患ノ豫防治療ニ關シテハ最モ注意シ更ニ本縣ハ豚虎列刺血清、家禽虎列刺血清、炭疽血清、腺疫血清、加奈陀馬痘血清、腺疫豫液、豚羅斯血清、破傷風血清等ヲ備付尙其他是レニ必要ナル器具器械等ヲ設備シ遺憾ナキヲ期セリ

共進會開會期間中ニ於ケル動物衛生ハ概シテ良好唯家禽ニ於テ疑似實扶埕里亞二羽ヲ發見シタルモ直ニ隔離治療全快ニ到ラシメタリ其他消化器ノ疾患外傷不慮ノ患疾等前表ノ如シト雖モ之レ多クハ輸送途中ニ於ケル發症ニシテ入場後尙治療ニ到ラサルモノ尠カラサルヲ以テ會場内ニ於ケル發症疾患ハ極メテ僅微之ヲ概括スル時ハ一般ニ動物衛生ハ佳良ナリト稱スルヲ得ヘシ

概括

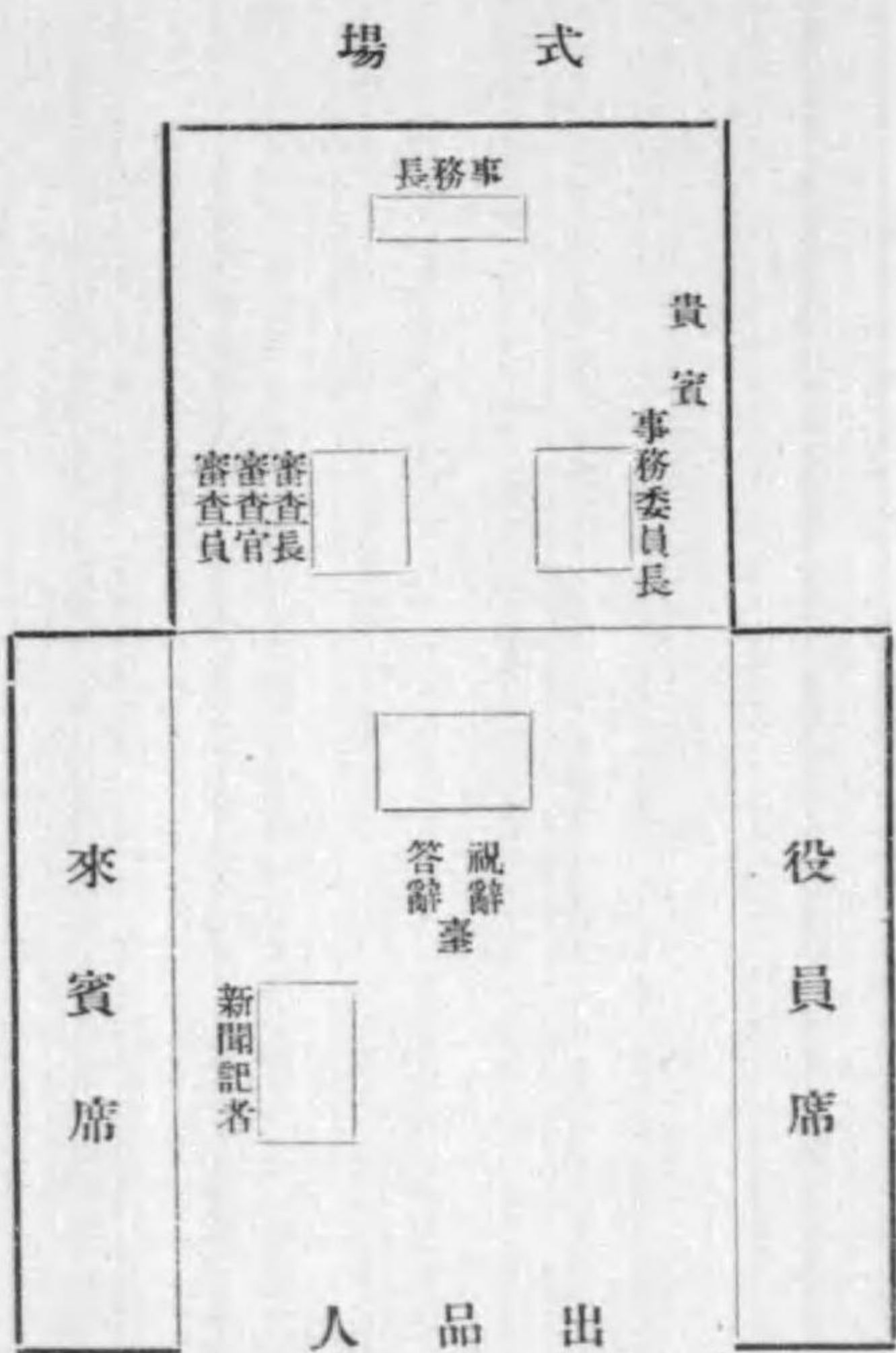
第九儀式

一 開會式

九州聯合馬匹畜産共進會開會式順序

大正二年十月二十一日午前九時

- 第一鈴 出品人著席
- 第二鈴 來賓著席
- 一 事務委員長開會式舉行ヲ事務長ニ申請ス
- 二 事務長式辭
- 三 農商務大臣告辭
- 四 來賓祝辭
- 五 出品人總代答辭
- 第三鈴 來賓其他參列員順次退場



申請書

不肖之ヲ九州聯合馬匹畜産共進會事務委員長ニ承ケ爾來諸般ノ準備ニ從事シ幸ニ聯合各縣事務委員諸氏ノ盡力ト出品人諸氏ノ勵精トニ依リ豫定ノ設備茲ニ成レリ依テ出品目錄ヲ呈シ謹テ開會式ヲ舉ケラレントヲ申請ス

大正二年十月二十一日

第二回九州聯合馬匹共進會

第一回九州聯合畜産共進會

事務委員長鹿兒島縣內務部長

從六位

服部 教一

事務長式辭

式辭

九州聯合馬匹畜産共進會ノ設備成リ茲ニ本日ヲ以テ開會式ヲ舉クルニ至リタルハ誠ニ本官ノ光榮トスル所ナリ是レ蓋シ各縣當局者ノ周到ナル獎勵ト當業者諸氏ノ熱誠ナル奮勵トニ因ラズンハアラス而シテ鹿兒島電氣軌道株式會社ハ大ニ此舉ヲ贊シ特ニ擴大ナル會場敷地ヲ提供セラレ亦縣下有志ノ諸氏ハ協贊會ヲ組織シテ本會ニ聲援ヲ與ヘラレ鹿兒島市ニ於テハ諸種ノ設備ヲナシテ多大ノ協贊ヲ與ヘラレタル等共ニ本會ノ深ク感謝シテ措カサル所ナリ希クハ關係者諸氏共同一致以テ事ニ當リ本會ヲシテ有終ノ美果ヲ收ムルニ遺憾ナカラシメンコトヲ一言以テ式辭トス

大正二年十月二十一日

第二回九州聯合馬匹共進會

第一回九州聯合畜産共進會

事務長鹿兒島縣知事

從四位勳三等

谷口 留五郎

農商務大臣告辭

告辭

九州聯合畜産共進會設備成リ爰ニ本日ヲ以テ開會ノ式ヲ舉クルハ本官ノ欣ブ所ナリ

由來九州ノ地ハ各種産業大ニ進歩セリト稱ス然レトモ畜産業ニ至リテハ尙未タ幼稚ニシテ將來改良増殖ノ餘地甚タ多シ此時ニ方リ九州各縣聯合シ鹿兒島縣主催ノ下ニ第一回畜産共進會ヲ開催シ以テ其普及發達ニ資セントス寔ニ機宜ヲ得タリト謂フヘシ今ヤ時勢ノ進運ハ斯業ノ隆興ヲ促スコト甚タ急ナリ希クハ諸氏宜シク共同一致大ニ事業ノ振興ヲ圖リ以テ本會ノ目的ヲ貫徹セラレンコトヲ一言以テ告辭トス

大正二年十月二十一日

農商務大臣

山本 達雄

祝詞

茲ニ本日ヲ以テ第二回九州聯合馬匹共進會並第一回九州聯合畜産共進會ノ開設ヲ見ル惟フニ馬匹ノ改良ト畜産業ノ改善トハ軍事並ニ殖産上至大ノ關係ヲ有シ其盛衰ハ直ニ以テ國力ノ消長ニ影響スルコト大ナリ茲ヲ以テ各地相競フテ斯業ノ進展開達ニ努メ施設獎勵各其宜シキヲ得其功果ノ舉カル所以テ能ク本日ノ盛會ヲ致セリ眞ニ邦家ノ爲メ慶賀ニ堪ヘサルナリ希クハ時運ノ進轉ニ伴ヒ益奮勵努力共ニ斯道ニ盡シ以テ他日ノ大成ヲ期センコトヲ謹テ祝詞トス

大正二年十月二十一日

宮崎縣知事

從四位勳三等

有 吉 忠一

來賓祝辭

祝詞

九州各縣聯合馬匹畜産共進會ハ時代ノ要求ヲ負フテ起リ未タ回ヲ重ネサルニ我畜産事業ノ改

善ニ資セシ其功績ハ没スヘキニアラス然リト雖現時世運ノ状態ハ尙斯業ノ發展ヲ促スコト急ナルモノアリ此時ニ當リ九州各縣ハ協力一致第二回聯合共進會ヲ企圖セラレ諸般ノ設備既ニ完成ヲ告ケ本日開會ノ盛式ヲ舉行セラルルニ會ス洵ニ機宜ニ適シタルノ舉ト謂フヘシ當業者宜シク今回ノ成績ニ鑑ミ研鑽怠ルナクンハ斯業ノ發展期シテ待ツヘキモノアルヲ信シ邦家ノ爲メ慶賀ニ堪ヘサルナリ茲ニ聊カ蕪辭ヲ陳シテ祝意ヲ表ス

大正二年十月二十一日

第二回九州聯合馬匹共進會
第一回九州聯合畜産共進會

協賛會長 有川 貞壽

祝詞

覆載ノ間物ヲ生スルコト億兆ニシテ併モ取テ人類ニ資セサルモノ無シ中ニ就テ禾穀ト畜産ヲ最トス歐米諸國殷富ヲ以テ稱セラル其大源ヲ推究スレハ偏ニ農耕牧畜ヲ勸奨シ學理ヲ應用シテ改善ニ努力シ孜孜トシテ怠ラサルニ維レ因ル

願ルニ我帝國ハ東海日出ノ邊ニ位シテ氣候溫暖風光明媚世界ノ樂園タリ物産ノ富饒ナルコト又無比ニシテ太古既ニ瑞穂ノ國ノ美名ヲ存ス唯中世永ク國ヲ鎖シテ稍々宇内ノ大勢ニ遅レ殖産ノ發達歐米ニ一籌ヲ輸シタリト雖明治維新後廣ク學問ト技藝ヲ萬國ニ求メ我ノ粹ニ加フルニ彼ノ長ヲ以テシタレハ百般ノ事業蔚然トシテ隆興シ國力ノ強盛空前ト稱セラル左レト萬邦日ニ精英ヲ競フノ時タリ即チ國民互ニ砥礪シ産業ノ日ニ新ナルヲ謀リテ富榮宇内ニ冠タルヲ

期セサル可ラス是諸種共進會ノ開設サルル所以ナリ

茲ニ今日我縣主催シテ九州聯合馬匹畜産共進會ヲ開設ス九州ノ地タルヤ帝國ニ於テ最モ富饒ノ沃土ニシテ海山ノ物ヲ産スルノ多キ又邦内ノ翹首タリ九州カ古來往往ニシテ帝國ノ原動力タリシモノ實ニ之ニ因ル蓋シ其地南ニ位シテ上太陽靈ノ响温ニ浴スルコト厚ク化育ノ煉釀他ニ勝レタレハナリ畜産ハ其物産ノ重要ナルモノニシテ牛馬豚鶏竝ニ滋息シ何レモ良種ニ富ミ其數ノ夥多ナルハ又海内ニ匹儔稀ナリ帝國ノ畜産ヲ論スル者ハ蓋シ必ス我九州ヲ顧ミサル可ラス遮莫之ヲ歐米ニ比較スレハ長短同日ノ談ニ非ラサルモノ甚タ多シ憾ム可キノ至リナリトス我等斯業ニ當ル者ハ即チ深ク此ニ鑑ミ互ニ其成績ヲ考覈シ和衷協同シテ將來萬全ノ計ヲ定メ以テ國家ノ増殖ニ努メサル可ラス又報國ノ一端ナリ

大正二年十月二十一日

鹿兒島縣產馬組合聯合會組長

志々目 藤彦

出品人總代答辭

答辭

我カ國畜産業ノ改善發達ハ今ヤ益々其急ヲ感シ之カ經營洵ニ忽諸ニ附スヘカラサルナリ今茲ニ九州聯合馬匹畜産共進會開設セラレ本日開會ノ盛典ヲ舉ケラル不肖出品人等幸ニ式末ニ列スルノ光榮ヲ荷ヒ且ツ賜フニ懇篤ナル訓辭ヲ以テセラル寔ニ感激ノ至リニ堪ヘサルナリ

想フニ畜産業ノ盛衰ハ國家命脈ノ繫ル所自今益々斯業ノ發達ニ努力シ以テ高論ニ酬イコト
ヲ期ス謹ンテ答辭ヲ述フ

大正二年十月二十一日

九州聯合馬匹畜産共進會

出品人總代

山野田一成

二 第二回九州聯合馬匹共進會褒賞授與式順序
大正二年十月二十六日午前九時

第一鈴 出品人著席

第二鈴 來賓著席

第三鈴 國務大臣馬政長官事務長ノ先導ニテ臨場

奏樂 (君カ代)

一 事務長ノ式辭

二 審査長審査成績申告

三 馬政長官告辭

四 馬政長官褒賞授與(一等及二等受賞者ハ其馬匹ヲ牽出シ佩牌セシム)

五 聯合縣知事總代祝辭

六 來賓祝辭

七 出品人總代答辭

八 事務長閉會ノ辭

第四鈴 國務大臣馬政長官事務長ノ先導ニテ退場

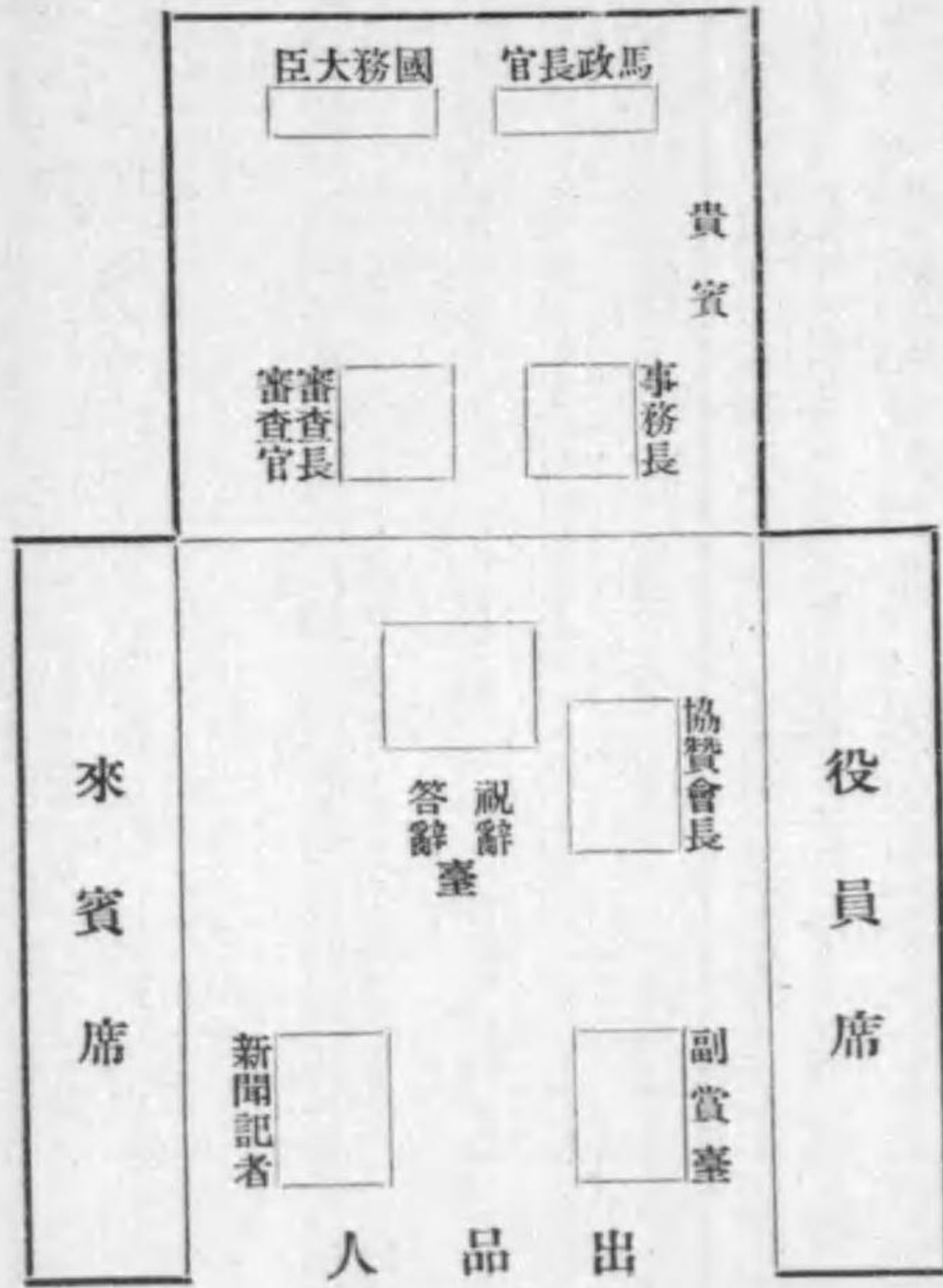
第五鈴 來賓其他參列員順次退場

以上

備考 褒賞ハ一等二等及三等ハ受賞者各員ニ四等賞ハ縣別總代ニ授與ス

注意 馬匹畜産共進會出品人ハ當日午前八時式場ニ參集スルコト

馬匹共進會褒賞授與式



式辭

事務長谷口鹿兒島縣知事授與式舉行ノ旨宣言ス

馬匹共進會褒賞授與式

審査申告

第二回九州聯合馬匹共進會審査終了シ茲ニ褒賞ヲ授與セラル、ニ當リ審査ノ成績ヲ申告スルハ小官ノ光榮トスル所ナリ

本會出陳ノ馬匹ハ總數六十頭ニシテ内牝十六頭牝四十四頭之ヲ種類ニ別テハ内國產洋種二十六頭「アングロノルマン」雜種十九頭「サラブレッド」雜種八頭其他ノ雜種七頭更ニ之ヲ年齡ニ區別セハ三歳三十一頭四歳二十六頭五歳三頭ニシテ孰レモ其縣ニ生産シタル優良ナル馬匹ナラサルハナシ

今回出陳ノ馬匹ヲ前回ニ比スルニ出陳頭數ニ於テ十三頭ヲ減スルモ其種類ニ於テ曩ニ父系ノ雜種ノモノ若クハ種類明瞭ナラサルモノ出陳ノ三分ノ一ニ達セシモ今回は等單ニ雜種ト稱スルモノ僅カニ三頭ニシテ其他ノ父系ハ國有種馬ヲ始メトシ各種著名ナル種馬ノ血胤ヲ享ケタルモノナルヲ以テ各種其氣品ト體型ヲ具ヘ體格漸ク整ヒ能力ノ稍、認ムヘキモノアルニ至レルハ著シキ進歩ニシテ是レ縣當局ノ常ニ指導宜シキニ適ヒタルニ由ルモ畢竟當業者銳意之カ改良ニ從事シタルニ據ラスンハアラス然レトモ仔細ニ之ヲ査評スレハ尙之カ改善ヲ要スヘキモノ多キヲ認ム茲ニ審査ノ實績ニ徴シ各縣產馬ニ對スル所見ヲ開陳セントス

鹿兒島縣ハ出陳頭數十八頭最モ多數ニシテ種類ハ純血系多ク品位秀麗容相快豁悍威英敏ニシ

テ步樣亦輕捷ナリ殊ニ性質溫良體格雄大トナリ蹄形亦擴大トナレルハ著シキ進歩トス然レトモ其體軀ノ幅員尙未タ狹ク後軀ニ於テ幾多改良ノ餘地ヲ存スルモノアリ且ツ中軀ハ「サラブレッド」系タルニ拘ラス四脊ノモノ多キヲ認ム肢勢ハ往往ニシテ規正ヲ缺キ飛節及球節ノ乾燥牢大ナラサルモノアルヲ憾トス當業者宜シク是等ノ諸點ヲ顧慮シ各種類ニ對スル育成ト調教トヲ行ヒ持久力ニ富ミ能力堪能ノ馬匹ヲ生産セムコトヲ努ム可シ

宮崎縣ハ出陳頭數十三頭鹿兒島縣ニ亞キ多數ニシテ其種類モ亦乘用種多シ氣品稍、高ク容姿清爽勇悍ニシテ行步輕快ナルモノアリ性質體格蹄質與ニ鹿兒島縣ト同シク改良セラレタルヲ認ムルモ前回ニ於テ要求シタル肢軀ノ缺點ハ今尙ホ存ス則チ尻格ノ短斜ナル後軀筋肉ノ發育不良ナル就中飛節ノ脆弱ナルモノ、多キハ最モ遺憾トスル所ナリ殊ニ管理ノ疎漏ヨリ來ル容貌肢蹄ニ於ケル損傷ハ用意未タ足ラサルモノアルヲ證スルモノナリ當業者須ラク茲ニ反省シ適正ナル配合ヲナシ合理的育成ヲ營ミ管理ヲ懇切ニシ強健ニシテ衝進力旺盛ナル馬匹ノ生産ヲ期スヘシ

熊本縣ハ出陳頭數十二頭ニシテ「アングロノルマン」系多數ヲ占ム即チ其種類ニ就テ前二縣ヨリモ早熟ナル輕輓用種ナルヲ以テ體軀ノ發育率ネ備ハリ品位姿勢ニ進歩ノ績明カナルモノアリ然レトモ是等役種ニ發スル濃厚飼料ノ多キニ過キ運動ノ之ニ伴ハサルカ爲メ彼ノ忌ムヘキ骨疾ノ顔貌ニ髣髴タルアリ著步確實ヲ缺クモノアリ深ク戒メサル可ラス是レ前回ニ比シ入賞馬匹ノ少キ所以ナリ次回ニハ之カ挽回ヲ策シ適良ナル飼養管理ヲナシ以テ產馬地ノ本能ヲ大成スヘシ

長崎縣ハ出陳頭數八頭ニシテ盡ク牝馬ノミトス而シテ父系ハ孰レモ國有ニシテ一頭ヲ除キ他ハ「アングロノルマン」系タラサルナリ出陳ニ對シ用意ノアル處ヲ諒スヘシ本種ハ育成比較的容易ニシテ從來飼料ニ最モ重キヲ置キ愛撫致ラサルナキ此地方ニ於テハ確ニ成效ノ績顯著ナルモノアルヲ認メタリ則チ昔日ニ比シ品位優リ頭頸昂リ肩ノ長クシテ良傾斜ヲ保テハ其進歩シタルモノナリ然レトモ過愛ノ結果強健的運動若クハ使役ヲ行ハス之カ爲メ骨質ヲ脆軟ニシ徒ラニ脂肉ニ富ミ體軀修廣偉大ニシテ四肢適好セス宛カモ屋宇宏重ニシテ柱礎之ニ慳ハサルカ如ク肢節ニ腫脹ヲ見サルモノ少ナク肢勢宜シキヲ失シ繫部疳小ナルヲ憾トス當業者更ニ意ヲ茲ニ注キ本種ニ適切ナル輓曳ノ輕作業ヲ課シ以テ四肢ノ堅牢實大ヲ期スヘシ

大分縣ハ出陳馬匹四歲四頭ニシテ「アングロノルマン」系多數トス前回ニ比スレハ明カニ進歩ヲ認ム是レ優賞ノ多キ所以ナリ其體格ニ就テハ平肋ニシテ肘離シ惡シク殊ニ後軀一般ニ善良ナラス就中飛節廣實ヲ缺キ脆弱ナルヲ憾ム一段ノ改良ヲ望マサルヲ得ス

福岡縣ハ出陳頭數四頭ニシテ同シク「アングロノルマン」系多キヲ占ム前回ニ比シ出陳頭數著シク減少シタルモ其實質ノ改良ニ伴ヒ入賞ノ數ハ確カニ之ヲ凌クニ至レリ然レトモ其馬匹ハ尙軀幹ノ幅員乏シク臂筋ノ發育不良ニシテ四肢細長扁蹄多ク而シテ關節腫脹シ突球ヲナセルモノアルヲ認ム本種ニ對スル前各縣ニ於ケル希望ノ點ヲ鑑ミ實用強健ナル馬匹ヲ生産育成スヘシ

佐賀縣ハ前回同シク一頭出陳シ血統亦明瞭ナラス體軀ハ稍、見ルヘキモノアルモ四肢不良就中飛節牢大ナラス殊ニ窄蹄ニシテ管理可ナラス須ラク留意ヲ要ス

若夫レ審査ニ至リテハ三種馬所長ト共ニ最モ周到綿密ナル検査ヲ行ヒ一等賞三頭、二等賞六頭、三等賞十二頭、四等賞十九頭ヲ選拔擬賞セリ謹テ褒賞ヲ授與セラレムコトヲ稟請ス

大正二年十月二十六日

第二回九州聯合馬匹共進會

審查 長 馬政官從五位勳六等 安井 淳之助

授與式

告辭

第二回九州聯合馬匹共進會審查長ノ申告ヲ領シ茲ニ優等馬匹ニ對シ褒賞ヲ授與スルニ當リ一言以テ當業者ニ告ク曩年第一回ヲ福岡縣ニ開催スルヤ本職親シク之ニ臨ミ今又本會ニ就キ觀察スルニ進歩ノ績顯著ナルヲ認ム洵ニ懌フヘキナリ然レトモ審査ノ成績ヲ按スルニ外形漸ク整フ如キモ尙幾多ノ失宜ヲ伴ヒ實用上ノ能力ニ疑ヒナキ能ハサルモノ少シトセス之レ當業者ノ深甚ナル警戒ヲ要スル所ナリ抑、九州ノ地タル我國樞要ノ産馬地ニシテ斯業ノ改良進歩ニ就テハ國家ノ期待スル所最モ大ナリ當業者須ク審査ノ成績ニ鑑ミ益、奮勵以テ他日ノ大成ヲ期セムコトヲ望ム

大正二年十月二十六日

馬政長官陸軍少將正五位勳三等功三級 淺川 敏 靖

祝辭

第二回九州聯合馬匹共進會審査結了ヲ告ケ本日ヲ以テ褒賞授與式ヲ舉ケラル

惟フニ産馬ノ事業ハ國家富强ノ要素ニシテ之カ改善ハ國威ノ發展ト國富ノ増進ニ至大ノ關係ヲ有ス殊ニ吾九州ノ地タル古來名馬ノ產地トシテ東北ト竝ヒ稱セラレ近年銳意改良ニ努メタル結果駿逸ノ産出尠ナカラサルハ誠ニ欣喜ニ堪ヘサルナリ而シテ今回ノ出陳固ヨリ九州ノ華ヲ蒐メ其美點長所ハ遺憾ナク發揮セラレタリト雖亦短所缺點ノ尠ナカラサルヘキヲ信ス望ムラクハ當業者諸氏宜シク審査ノ實績ニ鑑ミ自今益々精勵斯業ノ發達ニ貢獻セラレンコトヲ一言以テ祝辭トス

大正二年十月二十六日

九州聯合各縣知事總代

熊本縣知事正五位勳三等

赤 星 典 太

祝 辭

第二回九州聯合馬匹共進會褒賞授與ノ盛典ヲ舉行セラル、ニ當リ招カレテ席末ニ列スルノ光榮ヲ荷フ豈一言ノ祝辭ナカルヘケンヤ
惟フニ馬産ノ業ハ國家生存上必須缺クヘカラサルノ業ニシテ本業ノ盛衰ハ直ニ國威ノ消長産業ノ興廢ニ關スルコト頗ル大ナリ歐米ノ各國カ夙ニ競フテ是レカ改善ニ全力ヲ輸ス所以ノモノ其意蓋シ茲ニ存ス
抑、九州ノ地タルヤ土地廣漠ニシテ沃野多ク氣候風土亦馬産ノ業ニ適シ古來産馬地トシテ關西ノ雄タリ今ヤ此天惠地ノ利ノ厚キニ加フルニ人爲ノ施設亦年ト共ニ完カラントス國家ノ爲メ慶賀措ク能ハサル所ナリ希クハ益々奮勵以テ斯業改善ノ極致ニ達成シ國家ノ要望ニ副ハンコトヲ一言蕪辭ヲ陳シ本日ノ盛典ヲ祝ス

大正二年十月二十六日

宮崎縣産牛馬組合聯合會組長

瀬 戸 口 長 通

祝 辭

由來我カ九州ノ地タル天然ノ惠澤豐潤ヲ極メ民俗又剛健ニシテ夙ニ人文ノ伸暢産業ノ發達ヲ成シ今ヤ百尺竿頭一步ヲ進メントスルノ佳境ニアリ畜産業ノ如キモ其例證ニ舉クヘシ此次本縣下ニ開催サレタル第二回九州聯合馬匹共進會ハ殊ニ各縣馬匹ノ進展ヲ事實上ニ示スノ著シキモノ而シテ本日ヲ以テ品評受賞ノ式ヲ舉ケラル、ニ就キテハ感何ソ堪ヘン切ニ望ム受賞ノ榮ニ浴セシモノハ小成ニ安ニスルナク益々大成ノ道ヲ講シ此光譽ニ與カラサル者ハ愈々發奮シテ他日ノ成功ヲ期待サレン事ヲ一言所感ヲ披瀝シテ之ヲ祝辭トナス

大正二年十月二十六日

鹿兒島縣會議長

兒 玉 好 熊

祝 辭

第二回九州聯合馬匹共進會審査了了ヲ告ケ茲ニ褒賞授與ノ典ヲ舉行セラル、ニ當リ不肖參列ノ光榮ヲ有ス豈一言ノ祝辭ナカルヘケンヤ惟フニ本會ハ創設後日向淺シト雖モ今回ノ出品ヲ以テ前回ニ比スルトキハ逐次改善發達ノ域ニ進ミ秀逸ノモノ尠カラサルハ誠ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ然リト雖今ヤ宇内ノ趨勢ハ現時ノ狀態ニ安ニスルヲ許サス斯業ノ發展ヲ促スコト急ナルヲ覺フ冀クハ當業者諸氏今後一層奮勵以テ益々斯業ノ啓發ニ努メラレンコトヲ聊カ蕪辭ヲ述テ祝辭トス

大正二年十月二十六日

鹿兒島市長 有川 貞壽

祝辭

九州隨一ノ產馬地タル我薩南ノ地ハ今ヤ九州聯合馬匹共進會ノ開設ヲ以テ天下ノ耳目ヲ聳動セシメツツアリ而シテ微官等本日褒賞授與ノ盛典ニ列スルノ光榮ヲ荷ヒ且ツ各縣當事者經營ノ功空シカラサルヲ察シ國家ノ爲メ偏ヘニ慶賀ニ堪ヘサルナリ
冀クハ大臣閣下賜フ所ノ高論ヲ奉シ官民一致以テ斯業ノ改善發達ヲ圖リ愈々國富民力ノ充實ニ資センコトヲ聊カ蕪辭ヲ綴リテ祝辭トス

大正二年十月二十六日

鹿兒島縣各郡長總代 鹿兒島郡長 大山 綱任

答辭

馬匹ノ國家ニ貢獻スル所軍事ニ産業ニ其利害ノ繁ル所豈敢テ測ルヘケンヤ而シテ共進會ノ開設ハ益々之カ改善ノ歩武ヲ促進セシメツツアリ不肖出品人等本日ノ盛典ニ列シ特ニ褒賞ノ榮譽ヲ荷ヒ且ツ賜フニ懇篤ナル高論ヲ以テセラシムル寔ニ感激ニ堪ヘサルナリ
今ヤ九州馬匹ノ改善ハ更ニ一層ノ急ヲ感スルモノアリ自今益々奮勵以テ斯業ノ發達ニ努力シ本日ノ光榮ニ背カサラシムコトヲ期ス謹ンテ答辭ヲ述フ

大正二年十月二十六日

第二回九州聯合馬匹共進會

出品人總代 伊牟田 靜三

第一回九州聯合畜產共進會褒賞授與式順序

大正二年十月二十六日午前九時

第一鈴 出品人著席

第二鈴 來賓著席

第三鈴 農商務大臣事務長ノ先導ニテ臨場 奏樂(君カ代)

一 事務長式ノ開始ヲ參列者ニ告ク

二 審査長ハ審査ノ概況ヲ申告シ褒賞及功勞賞授與ヲ申請ス

三 農商務大臣式辭

四 農商務大臣褒賞及功勞賞授與

五 主權縣知事祝辭

六 聯合縣知事總代祝辭

七 來賓祝辭

八 祝辭祝電披露

九 出品人總代答辭

一〇 事務長式ノ終リヲ告ク

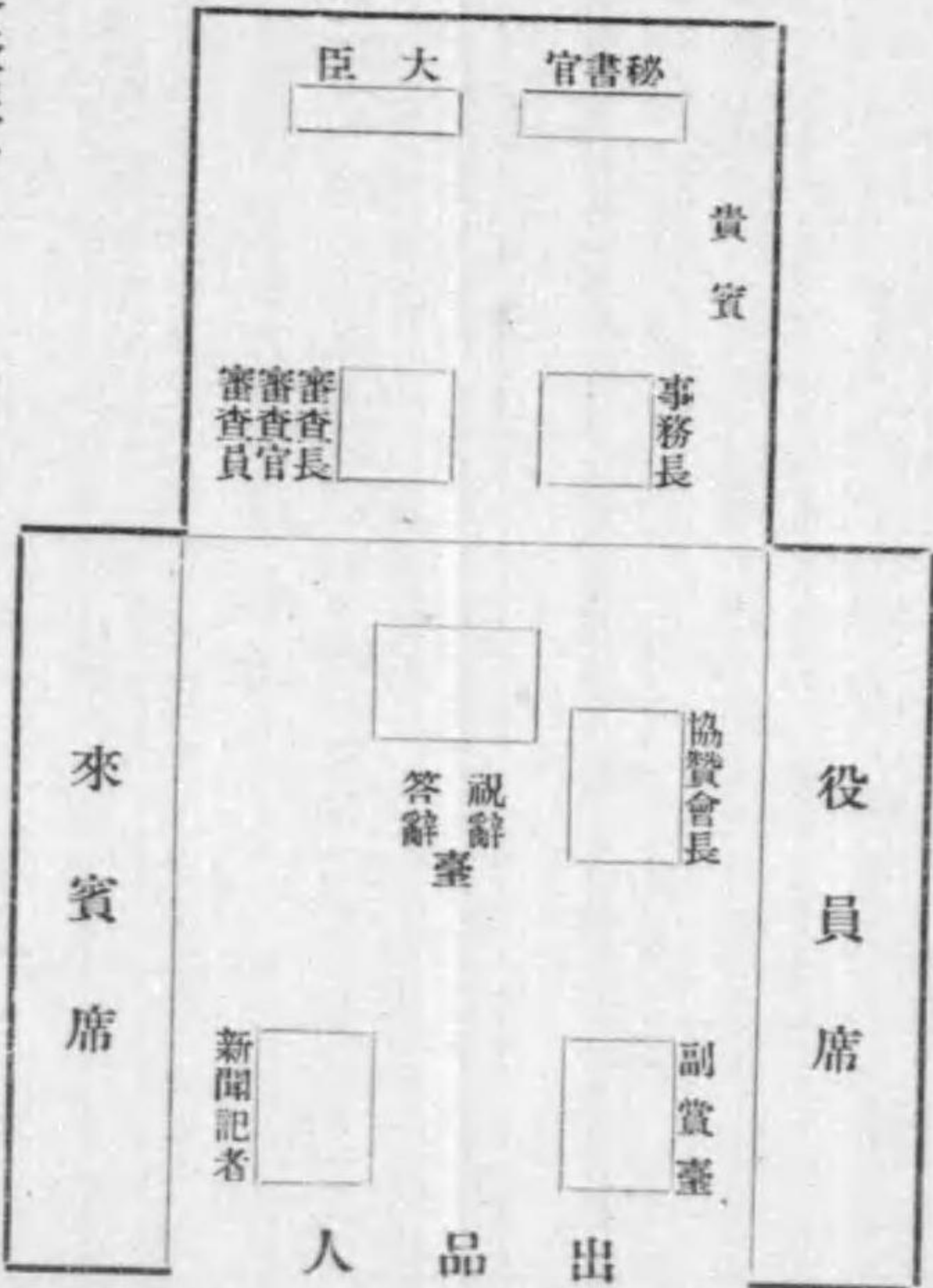
第四鈴 農商務大臣事務長ノ先導ニテ退場

第五鈴 來賓其他參列員順次退場

以上

備考 褒賞ハ一等及二等三等ハ受賞者各員ニ四等賞ハ縣別總代ニ授與ス
注意 畜産馬匹共進會出品人ハ當日午前八時式場内ニ參集スルヲト

畜産共進會褒賞授與式



審査報告

鹿兒島縣主催第一回九州聯合畜産共進會審査終了ヲ告ケ正ニ本日ヲ以テ褒賞授與式ヲ舉ケラル
仍テ茲ニ審査ノ概況ヲ報告スヘシ

(牛)出品牛ノ總數ハ合計僅ニ五十頭ニシテ縣別ニ之ヲ云ヘハ大分縣ノ十一頭鹿兒島縣ノ十頭ヲ
以テ最多數トシ長崎宮崎二縣ノ各五頭ヲ以テ最少數トセリ然ルニ種類別ニ之ヲ云ヘハ五十頭中
和種以外約十種ノ異血ヲ混淆スルノ事實アルハ九州ノ産牛界ハ未タ全ク進歩ノ過渡期ニアリテ
前途轉々遼遠ノ感ナクハ非ルナリ

試ニ出品牛中種類ノ多數ナルモノニ付キ其體格ヲ評スレハ大體ノ構造稍、過美ニシテ發育却テ
不良ナルノ嫌アルモノ偶、「エアシヤ」種系ノモノニ多シ又軀幹割合ニ長大ナルモ四肢乾燥セ
ス飛節下ニ於テ缺點多キモノハ往往「ブラウンスキス」種系ノモノニ於テ見ル所也其他皮毛粗剛
ニシテ身體各部其均稱ヲ得サルモノハ「シンメンタル」種系及「デアオン」種系ニ於テ少ナカラ
サルカ如シ之ヲ要スルニ全般ヲ通シテ各種血液ノ混合概シテ雜駁ヲ極ムルモノ其數少ナカラサ
ルヲ遺憾トス當業者宜ク先其目的ヲ確立シ種畜ノ精選ニ注意シ配合其宜シキヲ失ハサル様自今
一層ノ奮勵ヲ望ム

(豚)豚ハ「ヨークシャ」種四點「バークシャ」種十六點合計二十點ナリト雖之ヲ牛ニ比スレハ
其改良進歩ノ程度ハ遙ニ卓絶スルモノアリト謂フヘシ然レトモ此兩種類ニ付概評スレハ一般ニ
「ヨークシャ」種ハ其品質體格共佳良ナルニ反シ「バークシャ」種ハ軀體肥大ニ過キテ肢カ脆
弱ノモノ少ナカラサルカ如シ是畢竟平素飼養管理ノ失宜ト種畜ノ選擇其當ヲ得サルモノアルニ
アラサル歟當業者宜ク優良種畜ノ選用ト相俟テ平素ノ飼養管理上今一段ノ注意ヲ要ス
(鶏)鶏ハ單冠白色「レグホーン」種六點白色「ワイアンドット」二點銀色「ワイアンドット」一點橫
斑「プリマスロツク」三點、黑色「ミノルカ」三點白色「ミノルカ」一點黑色「オーピントン」種二點

「バフ色オービントン」種二點合計二十點ノ出品ナリト雖概シテ之ヲ評スレバ「バフ色オービントン」種ノ獨リ嶄然トシテ頭角ヲ顯ハスモノ、外殆ト他ニ稱揚スヘキ價値アルモノ少シ要スルニ九州ニ於ケル養雞業ハ尙未タ一般ニ幼稚ナリトイフモ必スシモ評言ニアラサルヘシ當業者宜ク奮勵一番更ニ進テ改良普及ノ實績ヲ舉ケラレムコトヲ望ム

(畜産製造品)畜産製造品ハ牛肉大和煮罐詰「ラード」各二點東坡肉罐詰「ハム」「ペーゴン」牛脂各一點合計八點ノ出品ナリトス就中東坡肉罐詰及牛肉大和煮罐詰ハ其風味稍佳良ナリト雖概シテ製造方法ノ程度尙未タ幼稚ニシテ殆ト稱揚スルニ足ラサルモノ多キヲ遺憾トス蓋シ畜産製造業ノ盛否ハ正ニ以テ其地方畜産業ノ興廢ニ影響スル所大ナリ將來ハ宜シク地方適宜其振興策ヲ講シ肉製品以外「バター」煉乳等ノ乳製品モ亦併セテ之ヲ產出スルノ覺悟ナカルヘカラス

(業務成績)業務成績ハ合計二點ニシテ一ハ即チ長崎縣西彼杵郡浦上山里村ニ於ケル畜産販賣組合ノ營業方法及其成績ナレトモ離乳後ノ仔豚ヲ農家ニ預托飼育スル方法以外別ニ見ルニ足ルモノナシ他ハ即チ福岡縣田川郡農會畜産業ノ計畫及成績ニシテ一定ノ目的ノ下ニ種畜ヲ準備シ之カ種付ヲ獎勵スルノ外是亦著シキ成績ノ特ニ稱揚スヘキモノナシ

以上ハ審査ノ概況ナリトス若シソレ審査方法ニ至リテハ審査官及審査員諸氏ト共ニ再三精査ノ結果一等賞豚二點鶏壹點二等賞ハ牛四點豚鶏各二點三等賞ハ牛八點豚三點鶏及畜産製造品各二點四等賞ハ牛十三點豚鶏各三點畜産製造品一點合計四十六點ヲ選拔擬賞セリ謹而褒賞授與アラムコトヲ申請ス

大正二年十月二十六日

鹿兒島縣主催第一回九州聯合畜産共進會
 審査長 農務技師 佐藤 清明

畜産共進會褒賞授與式

農商務大臣式辭

第一回九州聯合畜産共進會出品審査了ラ告ケ茲ニ本日ヲ以テ褒賞授與ノ式ヲ舉ク
 惟フニ畜産業ハ農業ニ對スル勞力及肥料ノ供給ニ重大ナル影響ヲ及ホスノミナラス亦國民ノ食料問題ニ密接ノ關係ヲ有シ國家經濟上洵ニ重要ナル事業ナリ然ルニ輓近役畜及乳肉ノ需要ハ農業ノ進歩ト民度ノ向上トニ伴ヒテ益々増加セルニ拘ハラヌ畜産業發展ノ度之ニ副ハサルモノナルカ如キハ本官ノ切ニ遺憾トスル所ナリ諸氏須ク意ヲ此ニ致シ互ニ奮勵努力シ大ニ斯業ノ隆昌ヲ期セサルヘカラス

本會審査ノ成績ヲ見ルニ前途猶改善ヲ要スル點尠カラス冀クハ當業者諸氏深ク其評臨ニ鑑ミ時運ノ趨勢ニ察シ協心戮力斯業ノ振興ヲ圖リ以テ本會開催ノ趣旨ヲ完フセラレムコトヲ一言以テ式辭トス

大正二年十月二十六日

農商務大臣 山本 達雄

祝辭

第一回九州聯合畜産共進會審査了シ茲ニ本日ヲ以テ褒賞授與式ヲ舉ケラル、ニ當リ農商務

第九儀式

大臣閣下ノ懇篤ナル高諭ヲ辱フシタルハ本會ノ光榮トスル所ナリ
惟フニ國運ノ進暢ニ伴ヒ諸般實業ノ勃興ト共ニ近來畜産業ノ發達日ヲ逐フテ盛ナラントスル
ハ邦家ノ爲メ慶賀スヘキ現象ナリ然リト雖退テ實況ヲ觀察スルニ尙未タ幼稚ノ域ヲ免レスス
業ノ前途遼遠ナルモノアリ庶幾クハ當業者諸氏宜シク閣下ノ高諭ヲ體シ本會ノ成績ニ鑑ミ奮
勵努力他日ノ大成ヲ期セラレンコトヲ一言以テ祝辭ニ代フ

大正二年十月二十六日

第一回九州聯合畜産共進會

事務長 鹿兒島縣知事從四位勳三等

谷口留五郎

祝辭

畜産業ノ振否ハ以テ國富民力ノ進度ヲトスルニ足ル今茲ニ九州聯合畜産共進會褒賞授與ノ盛
典ニ列スルノ光榮ヲ荷ヒ我九州畜産界ノ進歩頗ル著大ナルモノアルヲ見本官等國家ノ爲メニ
慶賀ニ堪ヘサルナリ
然リト雖モ之ヲ世界各國ノ現況ニ徴スルニ我カ國畜産業ノ現狀タル寧ロ幼稚ナルヲ免レス豈
奮勵セサルヘケンヤ事ニ此ニ當ルモノ宜シク官民一致斯業ノ發達ニ努力シ以テ國富ノ充實ニ
資セサルヘカラス之ヲ祝辭トス

大正二年十月二十六日

九州聯合各縣知事總代

長崎縣知事從四位勳二等

李家隆介

祝辭

文明ノ進運ト共ニ諸畜産業ノ必要益、切ニ感セラル獨リ地方社會ノ利用厚生上ヨリノミナラ
ス又國家經濟ノ見地ニ照ラシテ如今ノ急務ニ屬スヘキヤ素ヨリ言ヲ俟タス今ヤ我九州各縣ノ
斯業カ日ヲ逐フテ發達シツ、アルハ誠ニ祝スヘシ今回我縣下ニ開催サレタル第一回九州聯合
畜産共進會ノ如キハ殊ニ其多望ナル前途ヲ證明シテ餘リアリ而シテ本日ヲトシテ品評受賞ノ
式ヲ舉ケラル喜ヒ何ソ禁スヘケンヤ庶幾クハ受賞ノ榮ニ浴セシモノハ之ヲ以テ足レリトセス
益、奮進シ榮ニ浴セサル者ハ愈、勉勵シテ他日ノ大成ヲ期セラレンコトヲ聊カ所思ヲ述ヘテ
之ヲ祝辭トス

大正二年十月二十六日

鹿兒島縣會議長

兒玉好熊

祝辭

國運ノ増進ハ産業ノ發展ニ待タサルヘカラス今ヤ我國版圖ノ増大ハ國力ノ充實ヲ要望シ斯業
ノ振興ヲ促スコト切ナリ此時ニ方リ第一回九州聯合畜産共進會ヲ開設セラレ茲ニ褒賞授與ノ
典ヲ舉行セラル、ニ會ス豈夫レ祝賀セサルヲ得ンヤ
抑、今回ノ出品ヲ觀覽スルニ優品ニ乏シカラス當業者ノ改善發達ニ努メラレタル苦心ノ跡歷
然タルモノアルヲ認メ欣喜ニ堪ヘサルナリ冀クハ今後益、銳意勵精斯業ノ發展ヲ圖リ以テ國
力ノ充實ニ資セラレレコトヲ一言以テ祝辭トス

大正二年十月二十六日

鹿兒島市長

有川貞壽

祝辭

三峰聳立シテ風光一段ノ雄大ヲ現スルノ處茲ニ本日ヲ以テ九州聯合畜産共進會褒賞授與ノ盛典ヲ舉ケラル微官等亦式末ニ列スルノ光榮ヲ荷ヒ感激ノ至リニ堪ヘサルナリ
 惟フニ畜産業ハ國家盛衰ノ繁ル所事ニ此ニ從フモノ其責任洵ニ重且ツ大ナリト云フヘシ微官等乃チ時代ノ趨向ニ鑑ミ益々斯業ノ改善發達ヲ圖ランコトヲ期ス之ヲ祝辭トス

大正二年十月二十六日

鹿兒島縣各郡長總代

揖宿郡長

馬野

精一

出品人答辭

答辭

畜産ノ業タル繁リテ國富民力ノ振否ニアリ事ニ此ニ當ルモノ豈忽諸ニ附スヘケンヤ不肖出品人等本日ノ盛典ニ列シ且ツ褒賞ノ榮譽ヲ荷フ感激何ソ堪ヘン若シ夫レ大臣閣下高論ノ趣旨ニ至リテハ晨夕肝銘以テ斯業ニ奮勵シ愈々之カ目的ヲ達成センコトヲ期ス茲ニ謹ンテ答辭ヲ述フ

大正二年十月二十六日

第一回九州聯合畜産共進會

出品人總代

知識

小吉

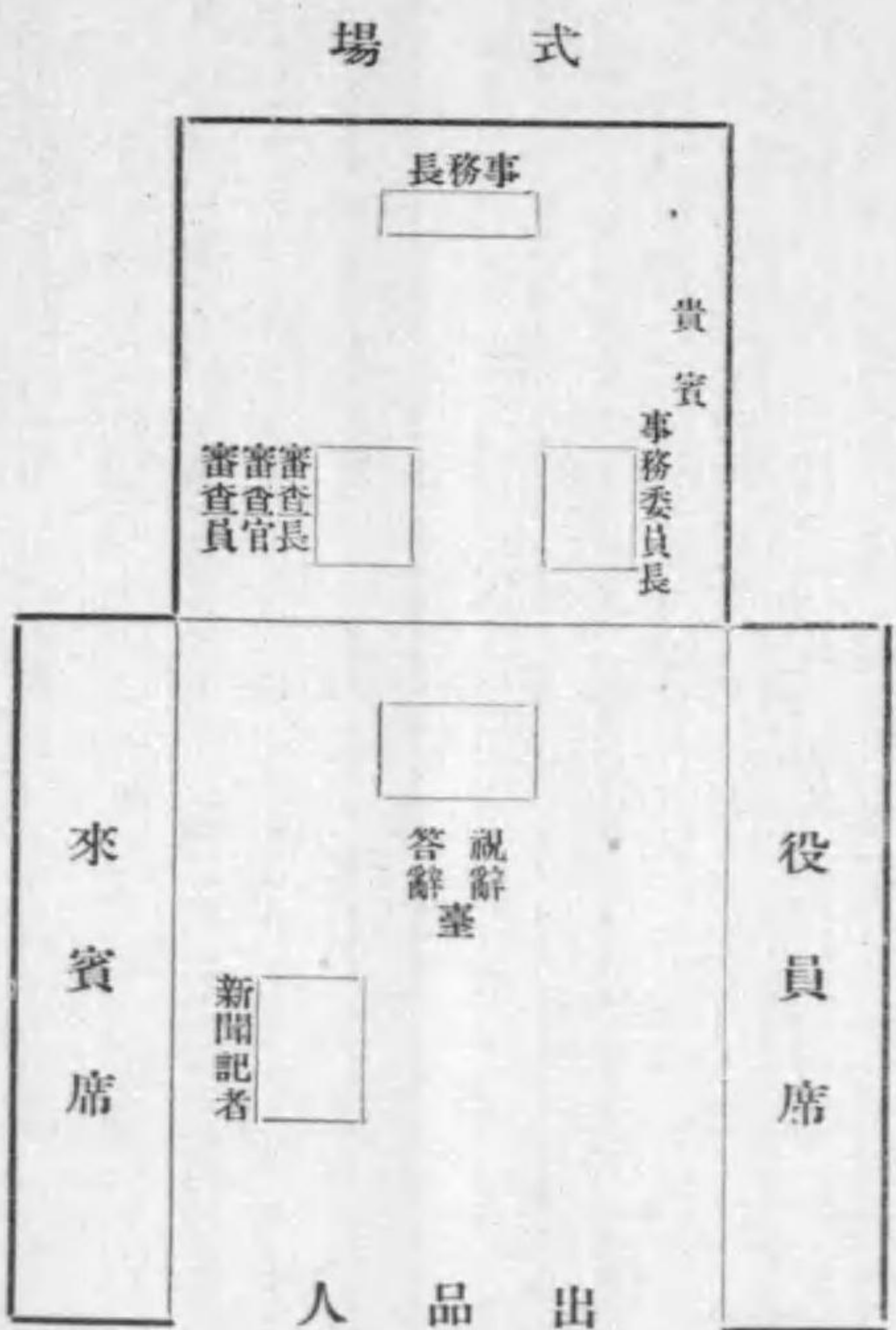
三 九州聯合馬匹畜産共進會閉會式順序

大正二年十月二十七日

第一鈴 出品人著席

第二鈴 來賓著席

- 一 事務委員長閉會式舉行ヲ事務長ニ申請ス
 - 二 事務長式辭
 - 三 來賓祝辭
 - 四 出品人總代答辭
- 第三鈴 來賓其他參列員順次退場
以上



共進會閉會式

申請書

九州聯合馬匹畜産共進會開會以來茲ニ一週日此間事務委員諸氏ノ熱誠努力ト出品人各位ノ盡力トニ依リ諸般ノ事務良好ナル成績ヲ收メ會期滿了ヲ告ク謹テ閉會式ヲ舉ケラレンコトヲ申請ス
大正二年十月二十七日

第二回九州聯合馬匹共進會

第一回九州聯合畜産共進會

事務委員長 鹿兒島縣內務部長從六位

服部 敦一

式辭

九州聯合馬匹畜産共進會開會以來茲ニ一週日其ノ日子敢テ長キニアラスト雖斯業ノ改良發達ニ資シ將來其效果ノ期シテ俟ツヘキモノ尠ナカラサルヲ信ス
是レ各縣當局者竝ニ出品人諸氏ノ奮勵ト事務委員長以下委員各位ノ斡旋其宜シキヲ得タルト協贊會ニ於テ各種ノ施設ヲナシ以テ本會ニ多大ノ援助ヲ與ヘラレタルニ因ルモノニシテ共ニ俱ニ深ク感謝スル所ナリ茲ニ閉會ノ式ヲ舉クルニ當リ連日ノ勞苦ヲ謝シ以テ式辭ニ代フ

大正二年十月二十七日

第二回九州聯合馬匹共進會

第一回九州聯合畜産共進會

事務長 鹿兒島縣知事從四位勳三等

谷口留五郎

祝辭

第二回九州聯合馬匹共進會竝第一回九州聯合畜産共進會ハ會期僅カニ一週間ノ短少時日ナリシニ拘ラス聯合各縣當局者ノ精勵ト審査長審査官各位ノ熱誠ニシテ而モ嚴密ナル審査ト相俟テ圓滿ニ結了シ本日ヲ以テ閉會ヲ告クルニ至リタルハ獨リ主催地タル本縣ノ光榮タルノミナラス邦家ノ爲洵ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ特ニ審査長ノ報告ハ將來當業者ノ注意スヘキ最モ必要ナル條件ヲ悉ク指摘教訓シテ餘ス所ナシ當業者諸氏宜シク其意ヲ體シ今回ノ成績ヲ以テ長ヲ採リ短ヲ補フノ資料トナシ一層奮勵努力シテ止ムナクンハ他日ノ大成期シテ待ツヘキナリ
冀クハ諸氏夫レ是ヲ勉メラレンコトヲ一言以テ祝辭トス

第二回九州聯合馬匹共進會

第一回九州聯合畜産共進會

協贊會長 有川 貞壽

祝辭

九州聯合馬匹畜産共進會開催以來終始一貫能ク圓滿ニ進行シ畜産ノ改善發達ニ多大ノ貢獻ヲ爲シタルハ信シテ疑ハサル所ナリ是レ各般ノ施設宜シキヲ得タルト出品人諸氏ノ奮勵トニ依ラスンハアラス茲ニ閉會ニ際シ謹ンテ本會ノ成功ヲ祝シ併セテ斯業ノ發展ヲ祈ル

大正二年十月二十七日

鹿兒島縣畜産馬組合聯合會

組長 志々目藤彦

出品人答辭

答辭

九州聯合馬匹畜産共進會ノ開期茲ニ盡キ本日ヲ以テ閉會ノ典ヲ舉ケラル
本會ハ會期旬日ヲ永カラスト雖モ當業者ヲ啓發シ斯業ノ改良ヲ促シタルモノ尠少ナラサルヲ
信ス是レ當局諸官ノ周到ナル經營ニ由ルモノニシテ生等ノ深ク感謝スル所ナリ爾今益々奮勵以
テ本會ノ效果ヲ永遠ニ保持センコトヲ期ス謹ンテ答フ

大正二年十月二十七日

第二回九州聯合馬匹共進會

第一回九州聯合畜産共進會

出品人總代

南

甚

吉

第十褒賞

一 賞狀及賞牌

鳳 鳳

牛 種 號

等 賞 牌

審 査 長 從 五 位 勲 章 佐 藤 清 明 印

右 第 一 回 九 州 聯 合 畜 産 共 進 會
審 査 長 薦 告 領 シ 茲 ニ 之 ヲ 授 與 ス

大 正 二 年 十 月 十 日 農 商 務 省 畜 産 課 長 山 本 達 雄 印

桐 輪 廓

桐 輪 廓

牛 種 號 生

賞 金 授 與 證

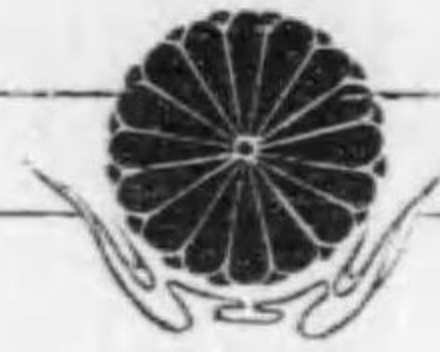
右 者 第 一 回 九 州 聯 合 畜 産 共 進 會
前 記 ノ 畜 牛 ヲ 出 陳 シ
等 賞 ヲ 得 タリ 仍 テ
金 圓 ヲ 授 與 ス

大 正 二 年 十 月 二 十 六 日

農 商 務 省 畜 産 課 長 山 本 達 雄 印



桐葉輪廓



馬

號

種類
毛色
年齡
特徵

縣

等賞

審査長從五位勳三等左丹波守 印

右第二回九州聯合馬界共進會審査長
申告ヲ領シ茲ニ銅牌及賞金 圓ヲ
授與ス

大正二年十月二十六日

馬政長陸軍將士位勳三等左丹波守 印



二 受賞者

九州聯合畜産共進會授賞表

畜牛擬賞表

二等賞

金百圓 四人

種類	名	號	性	生年月	毛色	住	所	氏名
改良和種	日	本	牡	四十五年三月	黒	鹿兒島縣揖保郡山川村		才田 裝 市
エアシヤ種	第二	ロ	牝	四十三年九月	白赤斑	鹿兒島縣鹿兒島市草平田町		知 識 小 吉
和種	不	二	牡	四十四年五月	黒	福岡縣宗像郡赤間町		森 田 太 郎
ホルスタイン種	ヘ	リ	牡	四十二年三月	黒白斑	福岡縣遠賀郡八幡町		村 田 源 次 郎

三等賞

金六十圓 八人

種類	名	號	性	生年月	毛色	住	所	氏名
シムメンタール種	花	井	牝	四十二年六月	赤	大分縣大野郡東大野村		西 野 甚 作
エアシヤ種	益	榮	牝	四十三年八月	白褐斑	熊本縣天草郡木戸村		倉 田 耕 作
エアシヤ種	楨		牝	四十三年八月	白褐斑	宮崎縣宮崎郡檳村		金 丸 一 二
ホルスタイン種	小	櫻	牝	四十一年八月	白黒斑	鹿兒島縣鹿兒島市平之町		山 野 田 セ イ

種類	名	號	性	生年月	毛色	住	所	氏名
エアシヤ種	滿	榮	牝	四十五年三月	白褐斑	熊本縣天草郡上村		倉 田 カ メ
エアシヤ種	松	島	牝	四十五年一月	白褐斑	熊本縣天草郡中村		田 中 長 次 郎
エアシヤ種	ス	コ	牝	四十四年三月	白赤斑	鹿兒島縣出水郡上出水村		伊 集 院 與 輔
シムメンタール種	打	上	牡	四十五年三月	赤白斑	佐賀縣東松浦郡上村		大 石 仙 太 郎

四等賞

褒狀 十三人

種類	名	號	性	生年月	毛色	住	所	氏名
エアシヤ種	第五	カ	牝	四十五年三月	白褐斑	熊本縣天草郡中村		益 田 善 次
ホルスタイン種	エ	ル	牡	四十二年八月	白黒斑	佐賀縣佐賀市高木瀬村		高 藤 以 枝
エアシヤ種	長	州	牡	四十三年十一月	白褐斑	熊本縣天草郡登立村		和 田 長 市
改良和種	萬	年	牡	四十五年一月	黒	大分縣玖珠郡萬年村		梅 木 慈 一
和種	牧	益	牝	四十四年二月	黒	福岡縣田川郡赤村		太 田 益 三
ブラウンスキス種	神	一	牡	四十五年一月	黒	大分縣玖珠郡萬年村		梅 木 壽 吉
ブラウンスキス種	増		牝	四十四年三月	黒	鹿兒島縣薩摩郡東水引村		山 下 小 右 衛 門
改良和種	蘭	生	牡	四十四年四月	黒	鹿兒島縣薩摩郡高城村		竹 田 榮 喜
ブラウンスキス種	蘭	生	牡	四十五年一月	褐	大分縣大野郡東大野村		大 野 行 馬

第十褒賞

種類	名	號	性	生年月	毛色	住	所	氏名
エーアシヤ種	岩	坂	牝	四十三年七月	白赤斑	長崎縣長崎市八幡町		中島長松
雜種	小	春	牝	四十四年二月	黒	宮崎縣兒湯郡農村		長友外太郎
改良種	第	都	牝	四十四年八月	白褐斑	佐賀縣藤津郡七浦村		山口廣人
エーアシヤ種	三	城	牝	四十五年三月	赤白斑	長崎縣南高來郡南有馬村		宮川清三郎
短角雜種	原	城	牝					

一三六

出品豚擬賞

一等賞 二名

種類	性	名	號	生年月	住	出	所	氏名
エーアシヤ種	牝	白	一	四十五年五月	長崎縣西彼杵郡浦上山里村	深堀ミサ		渡邊七郎次
エーアシヤ種	牝	白	一	四十四年一月	鹿兒島縣始良郡西國分村			

二等賞 二名

種類	性	名	號	生年月	住	出	所	氏名
エーアシヤ種	牝	青	天	大正二年二月	宮崎縣北諸縣郡都城町			山下六兵衛

二等賞 三名

種類	性	名	號	生年月	住	出	所	氏名
エーアシヤ種	牝	常	盤	四十四年三月	鹿兒島縣鹿兒島市鹽屋町			吉満市太郎

四等賞 三名

種類	性	名	號	生年月	住	出	所	氏名
エーアシヤ種	牝	多	良	四十五年三月	佐賀縣藤津郡多良村	白水辰一		
エーアシヤ種	牝	海	原	四十五年五月	鹿兒島縣川邊郡東南方村	木原泰藏		
エーアシヤ種	牝	曉	月	大正二年三月	佐賀縣杵島郡武内村	山口吉彦		

出品鶏擬賞

一等賞 一名

種類	性	名	號	生年月	住	出	所	氏名
エーアシヤ種	牝	川	野	大正二年二月	宮崎縣北諸縣郡都城町	山下六兵衛		
エーアシヤ種	牝	花	山	四十五年一月	鹿兒島縣川邊郡東南方村	川原次郎		
エーアシヤ種	牝	小	櫻	大正元年九月	鹿兒島縣鹿兒島郡中郡宇村	道添與吉		

第十褒賞

一三七

種	類	性	生年月	住	出	品	所	人
バフ色オーピントン種		二雄	大正二年三月	鹿兒島縣鹿兒島市山之口町				仲屋喜久造

二等賞

二名

種	類	性	生年月	住	出	品	所	人
漣斑ブリマスコック種		二雄	大正二年二月	鹿兒島縣始良郡蒲生村				藤崎小三郎
單冠白色レグホーン種		二雄	大正二年二月	同				同

三等賞

二名

種	類	性	生年月	住	出	品	所	人
單冠白色レグホーン種		二雄	大正二年三月	鹿兒島縣鹿兒島市鹽屋町				佐藤茂助
白色ワリアンドット種		二雄	大正二年三月	鹿兒島縣揖宿郡指宿村				榊山豊次

四等賞

三名

種	類	性	生年月	住	出	品	所	人
白色ワリアンドット種		二雄	大正二年四月	宮崎縣兒湯郡高鍋町				岩切春次

白色ワリアンドット種	一雄	四十四年三月	鹿兒島縣鹿兒島郡吉野村	前田武記
黑色ミノルカ種	二雌	大正二年四月	福岡縣粕屋郡和白村	和田種二郎

畜産製造品擬賞

三等賞

二名

品名	數量	製造者住所氏名	價格	賣非賣ノ區別	出品人住所氏名
東坡肉罐詰	六箇	長崎市本下町 飯田七三郎	一箇三十錢	賣品	長崎市本下町 飯田七三郎
牛肉大和煮罐詰	十二箇	宮崎縣都城町 富賀見筆祐	一箇二十二錢	同	宮崎縣都城町 富賀見筆祐

四等賞

一名

品名	數量	製造者住所氏名	價格	賣非賣ノ區別	出品人住所氏名
牛肉罐詰	六箇	福岡縣大牟田町 山本平左衛門	一箇二付 金二十三錢	賣品	福岡縣大牟田町 山本平左衛門

部別	等級別	福	岡	長	崎	佐	賀	大	分	熊	本	宮	崎	鹿兒島	合	計
牛畜部一第	出品點數	七	七	五	五	六	六	一	一	六	六	五	五	一	一	五
	出品人員	七	七	五	五	六	六	一	一	六	六	五	五	一	一	五

第十褒賞	第四部 畜産製造品		部別	第三部 鶏					部別	等級別			
	出品数	出品人員		歩	合	四	三	二			一	出品数	出品人員
			福岡	二五〇	一	一				三	四	福岡	
			長崎									長崎	
			佐賀							二	二	佐賀	
			大分									大分	
			熊本									熊本	
			本宮	一〇〇〇								本宮	
			鹿兒島	五四・五	六	一	二	二	一	〇	一	鹿兒島	
			合計	四〇〇	八	三	二	二	一	一	八	合計	
													四七・六

一四一

第十褒賞	第二部 豚		部別	第一部 牛畜					部別	等級別			
	出品数	出品人員		歩	合	四	三	二			一	出品数	出品人員
			福岡									福岡	
			長崎									長崎	
			佐賀									佐賀	
			大分									大分	
			熊本									熊本	
			本宮									本宮	
			鹿兒島									鹿兒島	
			合計									合計	
													一四〇

一四〇

品造製産畜部四第					部別
歩	合	四	三	二	等級別
合計	等	等	等	等	福岡
1000	1	1	1	1	長崎
200	1	1	1	1	佐賀
					大分
					熊本
					本宮崎
1000	1	1	1	1	鹿兒島
333	3	1	2	1	合計

績成務業部五第					部別
歩	合	四	三	二	等級別
合計	等	等	等	等	福岡
					長崎
					佐賀
					大分
					熊本
					本宮崎
					鹿兒島
					合計
					22

第二回九州聯合馬匹共進會授賞馬匹表
一等賞 賞金五百圓 三名

計					總		等級別
歩	合	四	三	二	一	出品數	
合計	等	等	等	等	等	人員	出品數
384	5	3	1	2	1	2	13
250	4	2	1	1	1	5	16
500	5	2	3	1	1	0	10
363	4	3	1	1	1	2	12
833	5	2	3	1	1	6	16
666	6	3	2	1	1	8	19
486	7	5	5	5	2	3	27
450	4	2	1	1	3	7	10

番號	名稱	種類	性	年	毛色	體尺	住	出	陳	氏	人
一四	十五夜	內國產洋種	牝	四十四年生	黒鹿	五二〇	鹿兒島縣贈嶽郡野方村	南	甚吉		
三八	捷花	同國產洋種	牝	四十四年生	栗	五一八	宮崎縣西臼杵郡上野村	甲斐大八郎			
一一	マングローノ雑種	雜種	牝	四十三年生	鹿	五一六	長崎縣南高來郡杉谷村	宮崎兼男			

第十褒賞

二等賞

賞金三百圓 六名

番號	名稱	種類	性	年 齡	毛 色	體 尺	住 出 所 陳	氏 人 名
一五	鶴 若	內國產洋種	牝	四十四年生	黒鹿	五、〇〇	鹿兒島縣始良郡清水村	木藤 龍藏
四五	磯 草	內國產洋種	牝	四十四年生	鹿	五、一一	長崎縣南高來郡三會村	田浦 鹿次郎
二七	喜 波	內國產洋種	牡	四十二年生	栗	五、三八	宮崎縣宮崎郡赤江村	坂本 袈裟藏
一	第一入	內國產洋種	牡	四十四年生	鹿	五、二二	鹿兒島縣揖宿郡喜入村	伊牟田 靜三
五三	春雨	內國產洋種	牝	四十四年生	栗	五、二五	大分縣下毛郡鶴居村	坪根 千代吉
		內國產洋種	牝	四十四年生	栗	五、〇三	熊本縣阿蘇郡野尻村	野尻 眞振

三等賞

賞金百五十圓 十二名

番號	名稱	種類	性	年 齡	毛 色	體 尺	住 出 所 陳	氏 人 名
一八	サ、ナミ	內國產洋種	牝	四十三年生	栗	四、九九	鹿兒島縣揖宿郡財部村	高山 傳五郎
三〇	朝 間	サラブレッド種	牡	四十三年生	鹿	五、一二	鹿兒島縣噲嗒郡志布志町	兒玉 伊兵衛
四五	富 丹	雜種	牝	四十三年生	栗	四、九五	宮崎縣宮崎郡大宮村	大野 光平
一九	霞 春	雜種	牝	四十三年生	鹿	五、二三	鹿兒島縣始良郡牧園村	通山 末太郎
三六	橋 立	內國產洋種	牝	四十四年生	栗	五、二四	宮崎縣兒湯郡新田村	森川 菊次

四等賞

褒賞 十九名

番號	名稱	種類	性	年 齡	毛 色	體 尺	住 出 所 陳	氏 人 名
二一	コハナ	アマングロ種	牝	四十四年生	栗	五、一五	鹿兒島縣揖宿郡今和泉村	濱田 清藏
四	竹 帛	アマングロ種	牝	四十三年生	鹿	五、二七	大分縣直入郡柏原村	後藤 喜八
二九	八 重	雜種	牡	四十三年生	鹿	五、二二	鹿兒島縣噲嗒郡恒吉村	大脇 莊右衛門
五	千 早	內國產洋種	牝	四十三年生	栗	五、一一	熊本縣球磨郡大村	大寺 金作
四六	第二喜奴川	內國產洋種	牡	四十三年生	栗	五、二九	宮崎縣北諸縣郡庄内村	長岡 嘉助
三七	古 尾	內國產洋種	牝	四十四年生	栗	五、一九	宮崎縣兒湯郡上江村	柳善 之十
三三	一フアノルム	內國產洋種	牡	四十三年生	鹿	五、二四	福岡縣筑紫郡二日市町	谷 彦一

第十褒賞

番號	名稱	種類	性	年 齡	毛 色	體 尺	住 出 所 陳	氏 人 名
二八	池 月	內國產洋種	牡	四十三年生	鹿	五、一七	鹿兒島縣伊佐郡羽月村	井ノ上 戸七
二五	彌 生	雜種	牝	四十四年生	鹿	四、九六	鹿兒島縣始良郡牧園村	木佐貫 善兵衛
一〇	東 合	アマングロ種	牝	四十三年生	鹿	五、一五	長崎縣南高來郡島原村	北野 トセ
二二	百 船	アマングロ種	牝	四十四年生	栗	四、九三	鹿兒島縣始良郡吉松村	宮田 五右衛門
二六	長 船	アマングロ種	牡	四十四年生	鹿	五、一七	鹿兒島縣鹿兒島郡中郡字村	小森園 長次郎
四〇	旺 進	內國產洋種	牝	四十三年生	栗	五、二一	宮崎縣東臼杵郡門川村	園田 長次郎
二四	カ メ	雜種	牝	四十四年生	黒鹿	五、〇四	鹿兒島縣噲嗒郡大崎村	小田 興八郎

番號	名稱	種類	性	年齡	毛色	體尺	住	陳	氏	名
一二	八千代	雜種	牝	四十二年生	鹿	五、一〇	長崎縣南高來郡大三東村		井上	勇次郎
一三	ハツミ	アラブ雜種	牝	四十三年生	鹿	五、一三	鹿兒島縣噲嗷郡野方村		松元	金助
四二	長榮	アラブ雜種	牝	四十四年生	鹿	五、〇二	宮崎縣東臼杵郡東海村		濱田	熊吉
五六	福起	雜種	牝	四十二年生	鹿	五、一〇	熊本縣阿蘇郡波野村		家入	熊平
二	寶山	雜種	牡	四十三年生	栗	五、二一	大分縣直入郡柏原村		熊谷	幸太郎
七	松風	雜種	牝	四十四年生	栗	四、九七	長崎縣南高來郡三會村		田浦	長藏
一六	第二春兩	內國產洋種	牝	四十四年生	鹿	四、九七	鹿兒島縣出水郡西長島村		鳥越	ナヲ
三九	産島	內國產洋種	牝	四十三年生	鹿	五、一六	宮崎縣西臼杵郡三ヶ所村		山崎	音人
五七	イミール	雜種	牝	四十四年生	鹿	五、〇〇	熊本縣阿蘇郡色見村		村上	今次
三四	有明	雜種	牝	四十三年生	鹿	五、三〇	福岡縣糟屋郡大川村		長倉	生男
五八	常盤丸	雜種	牝	四十四年生	鹿	五、一二	熊本縣阿蘇郡野尻村		工藤	百平
三一	常盤	雜種	牡	四十四年生	鹿	五、一〇	佐賀縣西松浦郡大川内村		岩崎	常右衛門
等級別	長崎	福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿兒島	合計		
出品點數	八	四	四	一	一二	一三	一八	六〇		

受賞一覽表

出品人員	一等	二等	三等	四等	合計
八	一	一	一	一	六
四	一	一	一	一	四
四	一	一	一	一	四
一	一	一	一	一	四
六二・五	五〇・〇	七五・〇	一〇〇・〇	四一・六	六九・二
八	四	四	一	二	一三
六〇	一八	一	一	一	二一
六六・六	四〇	一九	一二	六	三

三 功勞者

長崎縣南高來郡小濱村 中村 包吉
 夙ニ畜産改良ノ必要ヲ認メ政府ニ請フテ種牛ノ貸付ヲ受ケ銳意之カ蕃殖ヲ獎勵シ次テ國有林野
 百二十町歩ヲ借入レ牧場ヲ經營シ牧草ノ改良ヲ企圖シ更ニ綿羊山羊ヲ飼育シ又養豚業ニ從事シ
 拮据經營三十餘年一日ノ如シ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

福岡縣田川郡赤村

鶴我 萬次郎

夙ニ意ヲ畜牛ノ改良ニ注キ自ラ二十餘町歩ノ牧場ヲ開キ私費ヲ投シテ始メテ小値賀牛ヲ移入シ
 次テ又「ホルスタイン」種系ノ牝牛ヲ購入シ其ノ雜種蕃殖ヲ四隣ニ勸メ家畜市場ヲ管理シテ商弊
 ノ矯正ニ努メ斯業ノ發展ニ貢獻スル所尠カラズ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

銀杯

大分縣玖珠郡萬年村 梅木重雄
夙ニ産牛業ノ有利ナルヲ鼓吹シ自ラ牧場ヲ開設シテ範ヲ郷黨ニ示シ數種畜ヲ購入シテ廣ク其ノ種付ヲ獎勵シ産牛組合ヲ組織シ又時品評會ヲ開催シ當業者ヲ指導誘掖シテ斯業ノ發展ニ貢獻スル所尠カラズ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

銀杯

大分縣大分郡石城川村 首藤文平
夙ニ畜産業ノ不振ヲ慨シ畜産會ヲ組織シ品評會ヲ開催シ以テ地方畜産思想ノ振興ヲ促シ産牛馬組合幹事ノ職ニアリテ能ク其業務ニ執掌シ斯業ノ發展ニ盡瘁スル所尠カラズ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

銀杯

熊本縣天草郡中村 益田善次
夙ニ心ヲ畜牛ノ改良ニ傾ケ専ラ「エアシャー」種牛ノ血液ヲ注入シテ以テ所謂大矢野牛ノ生産ニ努メ又自ラ私費ヲ投シテ各畜産地ヲ踏査シ産牛組合ヲ組織シテ之カ幹事トナリ専心畫策斯業ノ啓發ニ盡瘁スル所尠カラズ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

銀杯

熊本縣飽託郡本庄村 高木第四郎
夙ニ意ヲ乳牛ノ改良ニ注キ「ホルスタイン」種牛ヲ購入シテ廣ク其ノ蕃殖ヲ獎勵シ搾乳業ヲ開始シテ衛生的設備ヲ完全ナラシメ普ク其ノ範ヲ示シ當業者ヲ鼓舞誘掖シテ斯業ノ發展ニ貢獻スルコト三十年一日ノ如シ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

銀杯

宮崎縣西諸縣郡高原村 瀬戸口長通
夙ニ畜産ノ改良ニ志シ選ハレテ産牛馬組合聯合會長トナルヤ銳意専心其ノ職責ヲ重シシ優良牝

畜ノ縣外移出ヲ防止シテ良畜ノ保存ヲ圖リ牧野整理ノ必要ヲ認メテ之カ實行ヲ促シ亦數共進會ヲ開催シテ斯業ノ啓發ニ盡瘁スル所尠カラズ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

銀杯

佐賀縣神埼郡春振村 徳川權七
夙ニ畜産改良ノ必要ヲ認メ産牛組合ヲ組織シテ之カ組長トナリ種牛ヲ購入シテ廣ク其ノ種付ヲ獎勵シ良牝ヲ生産スルコト尠カラズ又數品評會ヲ開催シ農家殘乳ノ利用ヲ講スル等斯業ノ發展ヲ促シ成績顯著タリ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

知識九郎祖父

銀杯

鹿兒島縣鹿兒島市上龍尾町 故知識兼雄
夙ニ心ヲ畜産改良ニ傾ケ牧場ヲ經營シ牧草ヲ栽培シ次テ搾乳業ヲ開始シ終ニ煉乳製造ヲ企圖シ著著斯業ノ發展ニ資スルアルニ際シ一朝丁丑ノ戰亂ニ逢遭シ其ノ家畜ハ大半兵糧ニ供セラレ、モ尙且百折不撓斯業ヲ持續シ普ク牧農ノ範ヲ示シ地方産牛ノ發達ヲシテ今日アルニ至ラシム其ノ遺蹟ハ永ク芳シ仍テ茲ニ之ヲ追賞ス

銀杯

鹿兒島縣鹿兒島市上之園町 肝付郷十郎
夙ニ乳牛ノ改良ニ志シ産牛組合ヲ組織シテ其ノ組長トナルコト十餘年良種牛ヲ購入シテ其ノ蕃殖ヲ獎勵シ時ニ品評會ヲ開キ仔牛糶市ヲ設ケ尙搾乳組合ヲ組織シテ營業上ノ弊風ヲ矯正シ剩サヘ率先シテ牛乳衛生上ノ改善ニ努メ廣ク其ノ範ヲ示ス等斯業ノ發展ニ盡瘁スル所尠カラズ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

銀杯

鹿兒島縣川邊郡東南方村 園田兵助

夙ニ養豚業ノ有利ナルヲ認メ産業組合法ニ基キ養豚組合ヲ組織シ資金ノ融通飼料ノ購買種豚ノ供給等ヲ畫策シ且又仔豚糶市場ヲ開催シテ販路ノ擴張ヲ企圖シ地方養豚業ノ名聲ヲ維持シ以テ今日ニ至レリ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

四 副賞

(イ) 本會副賞

出品中褒賞ヲ得タル豚及鶏ニ對シ事務長ヨリ左記ノ通副賞ヲ贈與セリ

(目錄)

縣	市	町	村	何	某
何	郡	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何

右第一回九州聯合畜産共進會出品ノ豚(鶏)何等副賞トシテ頭書ノ金額ヲ贈與ス
大正二年十月二十六日

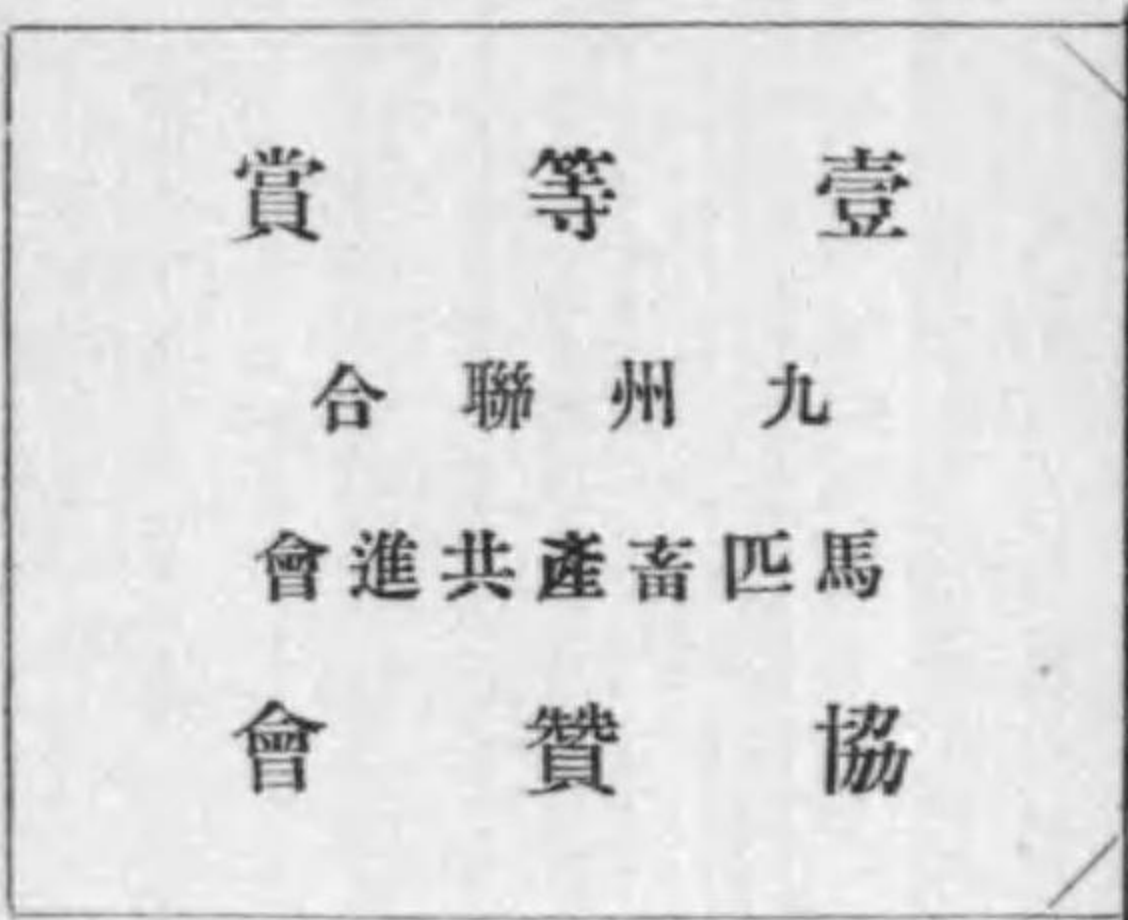
第一回九州聯合畜産共進會事務長
鹿兒島縣知事從四位勳三等 谷口留五郎

(金額)

第一部豚	一等賞	金三十圓	一頭
	二等賞	金二十圓	二頭

第三部鶏	一等賞	金十五圓	三頭
	二等賞	金十圓	二頭
	三等賞	金一圓	三點

(ロ) 鹿兒島縣協贊會副賞
鹿兒島縣協贊會ハ畜産並馬匹共進會各褒賞授與式ニ於テ褒賞ヲ得タル出品牛馬豚鶏畜産製造品ニ對シ左ノ賞旗ヲ贈與シタリ



調製方法 地質綿縮緬(四等賞ハモスリン)ニシテ幅鯨尺ニテ約一尺横鯨尺ニテ約一尺五寸ナリ
文字ハ白ニテ染抜ニシ横ノ上下ニ紐ヲ附シ旗竿ニ結著スルニ便ナラシム

- 一等賞 六枚 地色ハ紫色
- 二等賞 十五枚 地色ハ青色
- 三等賞 二十八枚 地色ハ赤色
- 四等賞 四十枚 地色ハ肉色

(ハ) 其他副賞

本會ノ舉ヲ贊シ優等賞ヲ受ケタル出品物ニ對シ副賞ヲ贈與シタルモノ左ノ如シ

寄贈者

副賞品

- 鹿兒島新聞社 (鹿兒島市) 名譽旗二本
- 鹿兒島實業新聞社 (鹿兒島市) 花瓶二箇
- 牧畜研究會 (東京市) 賞牌一箇
- 蕪切器械製造所 (廣島縣) 蕪切十臺
- 九州日日新聞 (熊本市) 金杯二箇

第十一景況

會場ノ地域ハ鹿兒島市外郡元鳴池ノ南半部ニ互リ東ハ競馬場ニ對シ南ハ松林ヲ距テ、海ニ面シ

北及ヒ西ハ電車線路ニ沿フテ一面茫漠タル荒田田圃ヲ望ミ鹿兒島市ヲ距ル南一里道路平坦ニシテ電車、自働車、馬車、人車ノ便ヲ有シ郵便電話ノ設ケアリ

土地廣濶一萬七千坪ノ面積ヲ有シ地表砂礫ヨリ成リ清燥ニシテ眺望殊ニ絶佳瑠璃一碧ノ錦江其前ニ面シ櫻島、開聞、霧島、高隈ノ諸峯點點トシテ其間ニ基布シ雨奇晴妍風景眞ニ畫クカ如シ而モ此季ヤ關秋冷温ノ候其度ニ適シ肥馬嘶亦雄雄シ

加フルニ各種各様ノ協贊事業一齊ニ行ハレ斯界ノ名士四方ノ貴賓相踵テ來場シ一般觀覽人亦日ヲ逐フテ加ハリ其數無慮十四萬人ヲ算シタリ

會場ハ洋風ノ参考品陳列館ヲ中心トシテ厩舎二棟、室殿造ノ來賓優待所、主催縣事務所、聯合縣事務所ヲ以テ之ヲ擁シ更ニ其外輪ハ厩舎牛舎三棟及二棟ノ審査場、一棟ノ式場及豚舍鶏舍倉庫、家禽品評會鶏舍、酪農展覽會展覽所、肥畜展覽會、牛舎、郵便局、門監、受附、釜場、救護所各一棟其他牧夫舍、賣店等大小四十餘棟ノ館舍整然トシテ之ヲ圍繞シ尙會場歩外ニ高二丈五尺ノ正門ヲ設ケタリ會場ノ裝飾ハ場ノ中央ニ高十間ノ一大會旗ヲ樹テ縱横ニ吊下セル萬國國旗翻翻トシテ秋風ニ翻リ式場來賓優待所ニハ紅白ノ幔幕ヲ張り陳列館ノ内部ハ赤黃紫ノ經木モールヲ以テ飾ラレ建築ノ壯麗ト相映テ一大美觀ヲ呈セリ

會場ヨリ鹿兒島市ニ通スル國道ヲ初メ鹿兒島市内ハ各戸彩旗ヲ以テ飾リ而シテ褒賞授與式當日(十月二十六日)ハ朝來秋天麗朗ニシテ觀覽人平日ニ數倍シテ午前九時農商務大臣代理及馬政長官臨場先ツ馬匹共進會褒賞授與式ヲ舉行セラレ褒賞ノ授與アリ後協贊會其他ヨリノ副賞ヲ授與セララル次テ畜産共進會褒賞授與式ヲ舉ケラレ褒賞及功勞賞副賞ノ授與アリテ嚴肅ノ裡ニ式ヲ終

了シタリ式後直ニ競馬場ニ移リ歡ヲ盡シテ退散シタリ
本會ハ十月二十一日開會以後會期七日間豫期以上ノ成果ヲ收メ同二十七日無事閉會シタリ

第十二 廣告及割引

廣告

大正二年五月二十四日九州聯合馬匹畜産共進會ノ開設地會期等ヲ記シタル廣告票紙ヲ印刷配付
シタリ其配付數左ノ如シ

二百四十枚

九州 六縣

一縣四十枚宛

十枚

臺灣朝鮮總督府

各五枚宛

六枚

馬政局畜産課

各三枚宛

百十一枚

山口外三十六縣

一縣三枚宛

二十六枚

熊本外各地種馬所種牛所

五十六枚

主 催 縣

百三十六枚

鐵 道 驛

計五百八十五枚

割引

汽車汽船賃割引

出品人及來會者ノ便宜ヲ圖リ鹿兒島縣廳ヨリノ交渉ニ依リ鐵道院及關係諸會社ノ左記線路航路
ニ付汽車汽船ノ乘車船賃並出品物運賃ノ往復二割引ノ承諾ヲ得タルヲ以テ之カ割引券ヲ發行シ
弘ク之ヲ配付シタリ

一 鐵道院

九州線各驛ヨリ鹿兒島驛行

一 大阪商船株式會社

九州各縣各港ヨリ鹿兒島港行

一 九州汽船株式會社

九州各縣各港ヨリ鹿兒島港行

一 鹿兒島郵船株式會社

九州各縣各港ヨリ鹿兒島港行

- 大洋商船株式會社
- 九州各縣各港ヨリ鹿兒島港行
- 大川運輸株式會社
- 九州各縣各港ヨリ鹿兒島港行
- 鹿兒島灣內汽船株式會社
- 鹿兒島灣內各港ヨリ鹿兒島港行
- 對馬運輸株式會社
- 全線
- 祐德軌道株式會社
- 全線
- 唐津軌道株式會社
- 全線
- 佐賀軌道株式會社
- 全線
- 島原鐵道株式會社
- 全線

第十三 經費

一 共進會費

- イ 主催縣特別負擔
- 鹿兒島縣

科目	決算高	豫算高	比較		備考
			增	減	
勸業會費	八、九九四、七八〇	一一、一二八、〇〇〇		五二二〇	
九州聯合馬匹畜産共進會費	八、九九四、七八〇	九、〇〇〇、〇〇〇		五二二〇	
建物借上及土工費	七、〇三八、八九〇	七、〇三八、八九〇			
奉付補助費	三七八、五〇〇	三七九、〇〇〇		五〇〇	
雜費	八五二、三九〇	八五七、一一〇		四七二〇	
連帶費本縣負擔額	七二五、〇〇〇	七二五、〇〇〇			
合計	八、九九四、七八〇	九、〇〇〇、〇〇〇		五二二〇	

各縣負擔

- 大分縣

九州聯合會畜產費	一、三六六、八〇〇	聯合費負擔	金五百四十圓
馬匹		奉付諸費	金七百三十六圓八十錢
馬匹		雜費	金九十圓

○熊本縣

九州聯合會畜產費	一、二七八、五五〇	聯合費負擔	金五百八十圓五十五錢
馬匹		出品物運搬費	金百九十五圓六十錢
馬匹		出品物附添人手當	金二百四十二圓
馬匹		事務所費	金百六十圓四十錢

○福岡縣

九州聯合會畜產費	九六一、〇〇〇	聯合費負擔	金五百二十八圓
馬匹		事務所費	金八十三圓
馬匹		出品物運搬費	金二百五十圓
馬匹		委員旅費	金百圓

○佐賀縣

九州聯合會畜產費		聯合費負擔	金四百八十四圓
馬匹		出品及引取費	金四百二圓
馬匹		諸雇給	金十五圓

馬匹畜產費	一、二四六、〇〇〇	旅費	金百五十圓
馬匹畜產費		備品消耗品費	金三十圓
馬匹畜產費		通信費	金十五圓
馬匹畜產費		雜費	金五十圓

○宮崎縣

九州聯合會畜產費	一、五三四、〇〇〇	聯合費負擔	金五百八十六圓
馬匹畜產費		事務所費	金二百六十八圓
馬匹畜產費		出陳物獎勵手當	金六百八十圓

○長崎縣

聯合費負擔	金五百六十八圓
聯合費	金五百五十八圓五十八錢七厘
飼料費	金六圓七十九錢五厘
陳列裝飾費	金二圓六十六錢七厘
雜給	金三百六十圓
書記	金十五圓
小使	金十二圓六十錢
人夫	金十八圓
協議會出席委員旅費	金二十四圓十錢
開設地常駐委員旅費	金百二十九圓九十錢

共馬九		一、五二八、〇〇〇	監督手當 金百五十圓
進匹州			
會畜聯		通信運搬費 金五百四十圓	慰勞手當 金十圓
費產合			
借	料	金二十一圓	
家	明	金二十圓	
說	額	金三圓	
印	費	金八圓	
器	料	金四圓	
諸	品	金四圓	
諸	紙	金六十圓	
雜	費	金十圓	
郵	料	金十圓	
便	器	金四圓五十錢	
電	器	金四圓五十錢	
信	貨	金九圓七十二錢	
電	貨	金四十二圓八十五錢	
話	貨	金百五十八圓	
料	貨	金三百三十三圓八十錢	
	貨	金五百四十圓	
	貨	金十圓	
	當	金百五十圓	

二 聯合縣連帶費
收入

科 目	決 算 高	豫 算 高	比 增	減 較	備 考
聯合縣負擔額	四、〇〇一・一三〇	四、〇〇一・一三〇			
長崎縣	五五八・五八〇	五五八・五八〇			
福岡縣	五二八・〇〇〇	五二八・〇〇〇			
大分縣	五三九・〇〇〇	五三九・〇〇〇			
佐賀縣	四八四・〇〇〇	四八四・〇〇〇			
熊本縣	五八〇・五五〇	五八〇・五五〇			
宮崎縣	五八六・〇〇〇	五八六・〇〇〇			
鹿兒島縣	七二五・〇〇〇	七二五・〇〇〇			
雜收	一七五・九五〇	一〇〇・〇〇〇	七五・九五〇		
不用品賣拂代	一五〇・九九〇	一〇〇・〇〇〇	五〇・九九〇		
預金利息	二四・九六〇	一〇〇・〇〇〇	二四・九六〇		
合計	四、一七七・〇八〇	四、一〇一・一三〇	七五・九五〇		

支出

科 目	豫 算 高	決 算 高	比 增	減 較	備 考
審查諸費	二二一・九二〇	一九〇・九二〇		三一・〇〇〇	

科目	豫算高	決算高	比較		備考
			増	減	
事務所費	二、〇九五・〇〇〇	一、六七七・三五〇		四一七・六五〇	
獸醫手当	四〇〇・〇〇〇	四〇〇・〇〇〇			
書記	一一〇・〇〇〇	一一二・二〇〇		七・八〇〇	
看守人	四八・〇〇〇	四二・六〇〇		五・四〇〇	
守衛	三六・〇〇〇	二六・四〇〇		九・六〇〇	
夜警手	九〇・〇〇〇	九〇・〇〇〇			
給仕	三二・〇〇〇	二二・八二〇		九・一八〇	
小使	四八・〇〇〇	三二・四〇〇		一五・六〇〇	
入夫	二四〇・〇〇〇	一〇九・八四〇		一三〇・一六〇	
宿直	一一〇・〇〇〇	一〇・五〇〇		一・五〇〇	
印刷	六八二・九〇〇	六一六・三四〇		六六・五六〇	
備品	四八七・五〇〇	三五一・七〇〇		一三五・八〇〇	
消耗品	一五〇・〇〇〇	一七・七三〇		三二・二七〇	
通信運搬	一二六・〇〇〇	一二六・〇〇〇			
點燈	六三・六〇〇	五九・八二〇		三・七八〇	
電話	一三三・五〇〇	一一一・五〇〇		一二・〇〇〇	
陳列裝飾	三三三・六三三	二九五・二七〇		三八・三六三	
飼料	八〇一・二一七	八〇一・二一〇		〇・〇〇七	
參考品	一二四・六八〇	九三・七六〇		三〇・九二〇	

雑費	雜費	雜費	雑費
七三・七三〇	五五・二一〇	一八・五二〇	
三一六・三二〇	三一六・三二〇		
四、一〇〇・〇〇〇	四、一七七・〇八〇	六二五・五四〇	五四八・四六〇
合計	四、一〇〇・〇〇〇	六二五・五四〇	六二五・五四〇

收入決算高 金四千七百七十七圓〇八錢
 支出決算高 金四千七百七十七圓〇八錢

第十四招待

一案内狀

本會開會褒賞授與並閉會ノ各式日ニ對スル案内狀左ノ如シ

拜啓
 來ル十月二十一日ヨリ二十七日迄鹿兒島市外鴨池ニ於テ九州聯合馬
 匹畜産共進會開設致候間別記各式日ニ御貴臨被成下度御案内申上候
 敬具

大正二年九月二十日

第二回九州聯合馬匹共進會
 第一回九州聯合畜産共進會

事務長 谷口留五郎 殿

注意

- 一 式日左ノ通

開會式	十月二十一日	午前第九時
褒賞授與式	同 二十六日	午前第九時
閉會式	同 二十七日	午前第十一時
- 二 會場ハ鹿兒島市外鴨池
- 三 御入場ノ際ハ別紙案内狀ヲ係員ヘ御示被下度候
- 四 當日服裝ハ「フロックコート」又ハ紋付羽織袴御着用被下度候
但制服ノ規定アル向ハ其ノ制服御着用ノコト

一 褒賞授與式ノミニ對スル案内狀左ノ如シ

拜啓

來ル十月二十一日ヨリ二十七日迄鹿兒島市外鴨池ニ於テ九州聯合馬
 匹畜産共進會ヲ開設シ同月二十六日午前九時褒賞授與式舉行候間御
 貴臨被成下度御案内申上候 敬具

大正二年九月二十日

第二回九州聯合馬匹共進會
 第一回九州聯合畜産共進會

事務長 谷口留五郎

殿

注意

- 一 會場ハ鹿兒島市外鴨池
- 二 御入場ノ際ハ別紙案内狀ヲ係員ヘ御示被下度候
- 三 當日服裝ハ「フロックコート」又ハ紋付羽織袴御着用被下度候
但制服ノ規定アル向ハ其ノ制服ニテ御臨場ノコト

二 案内者

本會開會褒賞授與並閉會ノ各式日ニ臨場ノ案内狀ヲ發シタル數九百四十四名(開會式出席百五十名閉會式出席百二十名)又褒賞授與式ノミニ臨場ノ案内狀ヲ發シタル數二千三百九名(出席二千百五十名)ニシテ其内ノ主ナル案内者左ノ如シ

- 内閣總理大臣 各省大臣及次官
- 宮内大臣及次官 宮内省主馬頭 下總御料牧場長 同外山支場長 新冠御料牧場長
- 内務省地方局長 同衛生局長
- 陸軍省軍馬補充部本部長及各支部長 馬政長官 馬政局各種馬牧場長 種馬育成所長 各種馬所長
- 第六 第十二 第十八各師團長及參謀長各旅團長各獸醫部長 砲騎兵各聯隊長
- 東京帝國大學農科大學長 同教授 東北帝國大學農科大學長 同教授
- 農商務大臣祕書官及各局長 農務商工各課長及技師 農事試驗場長 各種畜牧場長 分場長 種牛所長 獸疫調査所長 牛疫血清製造所長
- 九州鐵道管理局長 同營業課長
- 朝鮮總督府農務局長 同技師 學務局長 釜山檢疫所長
- 臺灣總督府警務總長 殖產局長 同技師 臺北廳長 各課長及技師 農事試驗場長
- 北海道 樺太各長官及各府縣知事各内務部長各畜產技師各種畜場長 神奈川 兵庫 福岡 長崎各港務獸醫官

- 聯合縣各内務部長各警察部長各理事官 各農務課長 各農業技師 各農事試驗場長 各農學校長及同畜產主任教諭各縣會正副議長 各縣農會長及同幹事 各種畜場長 各產牛馬組合聯合會長及同技術者 各畜產會長 各縣及郡畜產技師 各郡農會長及郡農會技術者 郡市長 島司 郡立農業學校長 畜產功勞者 郡產牛馬組合長及同技術者 各新聞社 郡主任書記 貴衆兩院議員 縣參事會員
- 牧畜研究会 日本畜牛改良同盟會 產馬同好會 肉食獎勵會
- 共進會各審查長審查官及審查員 同職員
- 鹿兒島縣協贊會役員及會員
- 主催縣 各課長警視技師 有爵者 陸海軍將官以上 官立各學校長 縣立各學校長 郡立各學校長 貴衆兩院議員 縣會議員 郡會議長 郡市產牛馬組合組長同書記 牛馬商組合長 郡市畜產技師 郡市農務主任書記 各町村長 各村產牛馬組合支所長 鹿兒島郵便局長 稅務署長 大林區署長 同林務課長 各小林區署長 裁判所長 同檢事正 典獄 鹿兒島驛長 縣立病院長 第四十五第六十四聯隊長 大隊長、副官 衛戍病院長 鹿兒島聯隊區司令官 鹿兒島憲兵分隊長 商業會議所正副會頭 鹿兒島市會正副議長 市會議員 市役所各課長

招 宴

- 八月二十五日午後六時ヨリ聯合各縣事務委員ヲ紫明館ニ招待シ饗應ス
- 十月二十一日開會式當日午後六時紫明館ニ夜會ヲ開キ審查長審查官審查員聯合各縣事務委員

協賛會長以下其役員約百名ヲ招待シ饗應ス
 ○十月二十四日午後六時ヨリ青柳樓ニテ廣島縣知事馬政長官審査長審査官審査員其他他縣ノ重ナル來賓約三十名ヲ招待シ饗應セリ
 ○十月二十五日午後六時ヨリ青柳樓ニテ聯合各縣知事及內務部長理事官等約十五名ヲ招待饗應セリ

第十五 參觀人

本會ハ十月二十一日開會以來秋天晴朗ニシテ一日ノ降雨ナク加フルニ開會ニ先チ鹿兒島市主催ノ工藝品評會ノ開設アリ會期中ハ鹿兒島家畜懇話會主催ノ家畜品評會、鹿兒島產牛組合主催ノ酪農展覽會、鹿兒島食肉組合主催ノ肥畜展覽會、鹿兒島縣產馬組合聯合會主催ノ鹿兒島縣競馬會其他諸團體ノ餘興會同相踵テ舉行セラレ爲メニ觀覽者日ヲ逐ウテ蝟集シ來リ場ノ内外日夕雜沓ヲ極メタリ而シテ本會ハ元入場券ヲ發行セサリシ爲メ參觀人員ヲ適確ニ知ルヘカラサリシモ概ネ左ノ目算數ヲ得タリ

入場人員概數	
開會式	一 萬人
	八 千人
	一 萬人
合 計	二 十三 日

二 十四 日	二 萬 人
二 十五 日	二 萬 五 千 人
二 十六 日	六 萬 人
二 十七 日	一 萬 人
合 計	十四 萬 三 千 人

第十六 餘興及諸會同

本會開設ヲ機トシ鹿兒島市ニ於テ開催ノ諸會同及餘興催物左ノ如シ

- 一 家 禽 品 評 會
自十月二十三日至同月二十七日
- 一 鹿兒島家畜懇話會ノ主催ニテ共進會場内ニ於テ開催十月二十六日褒賞授與式舉行
自十月二十二日至同月二十七日
- 一 酪 農 展 覽 會
自十月二十二日至同月二十七日
- 一 鹿兒島產牛組合ノ主催ニテ共進會場内ニ於テ開催十月二十六日褒賞授與式舉行
自十月二十二日至同月二十七日
- 一 肥 畜 展 覽 會
自十月二十二日至同月二十七日
- 一 鹿兒島食肉組合ノ主催ニテ共進會場内ニ開催十月二十六日褒賞授與式舉行
自十月二十四日至同月二十六日
- 一 鹿兒島縣競馬會
自十月二十四日至同月二十六日
- 一 鹿兒島縣產馬組合聯合會ノ主催ニテ共進會場東側ニ於テ開催
自十月十八日至同月三十一日
- 一 鹿兒島市工藝品評會

第十七事 歷

- 鹿兒島市ノ主催ニテ市内山下町興業館内ニ於テ開催
- 九州獸醫畜産大會 十月二十四日午前九時
- 鹿兒島縣會議事堂ニ於テ開催
- 南州祠堂落成式 十月二十四日
- 鹿兒島市上龍尾町淨光明寺境内南州祠堂ニ於テ施行

第十七事 歷

年 月 日	事 項
四五 七 一〇	九州沖繩各縣へ馬匹畜産共進會開設ニ贊否ノ件照會
四五 七 一七	福岡縣ヨリ共進會開設ニ贊同通知
四五 七 一八	宮崎縣ヨリ共進會開設ニ贊同通知
四五 七 二二	熊本縣及長崎縣ヨリ贊同通知
四五 七 二六	沖繩縣ヨリ共進會開設ニ不贊同ノ旨通牒
四五 七 二九	大分縣ヨリ共進會開設贊同通知
一 八 八	佐賀縣ヨリ贊同ノ旨通牒
一 八 八	協議會開催ノ旨聯合縣へ通知
一 八 八	農務局長及馬政長官ニ協議會ニ主任官派遣方照會

八 一 一六	馬政長官ヨリ主任官派遣ノ旨通牒
八 一 一七	農務局長へ畜産共進會褒賞授與ノ件依頼
八 二 二二	協議會
八 二 二三	協議會
八 二 九	農商務大臣及農務局長へ畜産共進會開設認可申請
九 四	聯合各縣へ協議會協定事項通知
一〇 一 二	農商務次官ヨリ畜産共進會開設認可申請ヲ返却ス
一〇 一 四	畜産共進會開設認可申請返却ニ付更ニ上申スル旨聯合各縣へ通知
一〇 二 八	農商務大臣へ畜産共進會開設認可ノ義上申
一一 一 九	農商務大臣官房文書課長ヨリ畜産共進會規則訂正ノ照會
一一 二 二	農商務大臣官房文書課長へ聯合共進會規則訂正ノ件回答
一一 二 五	馬政長官へ馬匹共進會開設ニ付褒賞授與ノ件申請
一一 二 一七	馬政長官ヨリ馬匹共進會規則ノ件照會
一一 二 一七	馬匹共進會規則訂正ノ件馬政長官へ通牒
一一 二 一七	農商務大臣官房文書課長ヨリ畜産共進會獎勵金支出及共進會出品及功勞者上申等ニ關スル注意ノ件通牒
一一 二 一七	農商務大臣畜産共進會開設承認通知
一一 二 二七	聯合共進會費決議ノ件聯合縣へ通知
一一 二 二八	聯合縣へ畜産共進會規則訂正ノ通知
一一 二 二七	馬匹共進會規則縣告示
一一 二 二七	畜産共進會規則縣告示
一一 二 三	馬政長官ヨリ馬匹共進會開催ノ義ニ付時期日數出陳馬數ヲ通報スヘキ旨照會

第十七事 歷

年 月 日	事 項
二二一八	馬政長官へ右二件ニ付回答
二三一四	聯合縣へ出品目錄用紙送附
二四一四	馬政長官ヨリ馬匹共進會開催認可
二四一四	大分縣事務委員任命通知
二四二一	馬匹共進會開設認可旨聯合縣へ通知
二四二三	聯合縣へ共進會事務委員處務規定送付
二四二四	宮崎縣事務委員任命通知
二五二二	佐賀縣事務委員任命通知
二五二八	聯合共進會褒賞費ノ件各縣へ通知
二五二九	熊本縣事務委員任命通知
二五二九	長崎縣事務委員任命通知
二五二二	鹿兒島縣事務委員任命通知
二五二四	馬政長官へ産馬功勞者表彰ノ件照會
二六二五	馬匹畜産共進會廣告札配布ノ件各向へ通牒
二六二五	馬政官ヨリ産馬功勞者表彰セサル旨回答
二六二五	共進會場鴨池ニ設置ノ件軌道會社ヨリ貸上願提出
二六二五	農商務次官ニ共進會褒賞費聯合支辨ノ件通牒
二七二八	鹿兒島縣出陳牛馬豫選ノ件各郡市長へ通牒
二七二八	兵庫縣ヨリ参考品出陳ノ件通牒
二七一八	兵庫縣へ参考品出陳ノ件回答

二七二二	共進會場ニ天保山鹽田借入方鹿兒島市長へ照會
二七二九	共進會ニ特殊建築物ニ關スル件聯合縣へ照會
二八二一	長崎縣事務委員追加任命通知
二八二一	書記一人雇入
二八二四	聯合縣へ船車賃割引ヲ交渉スヘキ會社商店調査方依頼
二八二五	共進會場鴨池ニ決定
二八二五	福岡縣事務委員任命通知
二八二五	軌道會社ヨリ共進會場土工請書提出
二八二五	鐵道賃割引方九鐵管理局へ照會
二八二五	私設鐵道汽船會社船車賃割引方各向へ照會
二八二六	共進會場土工事著手
二八二九	農商務省ヨリ畜産共進會審査長任命通知
二八二九	第二回協議會ヲ鹿兒島縣廳ニ於テ開催
二八二九	農商務省ヨリ畜産共進會審査員任命通知
二八二九	共進會参考品出品ノ件各向へ照會
二八二九	聯合縣へ第二回協議會協定事項及豫算送付ノ件通牒
二八二九	來賓調査ノ件聯合縣へ照會
二八三〇	鹿兒島種馬所長へ參考馬匹出陳ニ關スル件照會
二八三一	農商務省ヨリ畜産共進會審査官任命通知
二八三一	大分縣ヨリ畜産業功勞者調査書送付
二八三一	鹿兒島種馬所長ヨリ參考馬匹出陳ノ件回答
二九二二	福岡縣門司市明治屋支店ヨリ參考品出品通知

第十七事 歷

年 月 日	事 項
二 九 五	馬政長官褒賞授與式ニ臨場ノ件申請
二 九 六	農商務大臣褒賞授與式ニ臨場ノ件上申
二 九 一〇	共進會費宮崎縣負擔額送付 共進會費佐賀縣負擔額送付 共進會費福岡縣負擔額送付 共進會費大分縣負擔額送付 會場土工事竣工
二 九 一五	馬政局ヨリ共進會ヘ馬政長官列席ノ件通知 下總御料牧場ヨリ參考馬匹出陳ノ件通牒
二 九 一六	九鐵管理局ヨリ運賃割引承認通牒 馬政長官及商工局長ヘ褒賞授與式順序ノ件電報ニテ照會 九鐵管理局ヘ更ニ割引期間變更方照會 畜産功勞者履歷調査ノ件鹿兒島市長川邊郡長ヘ通牒 馬政局長官農科大學長農務局長ヘ九州獸醫畜産大會講師派遣方申請 馬政局長官ヨリ褒賞授與式順序承認通知 商務局長ヨリ褒賞授與式順序承認通知 馬政局書記官ヨリ授與式順序ノ件回答 共進會費長崎縣負擔額送付 共進會式順決定 共進會厩舎建築工事著手

年 月 日	事 項
二 九 二六	農商務大臣官房秘書課長ヨリ共進會審査員任命通知 鹿兒島郵便局長ヘ共進會場内郵便局出張所設置方照會 逓信大臣ヘ郵便局出張所設置申請 長崎縣畜産功勞者調査廻送 宮崎縣畜産功勞者調査廻送 電話連接加入申込
二 九 二九	農商務省ヨリ畜産共進會審査官審査員任命通知 九州逓信局長ヘ連接電話加設ノ件照會 鹿兒島高等農林學校ヨリ參考品出品通知 鹿兒島市ヨリ畜産功勞者調査廻送 熊本縣ヨリ委員來覽通知 佐賀縣ヨリ畜産功勞者調査廻送 熊本縣ヨリ畜産功勞者調査廻送 案内狀發送開始(六百十通發送) 川邊郡ヨリ功勞者調査廻送 聯合各縣ヘ汽車汽船割引證送付 鹿兒島電氣軌道會社ヘ共進會場工事ノ件照會 鹿兒島郵便局ヨリ臨時郵便出張所設置ノ件照會 馬政長官ヨリ審査長及審査官派遣通牒 案内狀二百五十九通發送 共進會書記一名雇入 臨時郵便局出張所ノ件鹿兒島郵便局長ヘ回答
二 一〇 三	
二 一〇 四	
二 一〇 六	
二 一〇 七	

第十七事 歷

年月日	事	項
二一〇九	福岡縣ヨリ功勞者調書廻送	
二一〇一〇	農商務大臣へ各縣畜産功勞者調書送付	
二一〇一〇	案内狀八百三十五通發送	
二一〇一〇	案内狀三百十五通發送	
二一〇一〇	參考牛出陳ノ件大島島司へ照會	
二一〇一〇	熊本縣事務委員著覽	
二一〇一〇	案内狀五十一通發送	
二一〇一〇	畜産要覽發送問合ノ件東京警醒社へ電報	
二一〇一〇	共進會出陳馬引付ノ件噲吹郡長へ電報	
二一〇一〇	畜産共進會補充出品ノ件九州各縣知事へ電報	
二一〇一〇	宮崎縣委員著覽	
二一〇一〇	共進會場内煙草販賣店設置ノ件鹿兒島支局長へ照會	
二一〇一〇	長崎縣事務委員著覽	
二一〇一〇	福岡縣事務委員著覽	
二一〇一〇	煙草販賣店許可ノ件專賣支局長へ再照會ス	
二一〇一〇	共進會事務所へ移轉	
二一〇一〇	各縣事務委員へ委員會開會通知	
二一〇一〇	電燈電話ノ取附ケ本日程ル	
二一〇一〇	聯合事務所ニ於テ各縣委員會開會	
二一〇一〇	聯合事務所ニ於テ各縣委員會開會	

二一〇一九	佐賀縣委員著覽	
二一〇一九	高等農林學校へ帳幕借入ノ件照會	
二一〇一九	鹿兒島縣内務部長服部教一氏各縣技手ニ訓示演説ヲナセリ	
二一〇一九	開會式準備	
二一〇一九	審査所ニ書記二名雇入	
二一〇一九	午前十時開會式舉行	
二一〇一九	各縣委員會開會飼料庫閉其他ニ付キ決議ス	
二一〇一九	午後十一時畜産共進會審査開始	
二一〇一九	午後二時馬匹共進會審査開始	
二一〇一九	床次鐵道院總裁來觀	
二一〇一九	有吉宮崎縣知事共進會縱覽	
二一〇一九	島根種馬所長佐藤彦助氏著覽	
二一〇一九	高知種馬所長川村勇藏氏著覽	
二一〇一九	第十八師團獸醫部長青山磯太郎氏來場視察	
二一〇一九	鹿兒島產牛組合主催酪農展覽會開始	
二一〇一九	獸醫學博士柳澤銀藏氏著覽	
二一〇一九	鹿兒島家畜懇話會主催家畜品評會開會	
二一〇一九	畜産共進會審査終了	
二一〇一九	九州獸醫懇親會開催	
二一〇一九	馬匹審査終了	
二一〇一九	寺田廣島縣知事著覽	
二一〇一九	鹿兒島縣產馬組合聯合會主催競馬大會開始	
二一〇一九	馬政長官淺川敏靖氏著覽	
二一〇一九	大日本產馬組合理事廣澤澤辨二氏著覽	
二一〇一九	畜産獸醫大會鹿兒島縣會議事堂ニテ開催	

九州聯合馬匹畜産共進會
鹿兒島縣協贊會 事務報告

第十七事歴

年月日	事項
二〇二六	講師 獸醫學博士 今井吉平 農科大學教授 岩住良治 農商務省技師 佐藤清明 馬政官 安井淳之助
二〇二七	福岡縣事務委員追加任命通知 共進會褒賞授與式舉行 鹿兒島縣產馬組合聯合會主催婦人財囊競馬舉行 共進會閉會式舉行 家禽品評會褒賞授與式舉行 酪農展覽會褒賞授與式舉行 聯合事務所ヲ鹿兒島縣廳内ニ引揚 電話取消手續済
二〇二八	共進會參考品出陳者ニ禮狀發送 鹿兒島新聞社鹿兒島實業新聞社九州日日新聞社牧畜研究會等へ禮狀發送 馬匹畜産共進會審查長審查官審查員へ禮狀發送 聯合各縣へ豫算内容照會 馬政長官へ審查復命書及功勞文送附方照會 農商務省へ審查復命書及功勞文送附方照會 宮崎縣ヨリ豫算内容通牒 佐賀縣ヨリ豫算内容通牒 福岡縣ヨリ豫算内容通牒 熊本縣ヨリ豫算内容通牒 大分縣ヨリ豫算内容通牒 長崎縣ヨリ豫算内容通牒
二〇二九	
二〇三〇	
二〇三一	
二〇三二	
二〇三三	
二〇三三	
二〇三七	

九州聯合馬匹畜産共進會
鹿兒島縣協贊會 事務報告

年 月 日	事項	出席者
二〇二〇二〇	鹿兒島縣馬組合聯合會主催馬馬會馬會	農商務省技師 佐藤 清明 農林大學教授 岩田 長治
二〇二〇二〇	共進會家畜授與式舉行	馬政 富安 井澤之助
二〇二〇二〇	共進會閉會式舉行	
二〇二〇二〇	家畜品評會家畜授與式舉行	
二〇二〇二〇	酪農展覽會家畜授與式舉行	
二〇二〇二〇	聯合事務所ノ鹿兒島馬場内ノ引掛	
二〇二〇二〇	電話取消手續済	
二〇二〇二〇	共進會參考品出陣者ノ謝狀發送	
二〇二〇二〇	鹿兒島新聞社鹿兒島實業新聞社九州日日新聞社牧畜新聞社會等ノ謝狀發送	
二〇二〇二〇	馬匹畜産共進會審査長富倉富倉査査員ニ對シテ謝狀發送	
二〇二〇二〇	聯合各縣ニ豫算内容照會	
二〇二〇二〇	馬政長官ニ富倉復命書附方照會	
二〇二〇二〇	農商務省ニ富倉復命書及功勞文送附方照會	
二〇二〇二〇	宮崎縣ヨリ豫算内容通牒	
二〇二〇二〇	佐賀縣ヨリ豫算内容通牒	
二〇二〇二〇	福岡縣ヨリ豫算内容通牒	
二〇二〇二〇	熊本縣ヨリ豫算内容通牒	
二〇二〇二〇	大分縣ヨリ豫算内容通牒	
二〇二〇二〇	長崎縣ヨリ豫算内容通牒	

九州聯合馬匹畜産共進會
鹿兒島協贊會 事務報告

第一準備

一 發起人會

本會設立ノ準備トシテ大正二年三月十五日鹿兒島縣廳會議室ニ於テ發起人會ヲ開催シタリ其出席員及協議事項左ノ如シ

出席員

鹿兒島縣知事	谷口留五郎
鹿兒島市長	有川貞壽
鹿兒島縣勸業課長理事官	杉野繁
鹿兒島縣產馬組合會評議員	大津大助
同 副組長	山內慶治
鹿兒島縣商業會議所書記長	安田武彦
鹿兒島縣農業技師	前田辰雄
同 技手	中須憲文
產馬組合聯合會技手	有馬純若

第一準備